

御所市人権問題に関する市民意識調査 報 告 書

2024（令和6）年3月

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査方法.....	1
3	回収結果.....	1
4	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果の概要.....	2
III	調査結果.....	5
1	日常生活の感じ方、今の社会や自分自身に対する考え方について.....	5
2	人権学習経験について.....	16
3	人権に対する考え方やボランティアの経験について.....	24
4	人権侵害の経験について.....	50
5	人権侵害に対する相談や救済について.....	58
6	分野別の人権課題について.....	71
7	結婚について.....	80
8	人権尊重社会をつくるための取組について.....	93
9	人権に関する法律や条例について.....	95
10	回答者の属性.....	116
11	自由回答について.....	119
IV	アンケート調査票.....	120

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、御所市人権施策に関する基本計画の改定の基礎資料とするため、市民を対象にアンケート調査を行い、人権問題に関する現状やニーズを把握することを目的とします。

2 調査方法

① 調査期間	調査開始:令和6年1月15日(月) 回収期限:令和6年2月6日(火)
② 調査対象	対象者:市内在住の満18歳以上の市民 抽出方法:住民基本台帳から無作為抽出 対象数:1,000 人
③ 調査方法	郵送調査方式(郵送にて対象者に調査票を配布し、郵送とWEB回答フォームのどちらかを選択して回収)

3 回収結果

配 布 数	1,000
有効配布数	993
回収件数	合計:422 件 (紙:350 件 WEB:72 件)
回 収 率	42.5%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0％にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0％を超える場合があります。
- ・図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合があります。
- ・属性別クロス集計は、性別、年代、校区別と各設問を対象に行い、特徴が見られた項目を報告書に掲載しています。

Ⅱ 調査結果の概要

日常生活の感じ方、今の社会や自分自身に対する考え方について
○御所市に住んでいて「暮らしにくい」と感じることにについて、「特にない」が約3割、「絵や音楽などの文化(活動)やスポーツなどにふれあう機会が少ない」「いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない」「家計にまったく余裕がない」「結婚や葬式などに関して古いしきたりや考えがある」が約2割となっています。 ○今の社会について、「努力しない人を社会が面倒をみるのはおかしい」「職場の仲間どうし助け合うことは大切だ」「個人が多少の犠牲をはらっても、みんなが支え合う社会を作ることが大切だ」が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっています。 一方で、「格差は、世の中に進歩をもたらすものだ」「貧困はその人の責任だから救う必要はない」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっています。 ○自分自身について、「少なくとも人並みには、価値ある人間である」「いろいろな良い素質を持っている」「物事を人並みには、うまくやれる」が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっています。 一方で「自分には自慢できるところがありません」「何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっています。
人権学習経験について
○最近3年間で市が主催する「差別をなくす市民集会」に参加した経験があるのは約2割、「まったく参加したことがない」が約5割、「開かれていることを知らない」が約3割となっています。 ○最近3年間で人権教育推進協議会が主催する「校区・地区別学習会(人権問題講演会等)」に参加した経験があるのは約2割、「まったく参加したことがない」が約5割、「開かれていることを知らない」が約3割となっています。 ○学校の授業等での人権学習について、「中学校で学んだ」と「小学校で学んだ」が約5割、「高校・高等専修学校で学んだ」が約2割となっています。 ○人権問題について学習したり、知識を得たりするためによく利用するものは、「県や市町村が発行する広報誌等」が約5割、「テレビ・ラジオ」と「新聞」が約3割となっています。
人権に対する考え方やボランティアの経験について
○人権や差別に関する考え方として、「差別は法律で禁止する必要がある」「行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ」「差別されている人の声をきちんと聞く必要がある」「思いやりやさしさをみんながもてば人権問題は解決する」「子どもには権利よりききに、義務を果たすことを教える必要がある」「義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない」が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっています。 一方で、「介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい」「差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」「人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない」「部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上となっています。 ○分野別の人権に関する考え方として、「結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ」「家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない」「障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」「精神に障害がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる」「外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるよう

にする必要がある」「国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある」「自分の子どもが性的マイノリティ(性的少数者)であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある」「性的マイノリティ(性的少数者)であることを身近な人にも言えない社会は問題だ」「犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ」「刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会でささえる必要がある」「同性カップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある」が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっています。

一方で、「男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をした方がよい」「子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむをえない」「認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない」「女性専用車両は女性を保護しすぎている」では、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上となっています。

○この1年間で、障がい者や高齢者の自立支援や、子どもの見守り、防災活動や救援活動などのボランティア活動に参加した経験があるのは、約1割となっています。

人権侵害の経験について

○最近5年間で人権侵害の経験が「ある」のは約1割で、その人権侵害の理由として「その他」が約3割、「理由はわからない」が約2割となっています。

○人権侵害を受けた時の対応として、「黙って我慢した」が約3割、「無視した」が約2割、「相手に直接抗議した」「相談した」が約1割となっています。

○最近5年間で家族や周囲の人(市内在住)が人権侵害を受けていると回答したのは約1割で、その人権侵害の理由として「学歴・出身校」「身体の障がい」「知的障がい」「精神の障がい」「理由はわからない」「その他」が約1割となっています。

人権侵害に対する相談や救済について

○人権侵害に対する相談や救済について、「市役所が実施する法律相談(女性法律相談)」と「弁護士会による法律相談」を「知っている」が約5割となっています。

一方で、「知らない」と回答した割合について、「法務局による相談や救済措置」が約6割、「人権擁護委員による相談」「警察による総合相談」「NPOなど民間団体による相談」が約5割となっています。

○人権侵害に対する相談や救済において必要な事項として、「相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度・サービスを充実する」「新たな相談・救済体制を整備し、周知する」「人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う」「人権啓発活動の中で、人権が侵害されたときの対処の仕方を学ぶ機会を増やす」の全ての項目で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて約7割となっています。

分野別の人権課題について

○LGBTQの言葉を聞いたことがあるのは、約7割となっています。

○住居の選択について、「同和地区と隣接していてもかまわない」が約4割、「同和地区の中であってもかまわない」が約3割となっています。

○インターネットでの差別的な書き込みについて、「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」が約6割となっています。

結婚について
○子どもの結婚相手に求めることについて、「少しある(子どもの意思を尊重するが、希望することはない)」と「ない(どのような人であっても、子どもの意思を尊重する)」が約4割となっています。 ○子どもの結婚相手に求める条件について、「心身の障がいを持っていないこと」が約4割、「性的マイノリティ(性的少数者)でないこと」と「あてはまるものはない」が約3割となっています。
人権尊重社会をつくるための取組について
○人権が尊重される社会を実現するために、今後必要な取組として、「幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる」が約6割、「行政がさまざまな施策を積極的に進める」と「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」が約5割となっています。
人権に関する法律や条例について
○人権問題に関する法律や条例の認知度について、「児童虐待防止法(2000年)」「DV防止法(2001年)」「いじめ防止対策推進法(2013年)」については、6割以上が「知っている」と回答しています。 一方で、「知らない」と回答した割合が半数以上になっている法律や条例が多くなっています。

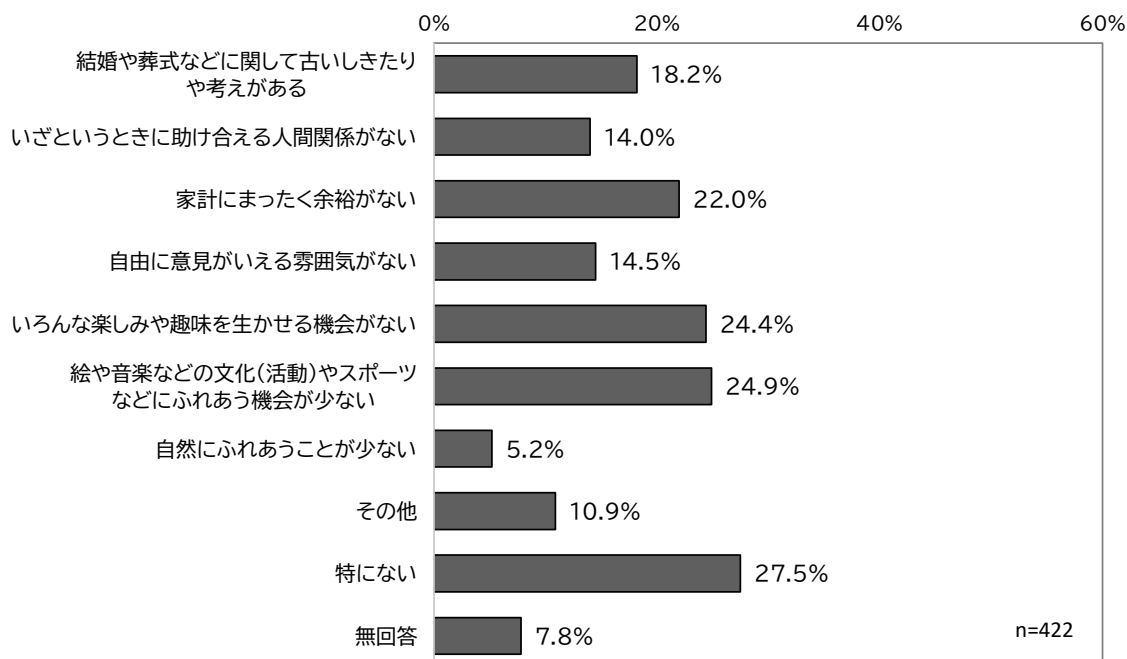
Ⅲ 調査結果

1 日常生活の感じ方、今の社会や自分自身に対する考え方について

問1 あなたが御所市に住んでいて「暮らしにくい」と感じることはどのようなことですか。
あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「特にない」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「絵や音楽などの文化(活動)やスポーツなどにふれあう機会が少ない」の割合が 24.9%、「いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない」の割合が 24.4%、「家計にまったく余裕がない」の割合が 22.0%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
結婚や葬式などに関して古いしきたりや考えがある	77	18.2%
いざというときに助け合える人間関係がない	59	14.0%
家計にまったく余裕がない	93	22.0%
自由に意見が言える雰囲気がない	61	14.5%
いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない	103	24.4%
絵や音楽などの文化(活動)やスポーツなどにふれあう機会が少ない	105	24.9%
自然にふれあうことが少ない	22	5.2%
その他	46	10.9%
特にない	116	27.5%
無回答	33	7.8%



その他の回答内容

交通の便が悪い(10件)、車がないと不便(5件)、仕事が少ない(3件)、地区の行事が多い(3件)、飲食店が少ない(2件)、空き家が多い(2件)、道が悪い(2件)、子育て世代が少ない(1件)、子供の学費補助が不公平(1件)、下水道設備が行き届いてない(1件)、行政サービスや農業振興への補助が脆弱(1件)、新しいスポーツセンターがほしい(1件)、専門店が少ない(1件)、開発がしにくい市である(1件)、暮らしにくいと感じることはあるが、少ない(1件)、公共交通機関が少ない(1件)、防災無線が無い為、情報が伝わりにくい(1件)、商工会青年部があまり活躍していない(1件)、市の今後の方針、方向性が見えず不安である(1件)、子供が遊べる大きな場所がない(1件)、子供の教育がしにくい(1件)、

娯楽施設がない(1件)、次代を担う若い世代がより大阪等の働きやすい所に出ていくので、周囲は年配の人ばかりになっている(1件)、小児科がない(1件)、水道代が高い(1件)、税金が高い(1件)、昔の人たちが強くて若い人は住みにくい(1件)、障がい者に対して不親切(1件)、運転マナーが悪い(1件)、近くに公園や子供が遊べる施設が少ない(1件)、古いしがらみが多い(1件)、御所市のイメージが悪い(1件)、病院が少ない(1件)、閉鎖的(1件)、母子手帳受け取りが代理でできない(1件)

(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で「家計にまったく余裕がない」「いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない」「絵や音楽などの文化(活動)やスポーツなどにふれあう機会が少ない」と回答した割合が高くなっています。
- 校区别では、「掖上小学校区」で「家計にまったく余裕がない」と回答した割合が高くなっています。
- 「葛城小学校区」では、「いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない」と回答した割合が高くなっています。
- 「大正小学校区」では、「結婚や葬式などに関して古いしきたりや考えがある」と「自由に意見が言える雰囲気がない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

区 分	有効回答数(件)	がて結あ古婚るいし葬きたりやに考閑えし	合いざると人いう間と係きにないけ	な家計にまったく余裕が	困自由がな意見がえる霧	をい生ろかせる楽しめがやない趣味	などへ活ふ動ふれあうスポの文化が少	少自然にふれあうことが	その他	特にない	無回答
全体	422	18.2%	14.0%	22.0%	14.5%	24.4%	24.9%	5.2%	10.9%	27.5%	7.8%
29歳以下	28	10.7%	14.3%	10.7%	7.1%	25.0%	25.0%	7.1%	21.4%	32.1%	3.6%
30～39歳	21	19.0%	9.5%	42.9%	14.3%	38.1%	47.6%	-	19.0%	33.3%	-
40～49歳	37	18.9%	10.8%	35.1%	8.1%	37.8%	35.1%	2.7%	16.2%	18.9%	-
50～59歳	54	16.7%	20.4%	25.9%	16.7%	24.1%	22.2%	3.7%	16.7%	24.1%	5.6%
60～69歳	83	16.9%	13.3%	20.5%	18.1%	32.5%	32.5%	7.2%	10.8%	26.5%	3.6%
70歳以上	177	18.1%	14.1%	18.1%	13.6%	17.5%	18.6%	5.1%	5.6%	29.4%	13.0%

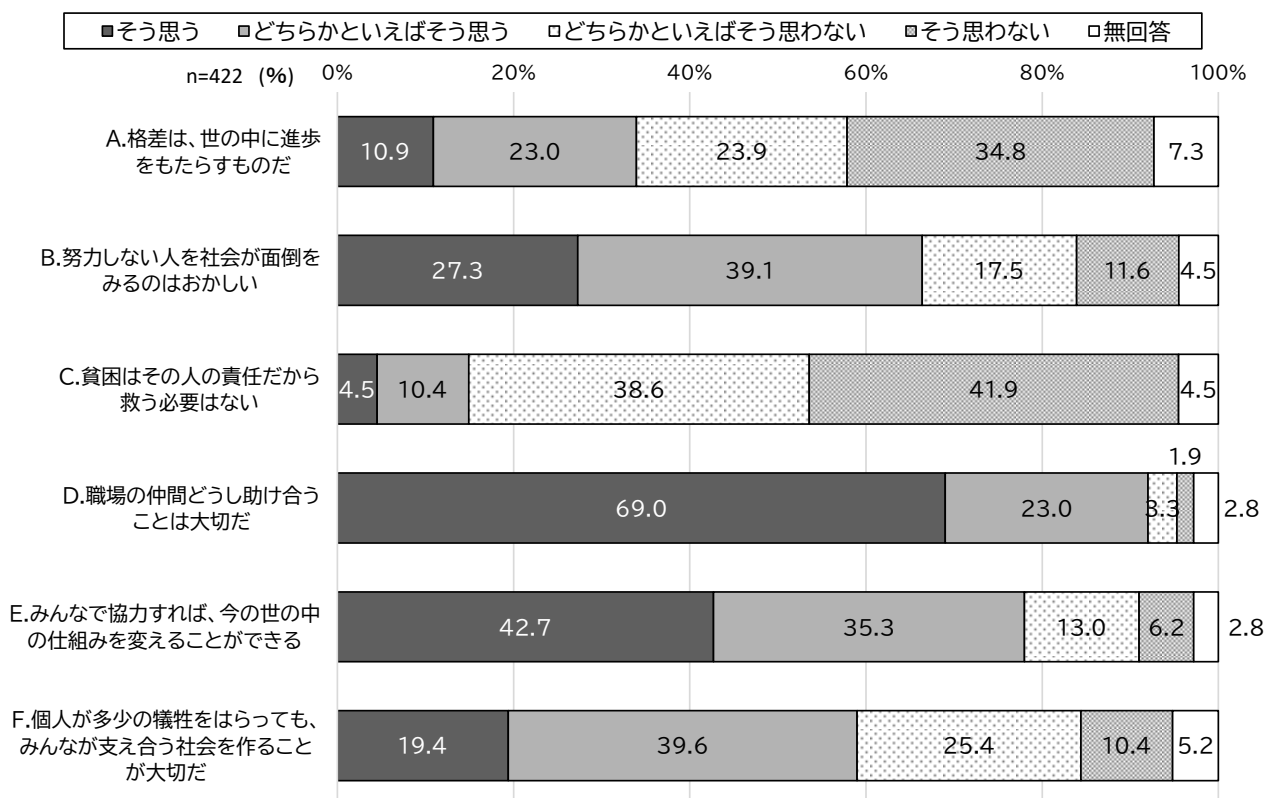
●校区别

区 分	有効回答数(件)	がて結あ古婚るいし葬きたりやに考閑えし	合いざると人いう間と係きにないけ	な家計にまったく余裕が	困自由がな意見がえる霧	をい生ろかせる楽しめがやない趣味	などへ活ふ動ふれあうスポの文化が少	少自然にふれあうことが	その他	特にない	無回答
全体	422	18.2%	14.0%	22.0%	14.5%	24.4%	24.9%	5.2%	10.9%	27.5%	7.8%
御所小学校区	87	5.7%	18.4%	19.5%	17.2%	29.9%	28.7%	4.6%	12.6%	29.9%	6.9%
葛城小学校区	20	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	25.0%	20.0%	10.0%	10.0%	30.0%	5.0%
秋津小学校区	154	16.9%	11.0%	22.7%	10.4%	19.5%	25.3%	5.2%	7.8%	32.5%	6.5%
掖上小学校区	31	22.6%	16.1%	35.5%	16.1%	19.4%	12.9%	3.2%	16.1%	16.1%	9.7%
葛城小学校区	18	11.1%	11.1%	22.2%	-	38.9%	22.2%	-	22.2%	16.7%	5.6%
名柄小学校区	21	19.0%	9.5%	9.5%	19.0%	33.3%	23.8%	4.8%	23.8%	19.0%	14.3%
大正小学校区	55	34.5%	20.0%	23.6%	25.5%	27.3%	32.7%	7.3%	7.3%	21.8%	3.6%

問2 今の社会について次のような意見があります。それについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Fで1つずつ）

○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっているものは、「B.努力しない人を社会が面倒をみるのはおかしい」「D. 職場の仲間どうし助け合うことは大切だ」「E.みんなで協力すれば、今の世の中の仕組みを変えることができる」「F. 個人が多少の犠牲をはらっても、みんなが支え合う社会を作ることが大切だ」です。

○「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっているものは、「A. 格差は、世の中に進歩をもたらすものだ」「C. 貧困はその人の責任だから救う必要はない」です。

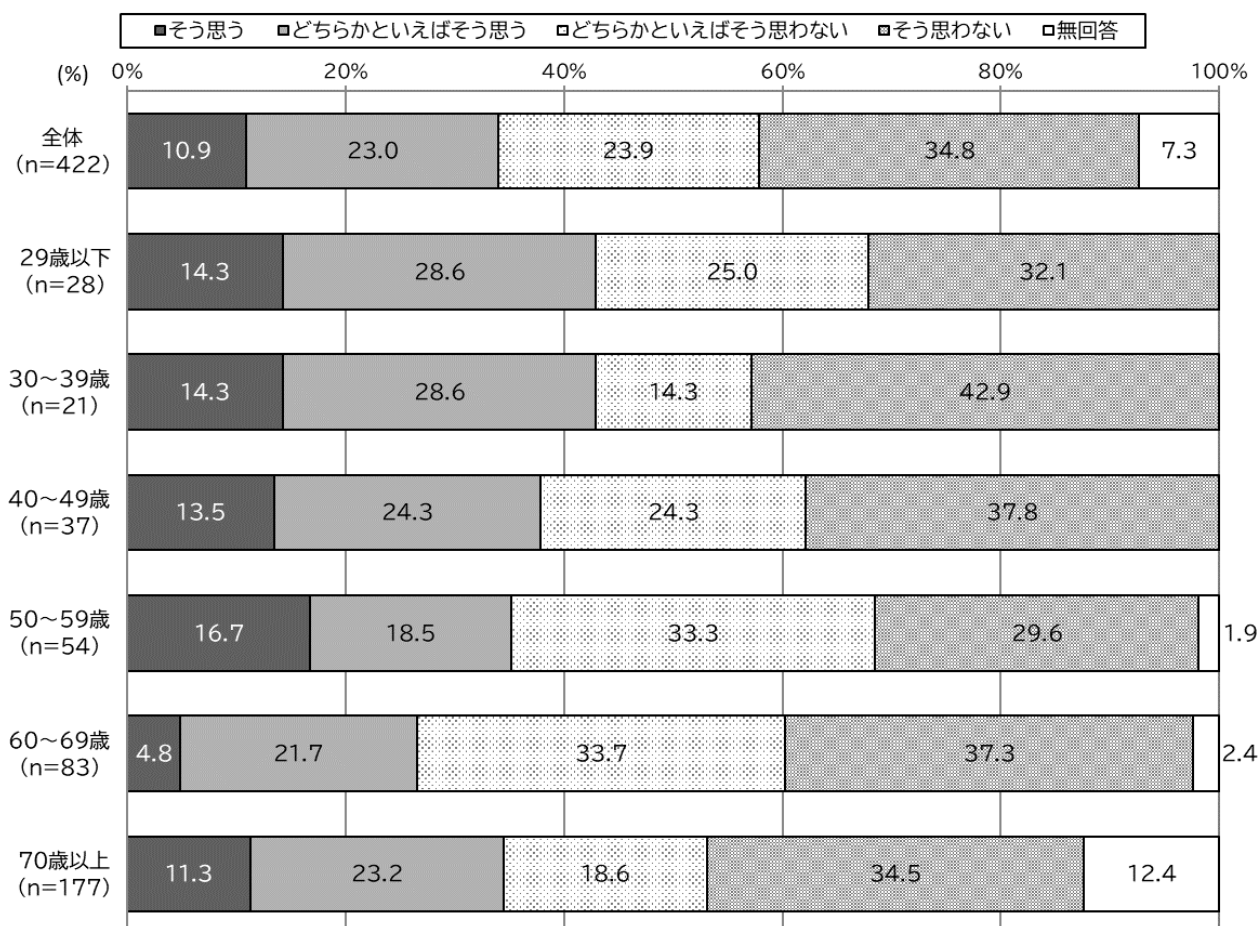


(参考) クロス集計結果

問2 A. 格差は、世の中に進歩をもたらすものだ

○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
 ○「60～69歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

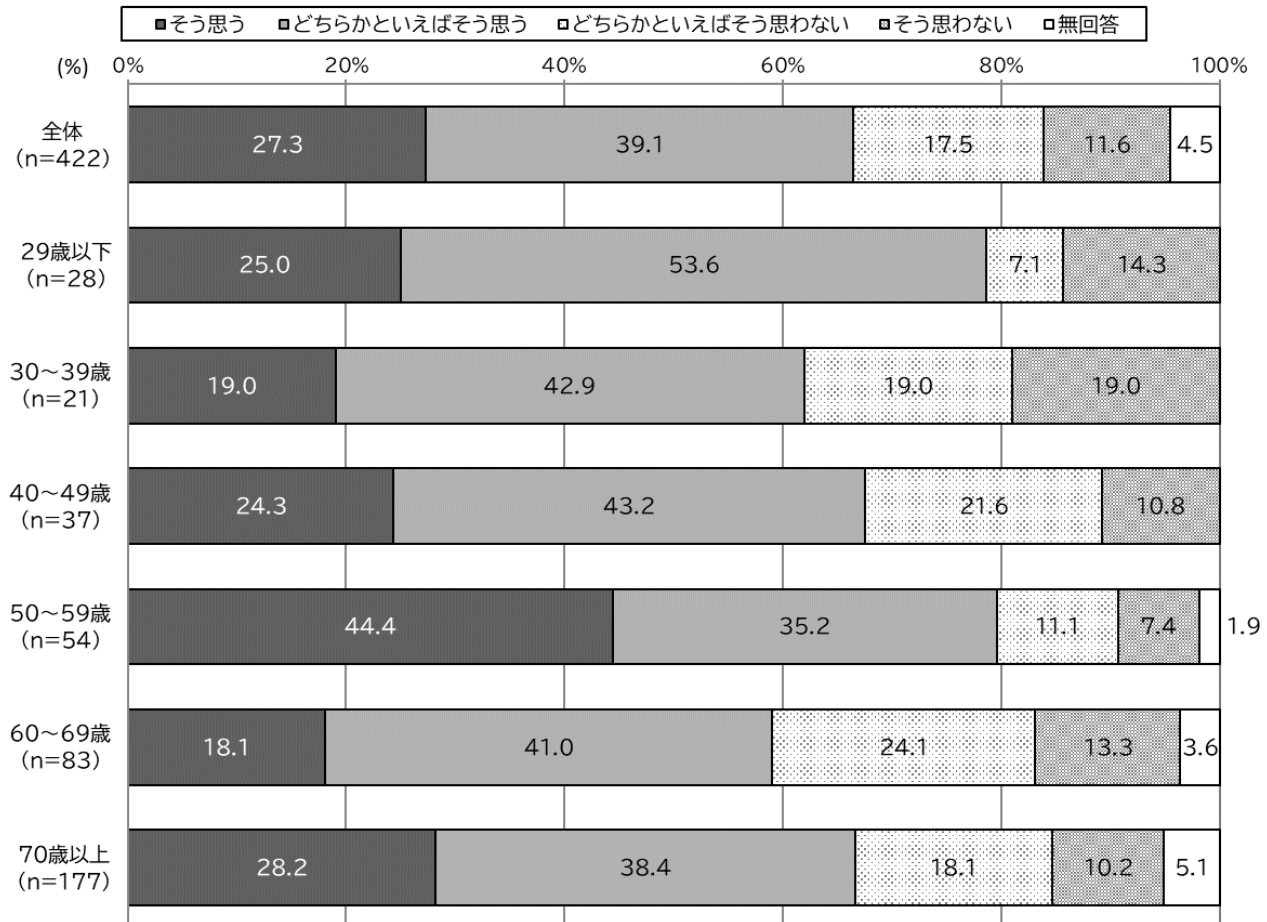
●年代別



問2 B. 努力しない人を社会が面倒をみるのはおかしい

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

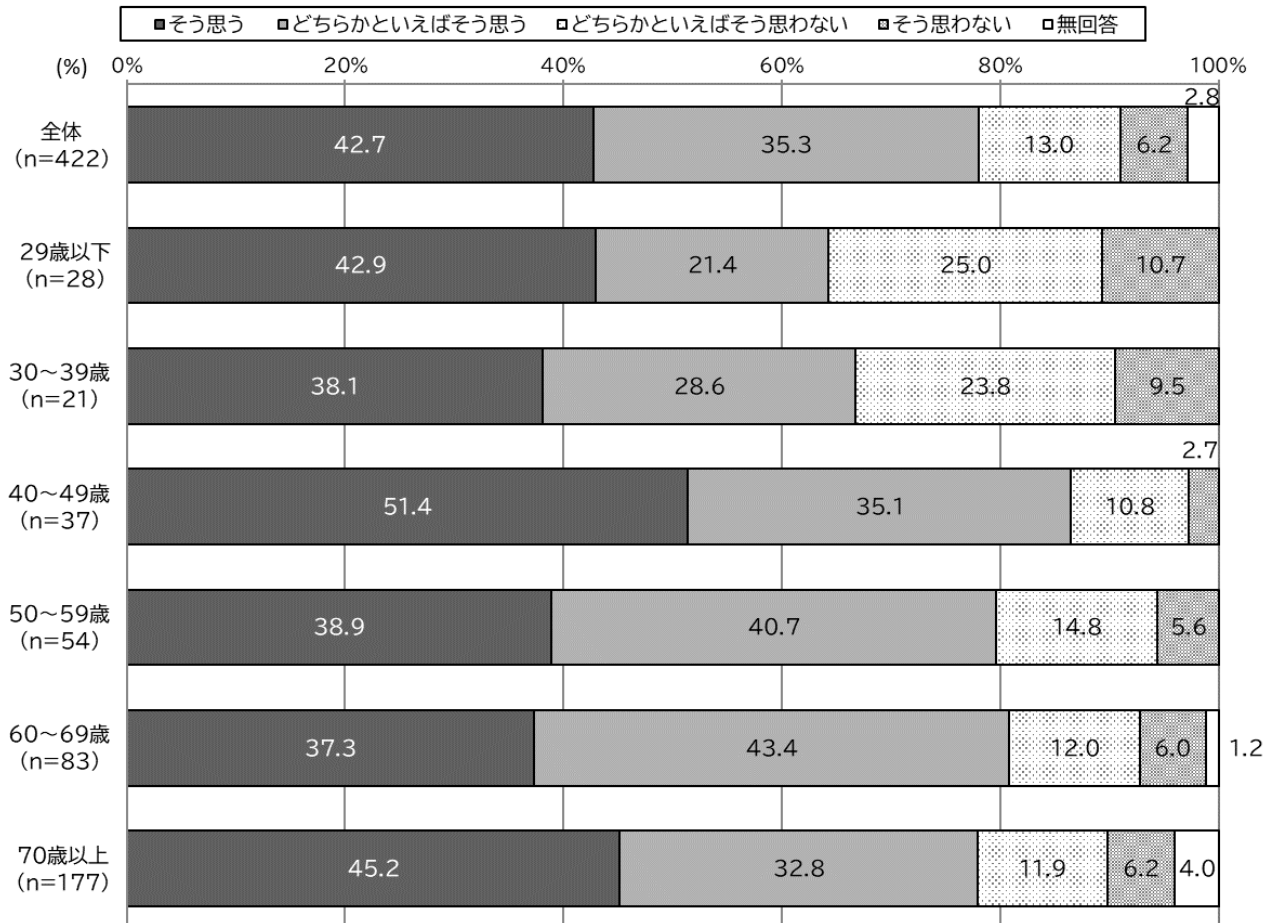
●年代別



問2 E. みんなで協力すれば、今の世の中の仕組みを変えることができる

○年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

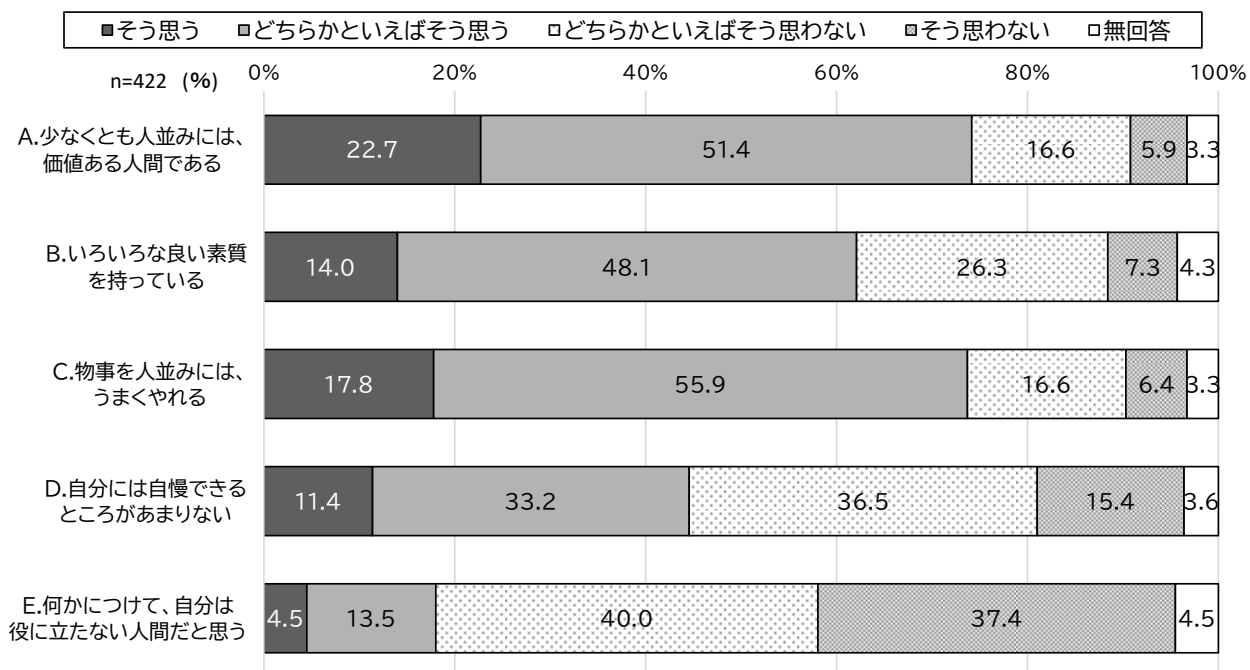
●年代別



問3 あなたは自分自身をどのような人間だと思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Eで1つずつ）

○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっているものは、「A.少なくとも人並みには、価値ある人間である」「B.いろいろな良い素質を持っている」「C.物事を人並みには、うまくやれる」です。

○「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっているものは、「D.自分には自慢できるところがあまりない」「E.何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う」です。

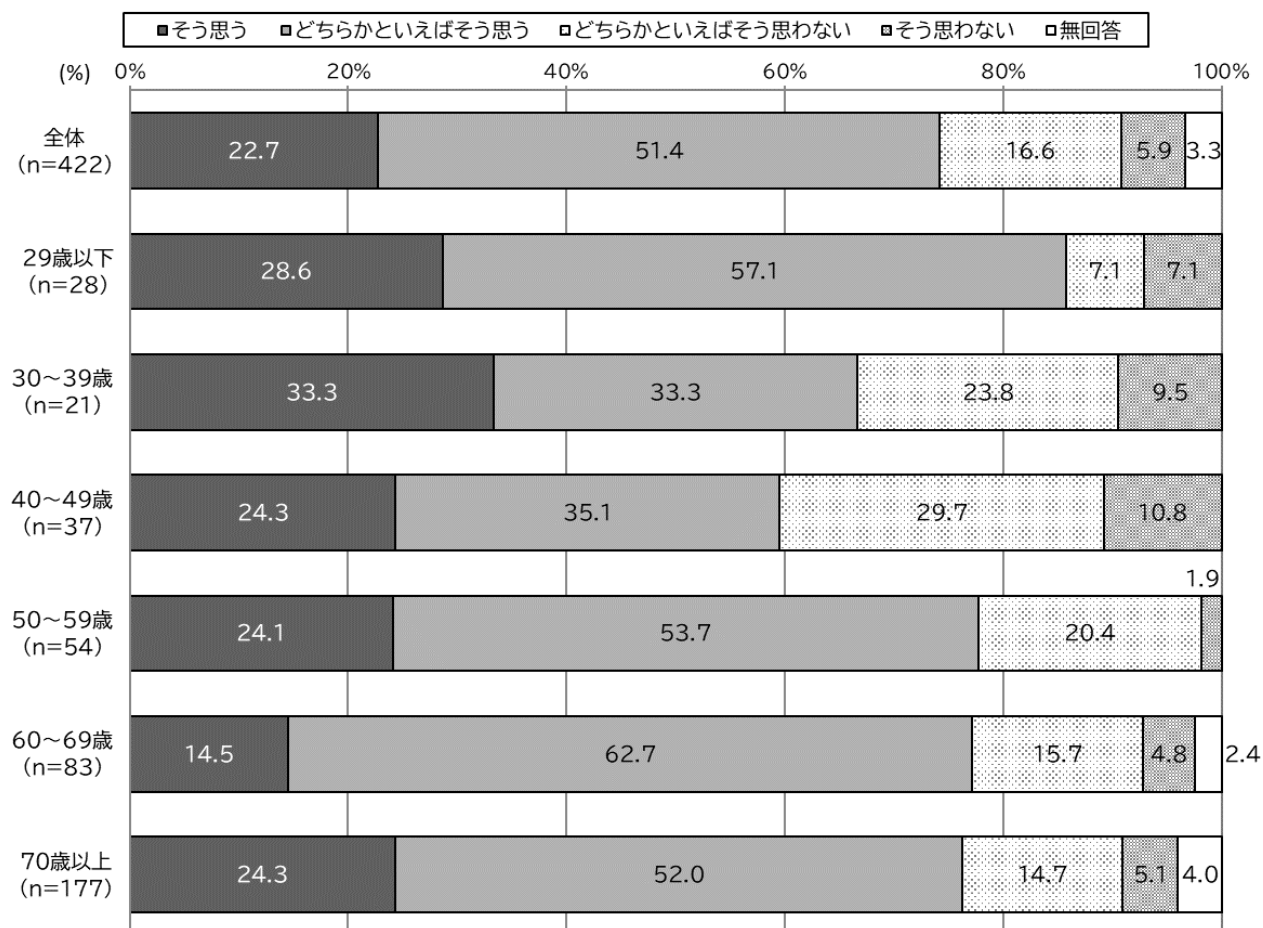


(参考) クロス集計結果

問3 A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
○「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

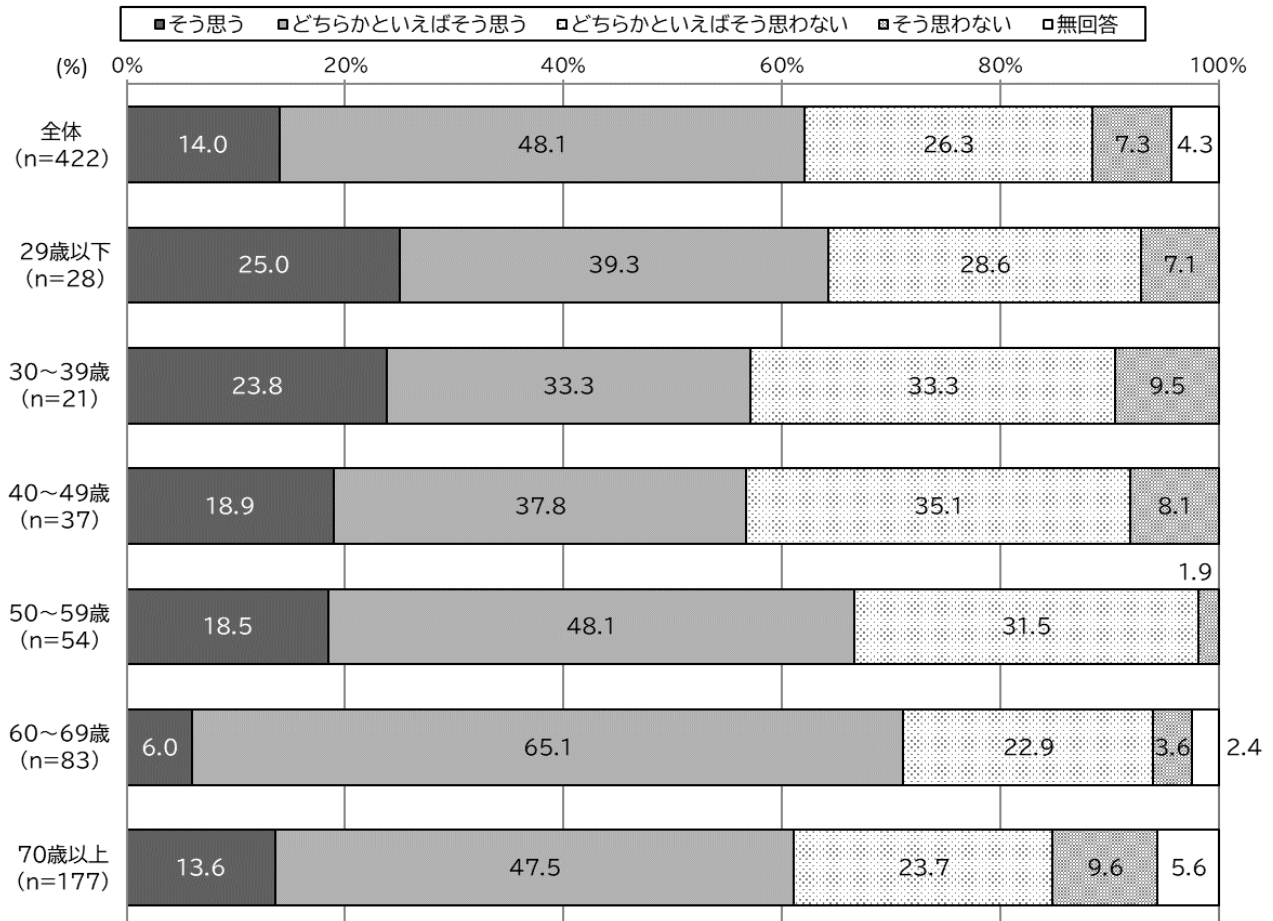
●年代別



問3 B. いろいろな良い素質を持っている

- 年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

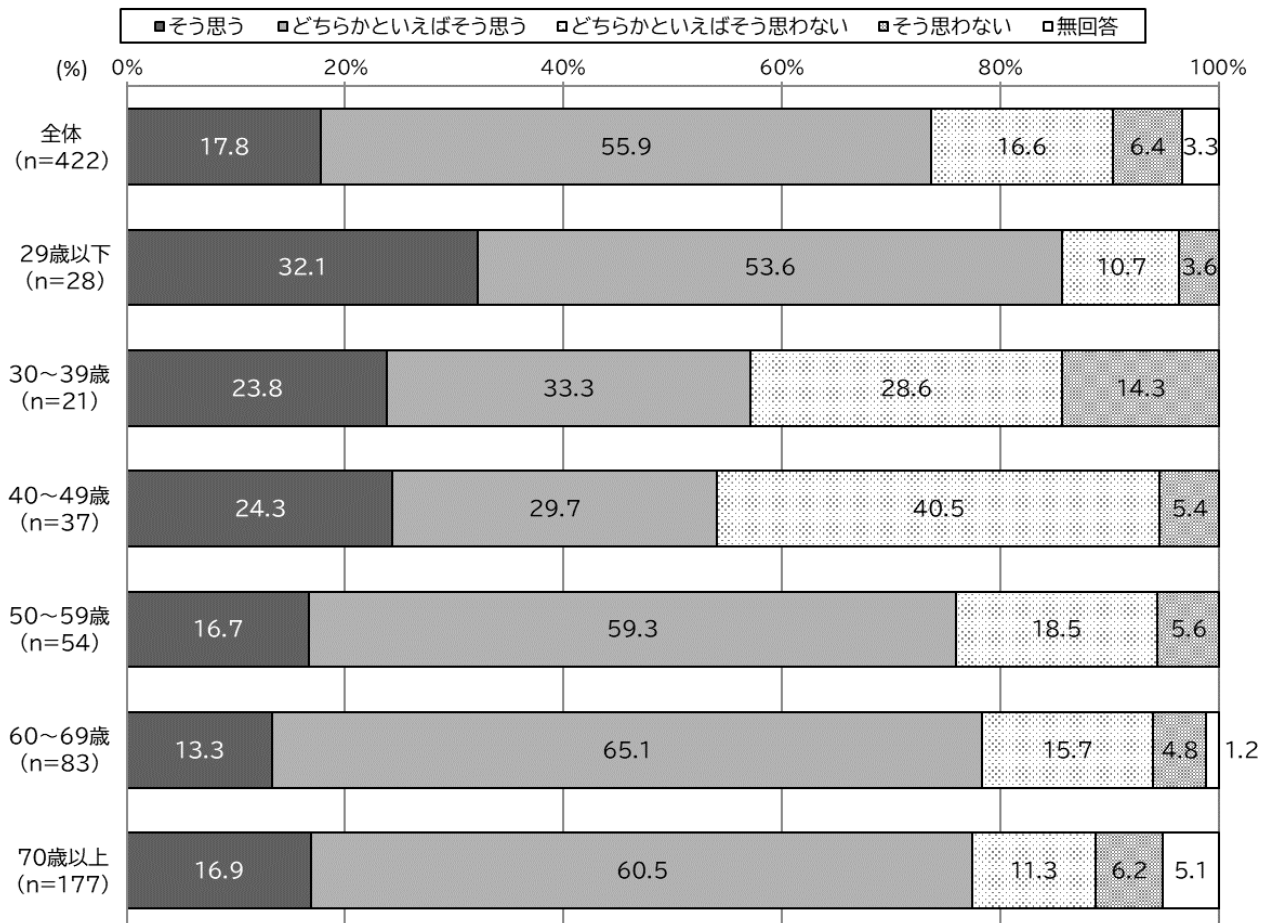
●年代別



問3 C. 物事を人並みには、うまくやれる

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
- 「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

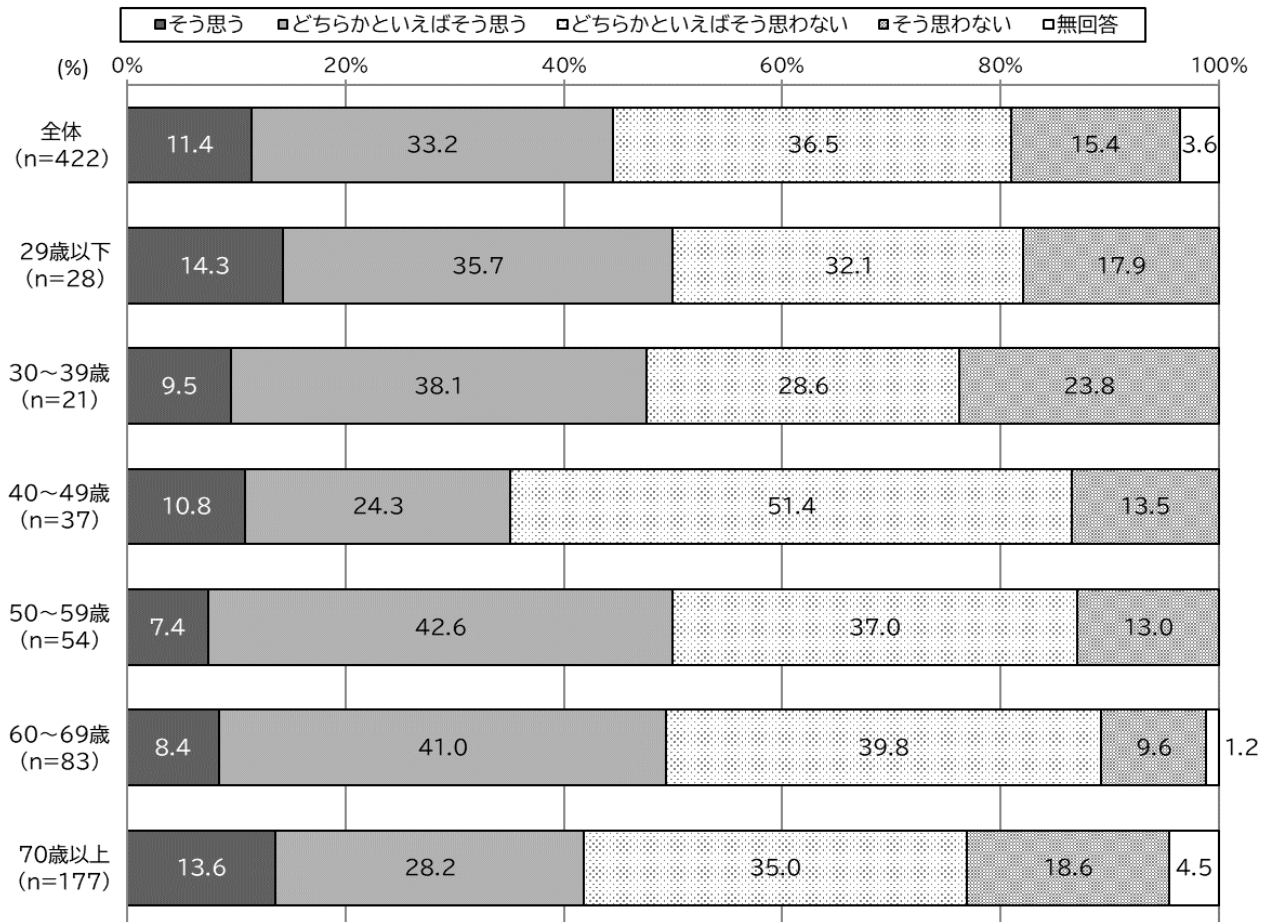
●年代別



問3 D. 自分には自慢できるところがあまりない

○年代別では、「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

●年代別



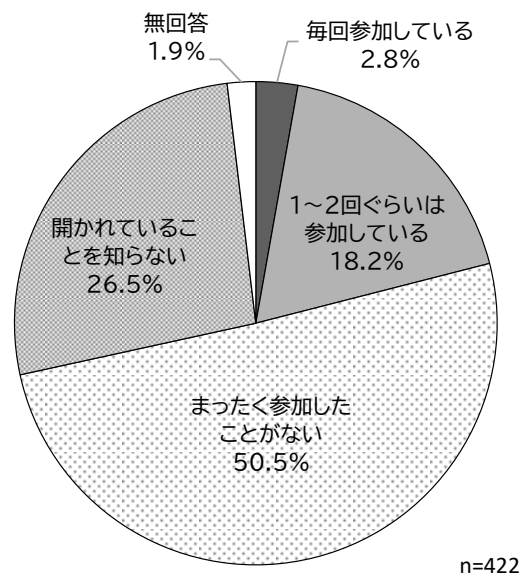
2 人権学習経験について

問4 御所市の人権問題に関する学習会や研修会について、参加状況をお聞かせください。

(1) あなたは、最近3年間で市が主催する「差別をなくす市民集会」に参加されたことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

○「まったく参加したことがない」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「開かれていることを知らない」の割合が 26.5%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
毎回参加している	12	2.8%
1～2回ぐらいは参加している	77	18.2%
まったく参加したことがない	213	50.5%
開かれていることを知らない	112	26.5%
無回答	8	1.9%

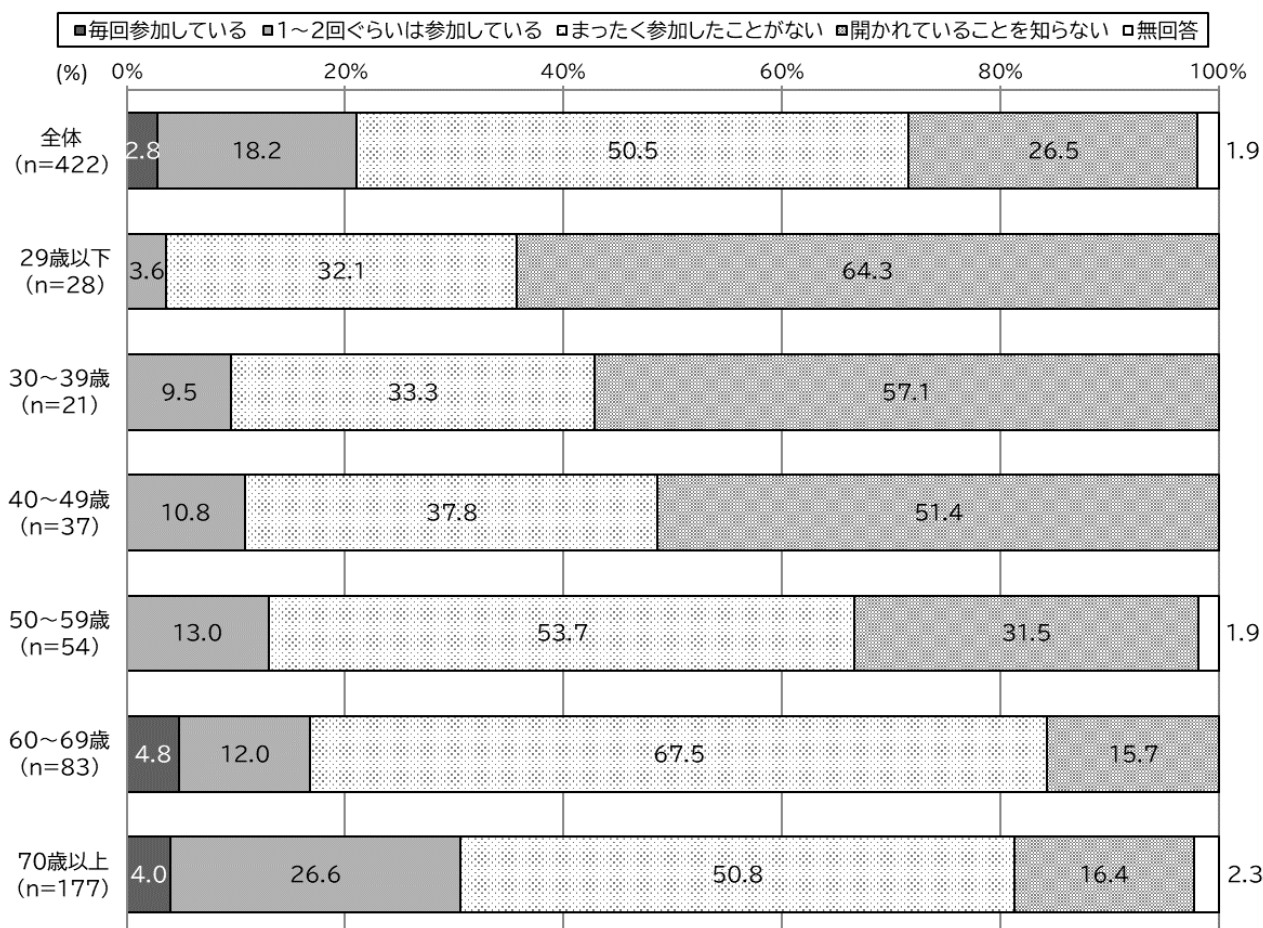


(参考) クロス集計結果

問 4-1 「差別をなくす市民集会」に参加

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「開かれていることを知らない」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「まったく参加したことがない」と回答した割合が高くなっています。

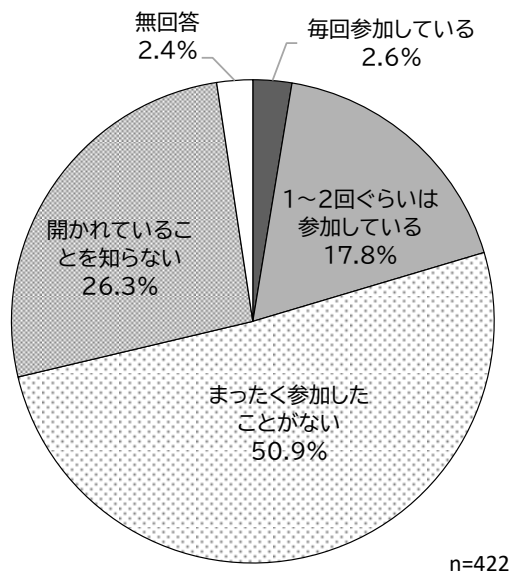
●年代別



問4 (2) あなたは、最近3年間で人権教育推進協議会が主催する「校区・地区別学習会（人権問題講演会等）」に参加されたことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「まったく参加したことがない」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「開かれていることを知らない」の割合が 26.3%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
毎回参加している	11	2.6%
1～2回ぐらいは参加している	75	17.8%
まったく参加したことがない	215	50.9%
開かれていることを知らない	111	26.3%
無回答	10	2.4%

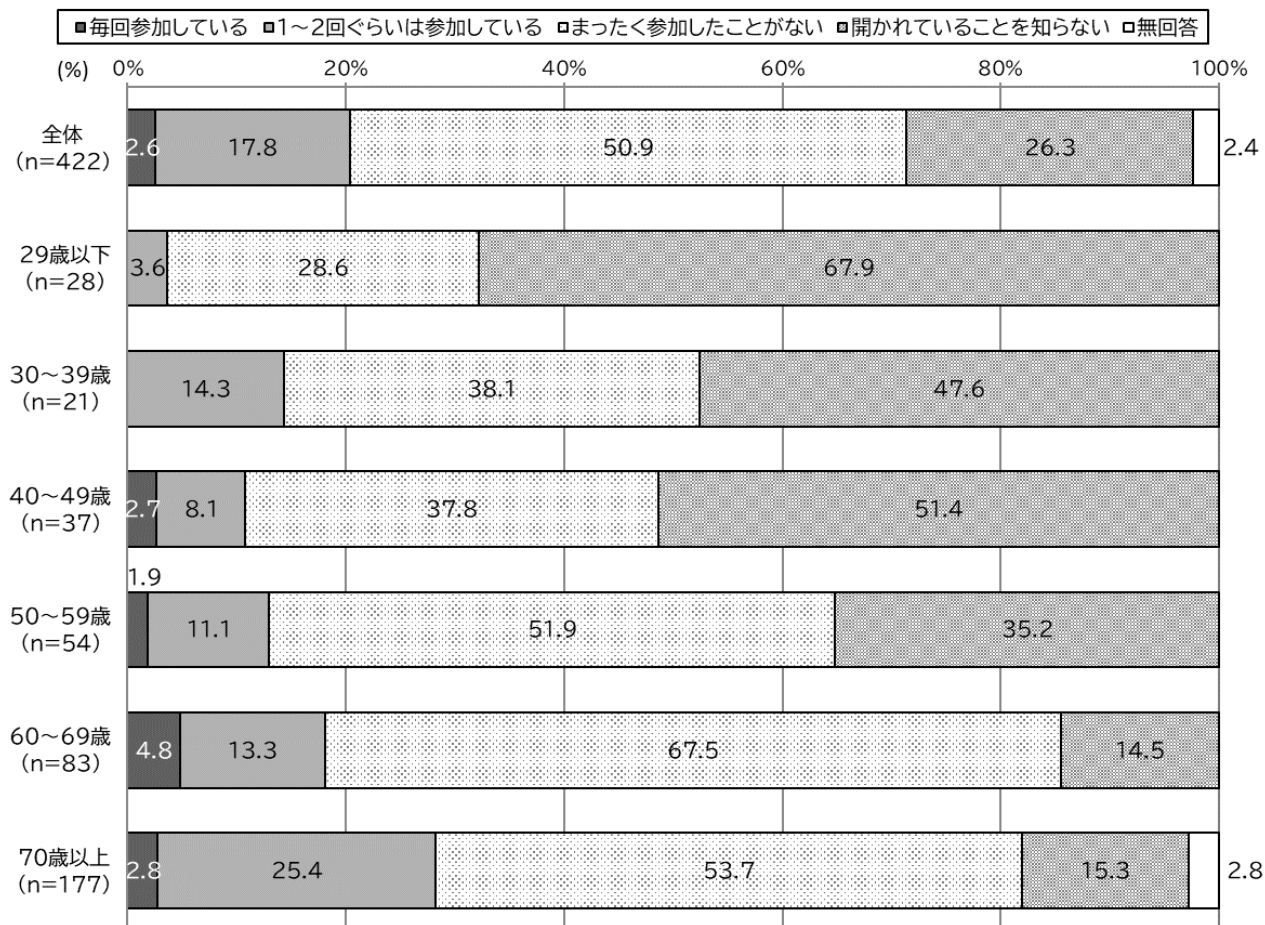


(参考) クロス集計結果

問 4-2 「校区・地区別学習会（人権問題講演会等）」に参加

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「開かれていることを知らない」と回答した割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「まったく参加したことがない」と回答した割合が高くなっています。

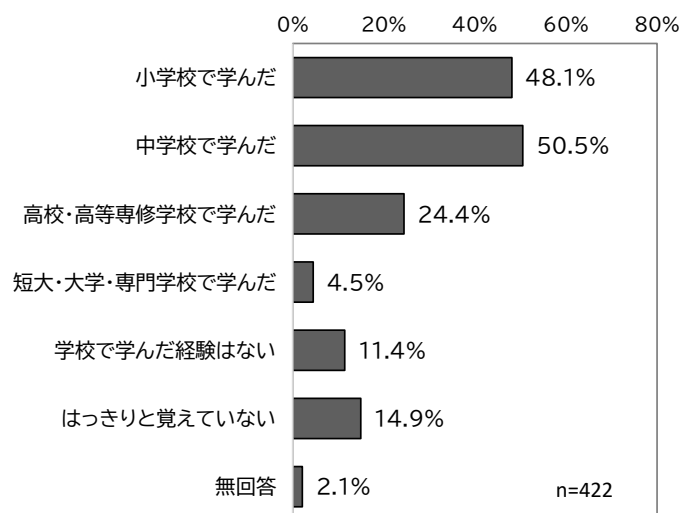
●年代別



問5 あなたは、同和問題や他の人権問題について、学校の授業等で学習したことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「中学校で学んだ」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「小学校で学んだ」の割合が 48.1%、「高校・高等専修学校で学んだ」が 24.4%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
小学校で学んだ	203	48.1%
中学校で学んだ	213	50.5%
高校・高等専修学校で学んだ	103	24.4%
短大・大学・専門学校で学んだ	19	4.5%
学校で学んだ経験はない	48	11.4%
はっきりと覚えていない	63	14.9%
無回答	9	2.1%



(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「小学校で学んだ」と「高校・高等専修学校で学んだ」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「小学校で学んだ」と回答した割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「小学校で学んだ」と「中学校で学んだ」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「小学校で学んだ」「中学校で学んだ」「高校・高等専修学校で学んだ」と回答した割合が高くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「中学校で学んだ」と「高校・高等専修学校で学んだ」と回答した割合が高くなっています。
- 「70歳以上」では、全体と比較して、「学校で学んだ経験はない」と回答した割合が高くなっています。

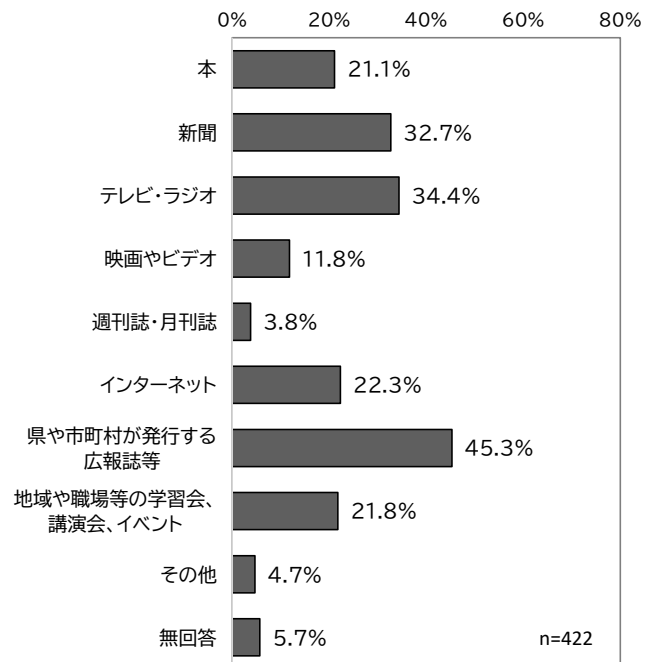
●年代別

区 分	有効回答数 (件)	小学校で学んだ	中学校で学んだ	高校・高等専修学校で学んだ	短大・大学・専門学校で学んだ	学校で学んだ経験はない	はっきりと覚えていない	無回答
全体	422	48.1%	50.5%	24.4%	4.5%	11.4%	14.9%	2.1%
29歳以下	28	71.4%	53.6%	42.9%	-	-	10.7%	-
30～39歳	21	57.1%	47.6%	19.0%	4.8%	4.8%	19.0%	-
40～49歳	37	91.9%	67.6%	13.5%	-	-	2.7%	-
50～59歳	54	85.2%	75.9%	38.9%	7.4%	-	7.4%	-
60～69歳	83	51.8%	60.2%	34.9%	3.6%	6.0%	10.8%	-
70歳以上	177	19.2%	35.6%	15.8%	5.6%	23.2%	22.6%	3.4%

問6 あなたが人権問題について学習したり、知識を得たりするためによく利用するものはどれですか。あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「県や市町村が発行する広報誌等」の割合が 45,3%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオ」の割合が 34,4%、「新聞」の割合が 32,7%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
本	89	21.1%
新聞	138	32.7%
テレビ・ラジオ	145	34.4%
映画やビデオ	50	11.8%
週刊誌・月刊誌	16	3.8%
インターネット	94	22.3%
県や市町村が発行する広報誌等	191	45.3%
地域や職場等の学習会、講演会、イベント	92	21.8%
その他	20	4.7%
無回答	24	5.7%



その他の回答内容

知人から学ぶ(5件)、学校で学ぶ(4件)、学習した事がない(2件)、職場の研修(1件)、PTA等(1件)、実体験(1件)、利用していない(1件)、特になし(1件)、不明(1件)

(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「テレビ・ラジオ」「インターネット」「その他」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「テレビ・ラジオ」と「インターネット」と回答した割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「インターネット」と回答した割合が高くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「県や市町が発行する広報誌等」と回答した割合が高くなっています。
- 「70歳以上」では、全体と比較して「新聞」と回答した割合が高くなっています。

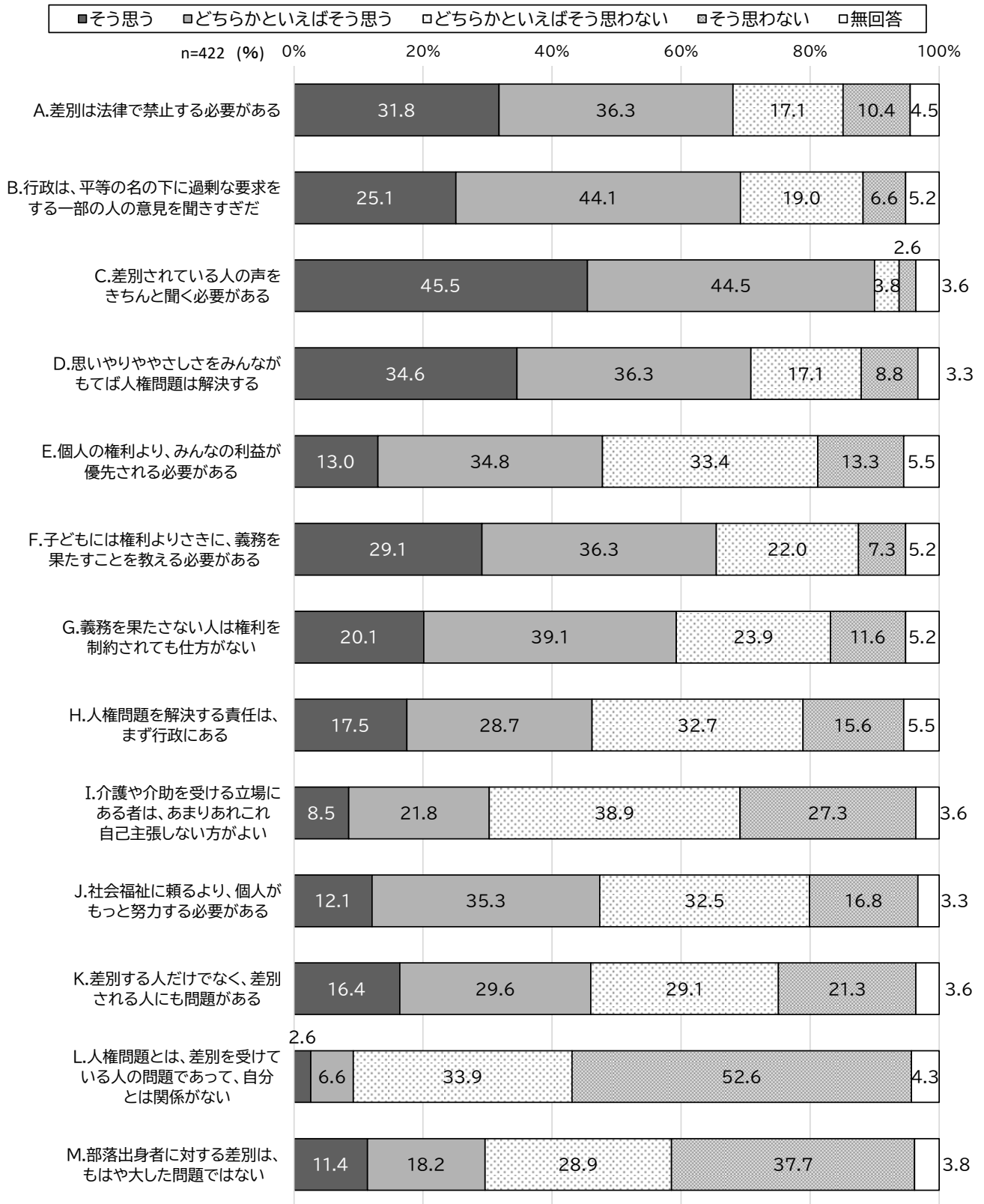
●年代別

区 分	有効回答数 (件)	本	新聞	テレビ・ラジオ	映画やビデオ	週刊誌・月刊誌	インターネット	県や市町村が発行する広報誌等	講演会、地域や職場等の学習会、イベント	その他	無回答
全体	422	21.1%	32.7%	34.4%	11.8%	3.8%	22.3%	45.3%	21.8%	4.7%	5.7%
29歳以下	28	28.6%	25.0%	46.4%	14.3%	3.6%	57.1%	10.7%	3.6%	14.3%	-
30～39歳	21	14.3%	19.0%	52.4%	19.0%	-	57.1%	19.0%	14.3%	4.8%	-
40～49歳	37	13.5%	16.2%	29.7%	10.8%	2.7%	64.9%	32.4%	2.7%	5.4%	5.4%
50～59歳	54	16.7%	25.9%	37.0%	14.8%	9.3%	27.8%	50.0%	25.9%	7.4%	3.7%
60～69歳	83	18.1%	32.5%	37.3%	10.8%	3.6%	19.3%	55.4%	22.9%	3.6%	3.6%
70歳以上	177	23.7%	42.9%	31.1%	10.2%	3.4%	4.0%	52.0%	24.9%	3.4%	7.9%

3 人権に対する考え方やボランティアの経験について

問7 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Mで1つずつ）

- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっているものは、「A.差別は法律で禁止する必要がある」「B.行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ」「C.差別されている人の声をきちんと聞く必要がある」「D.思いやりややさしさをみんながもてば人権問題は解決する」「F.子どもには権利よりききに、義務を果たすことを教える必要がある」「G.義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない」です。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっているものは、「I.介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい」「K.差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある」「L.人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない」「M.部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない」です。

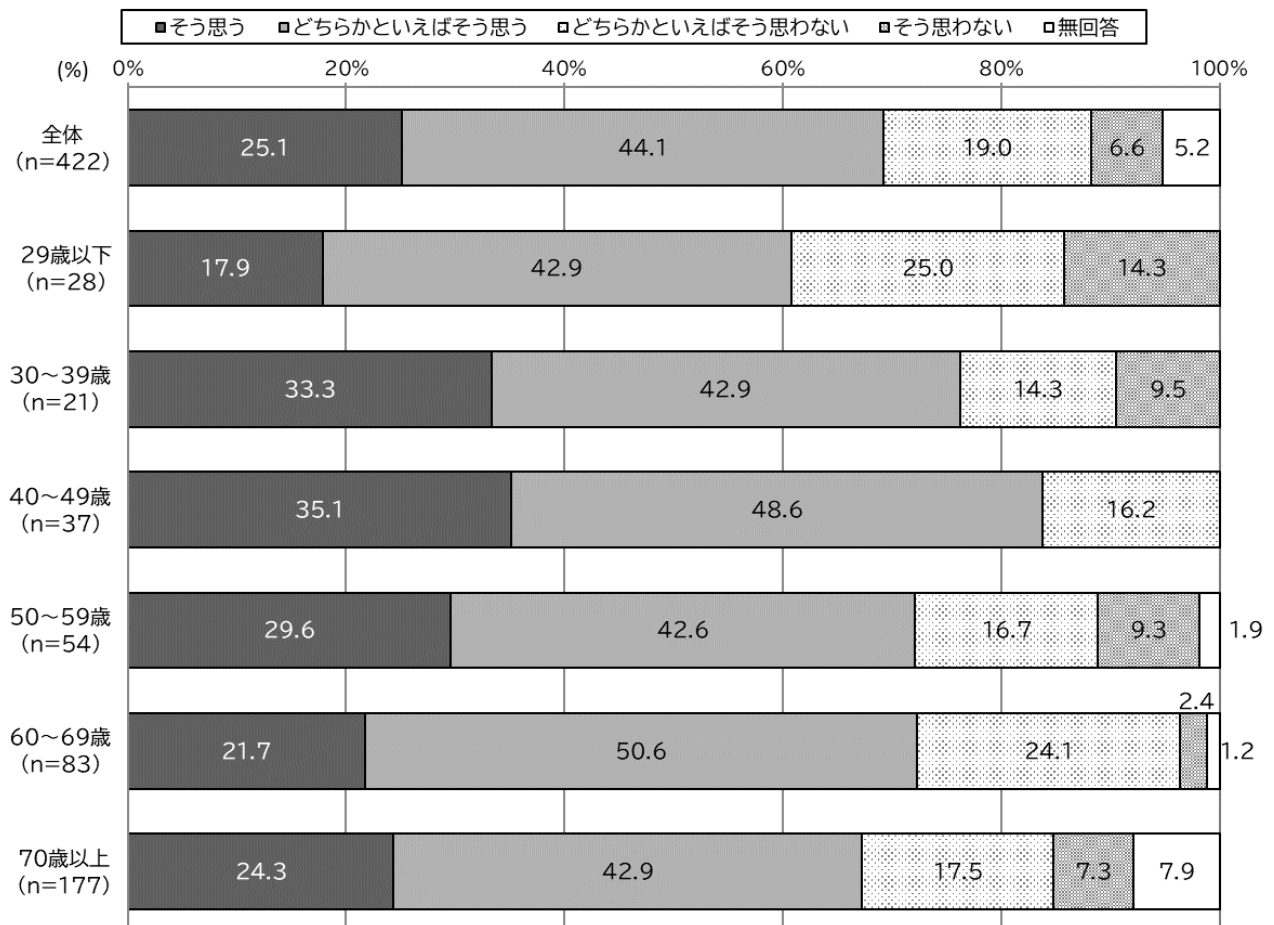


(参考) クロス集計結果

問7 B. 行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

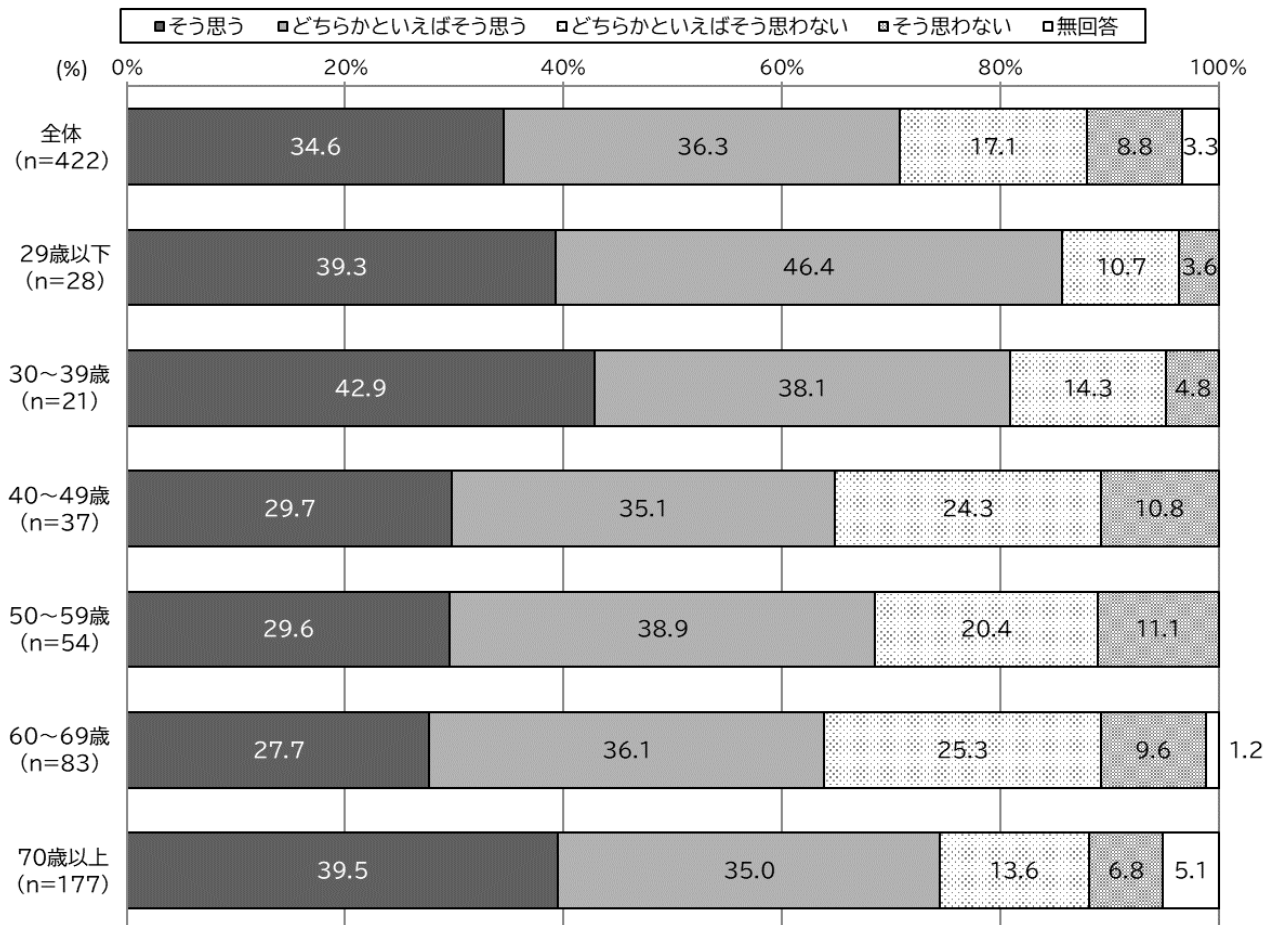
●年代別



問7 D. 思いやりやさしさをみんながもてば人権問題は解決する

- 年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
- 「40～49歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

●年代別

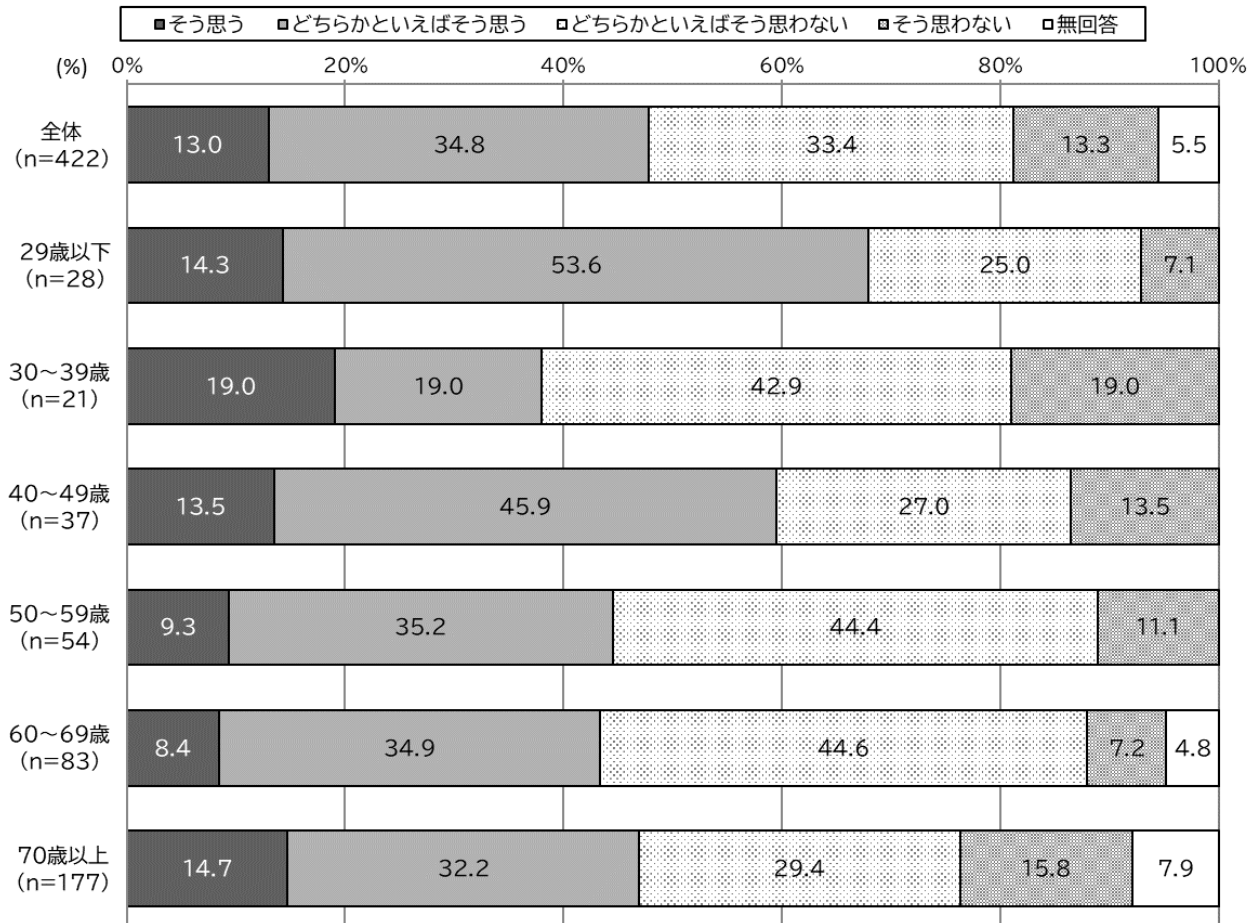


問7 E. 個人の権利より、みんなの利益が優先される必要がある

○年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

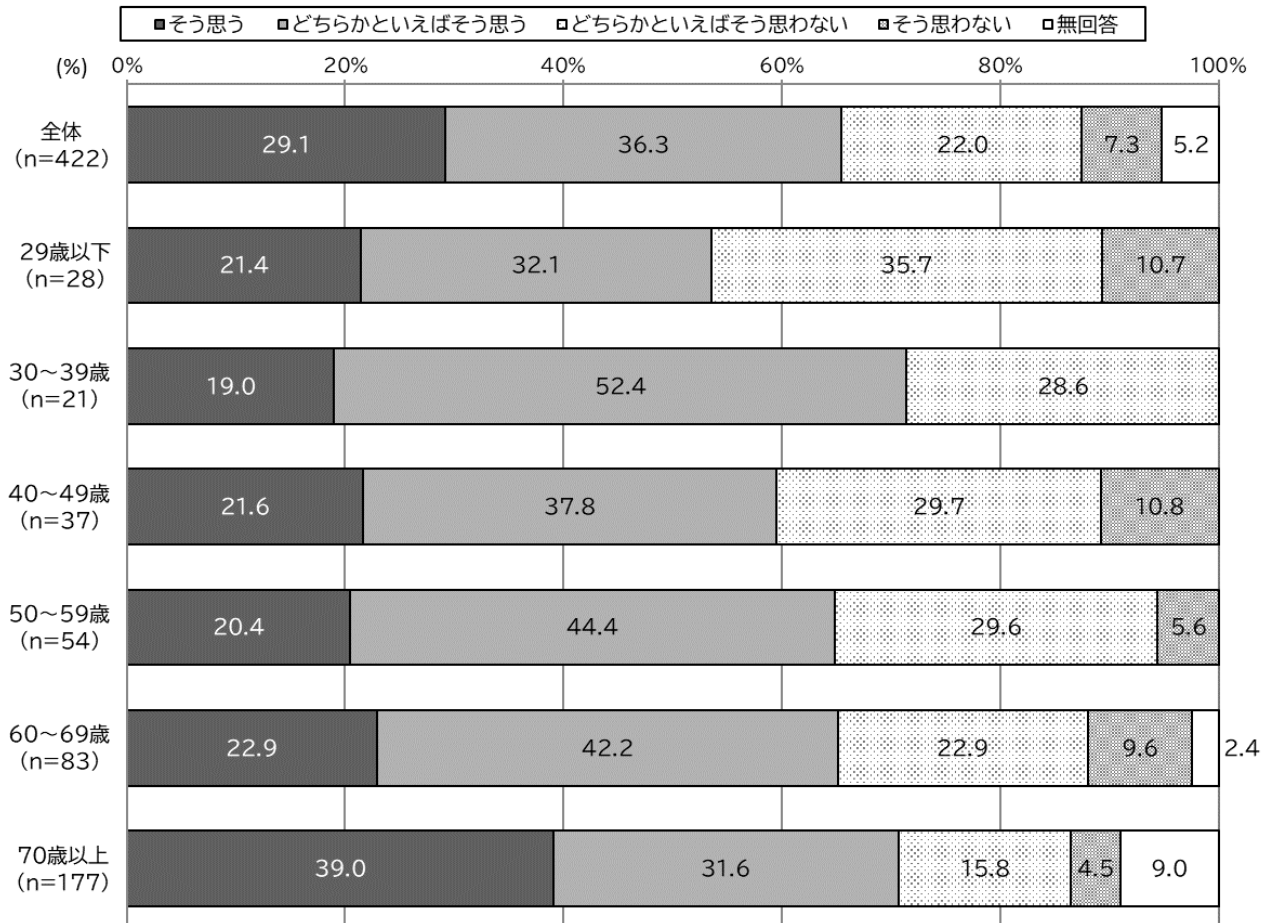
●年代別



問7 F. 子どもには権利よりさきに、義務を果たすことを教える必要がある

○年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

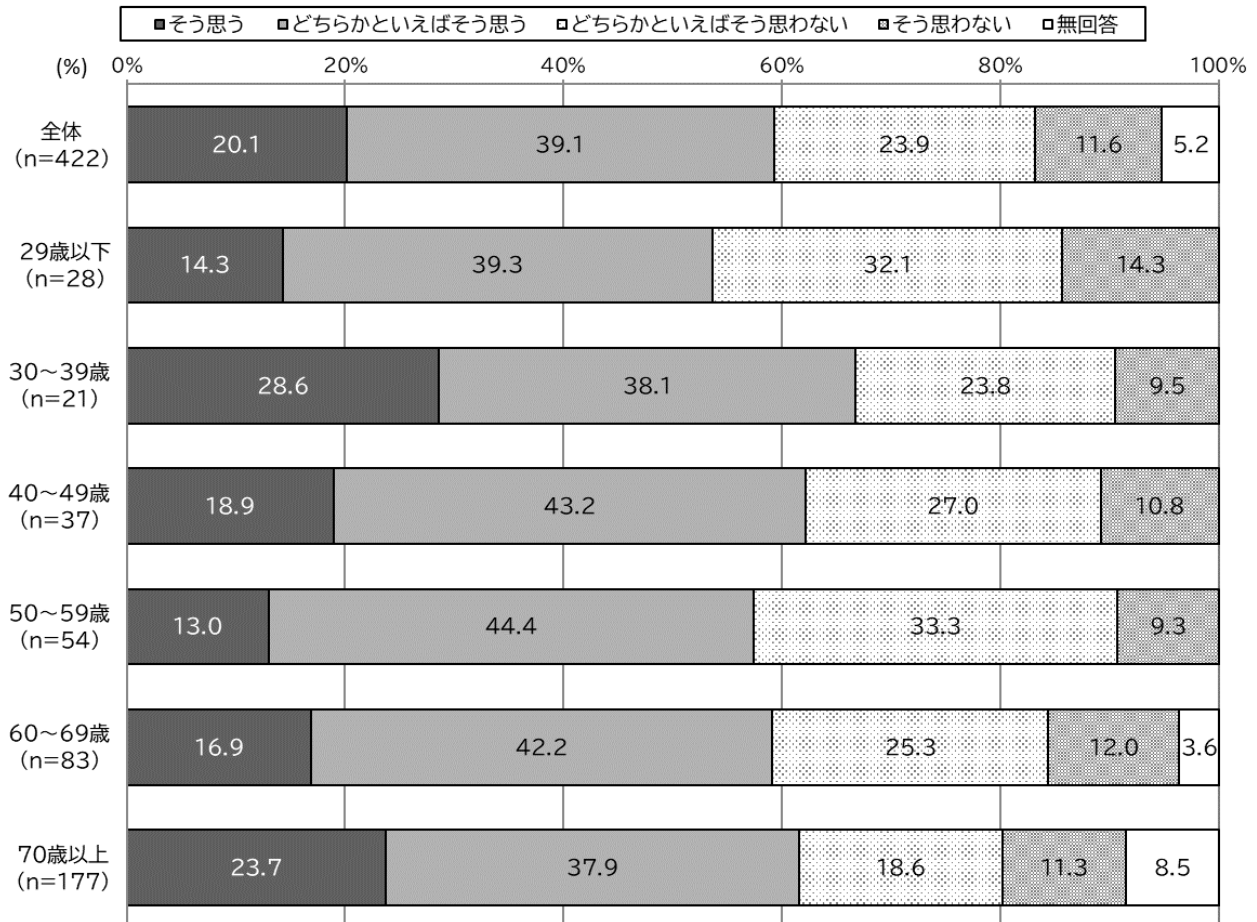
●年代別



問7 G. 義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない

○年代別では「29歳以下」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

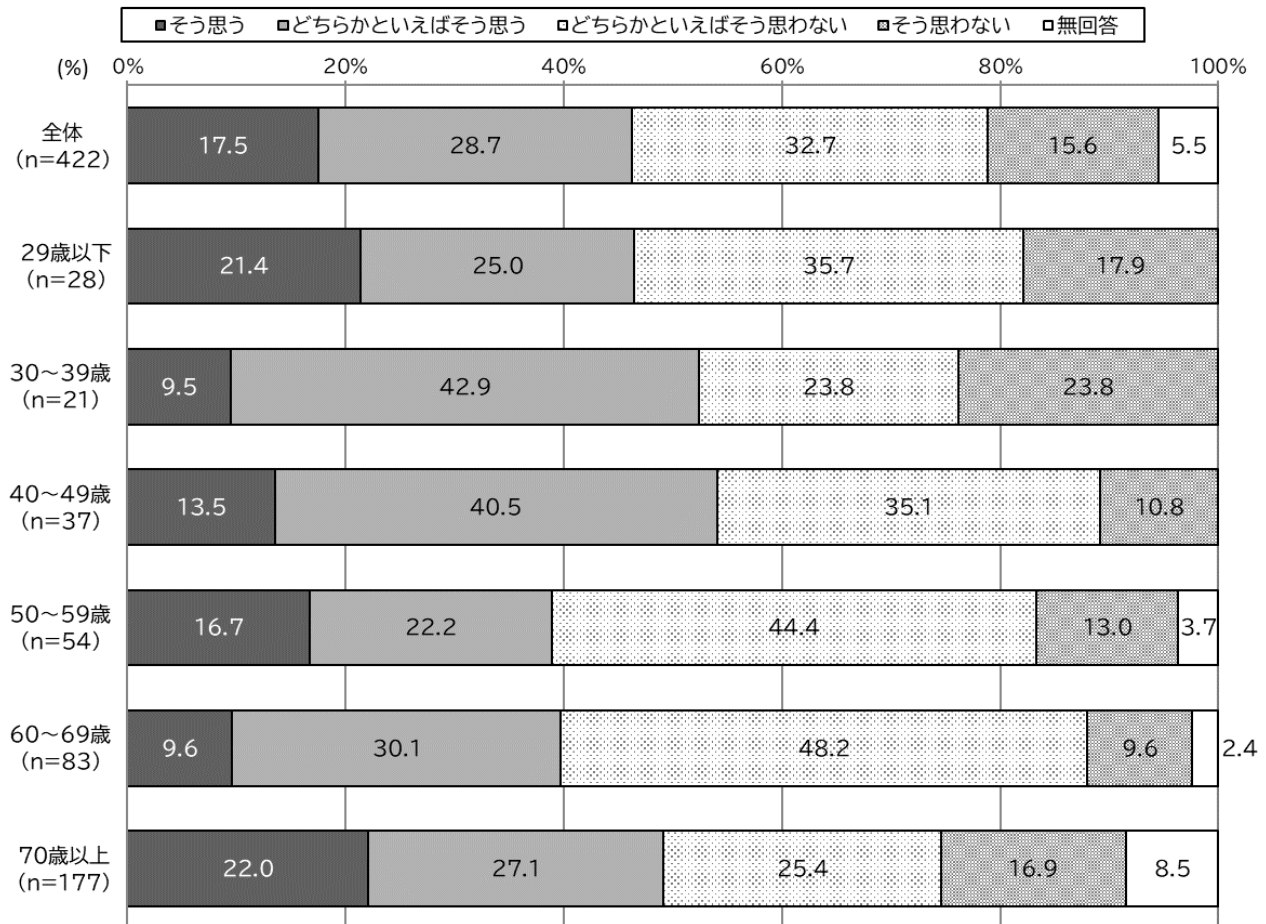
●年代別



問7 H. 人権問題を解決する責任は、まず行政にある

○年代別では「50～59歳」と「60～69歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

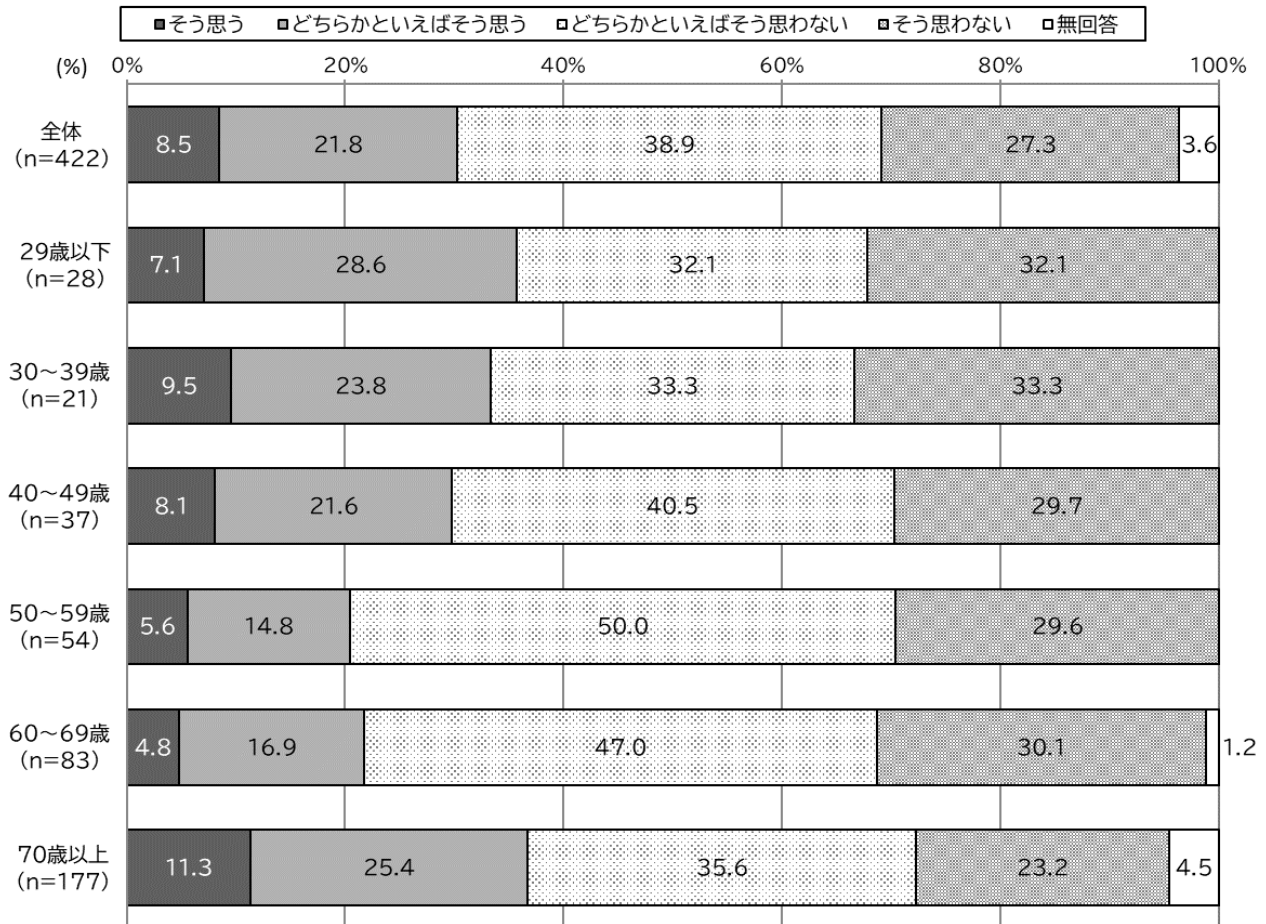
●年代別



問7 I. 介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい

○年代別では、「50～59歳」と「60～69歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

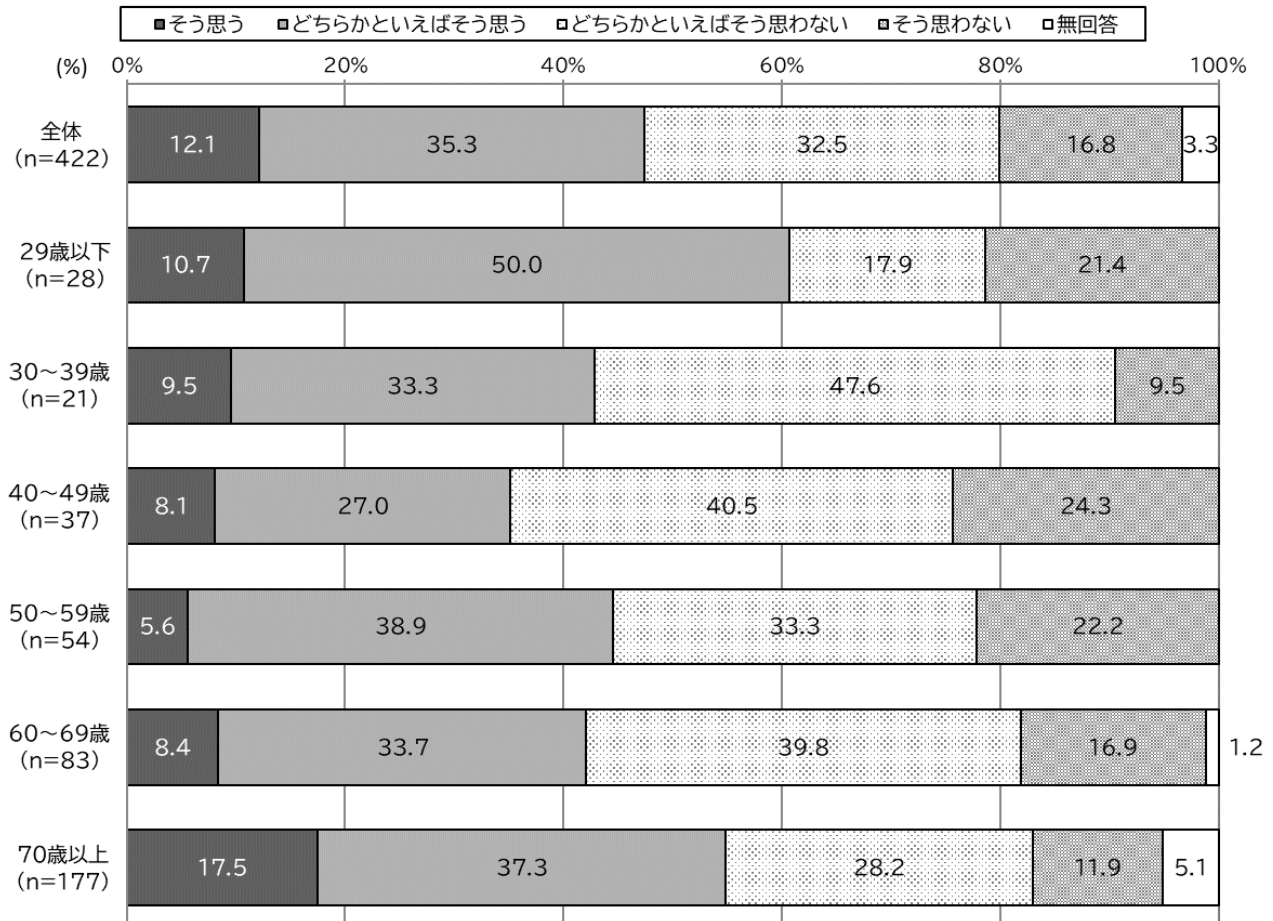
●年代別



問7 J. 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

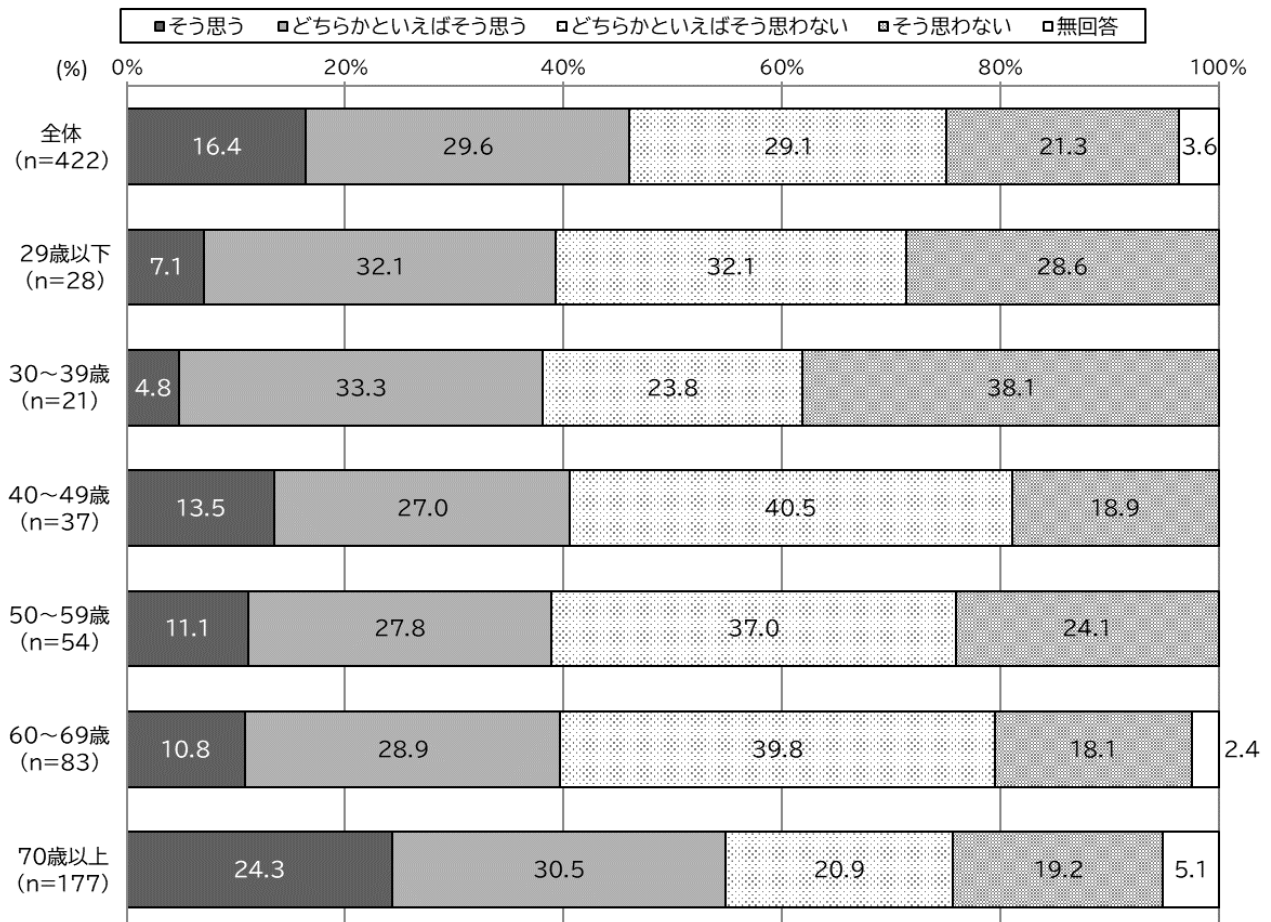
●年代別



問7 K. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が高くなっています。

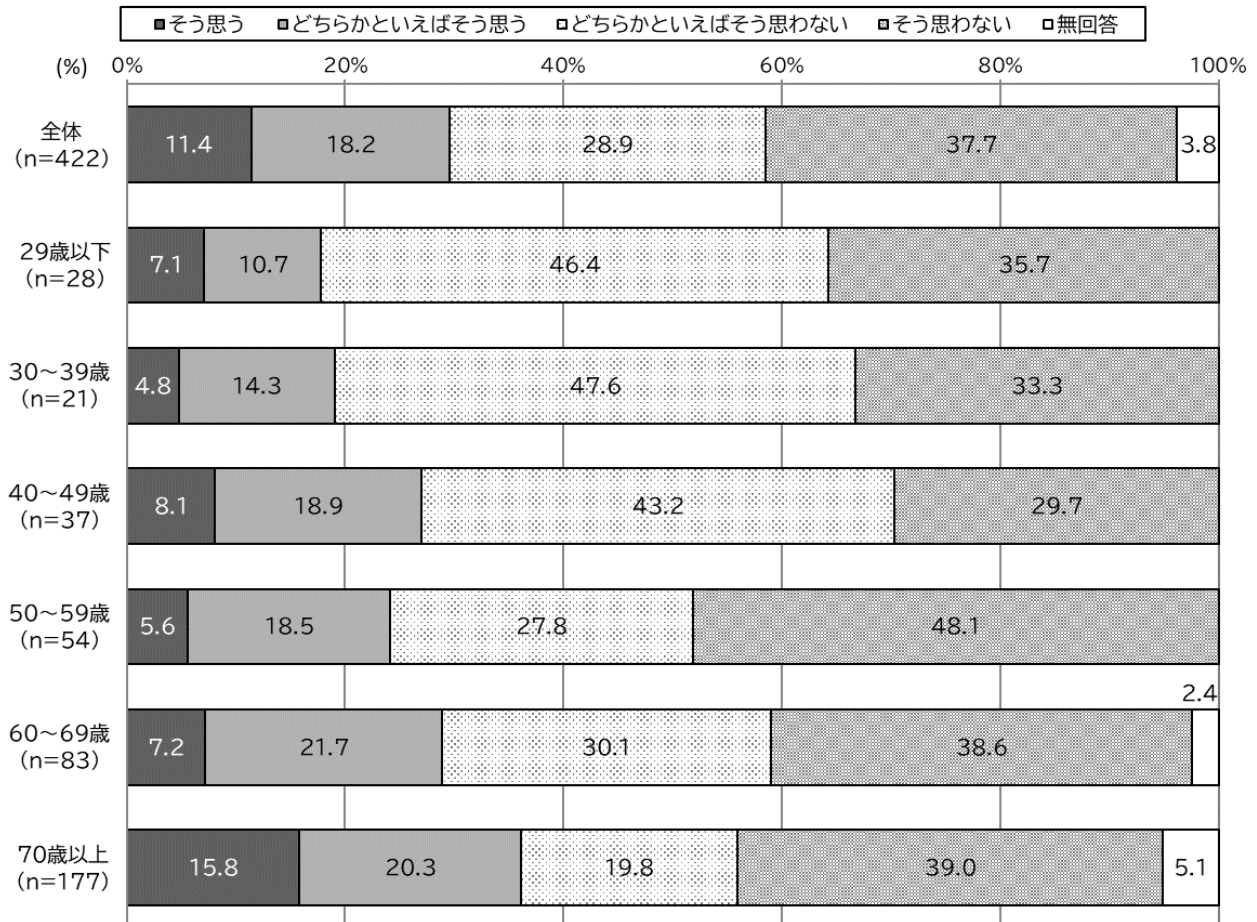
●年代別



問 7 M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない

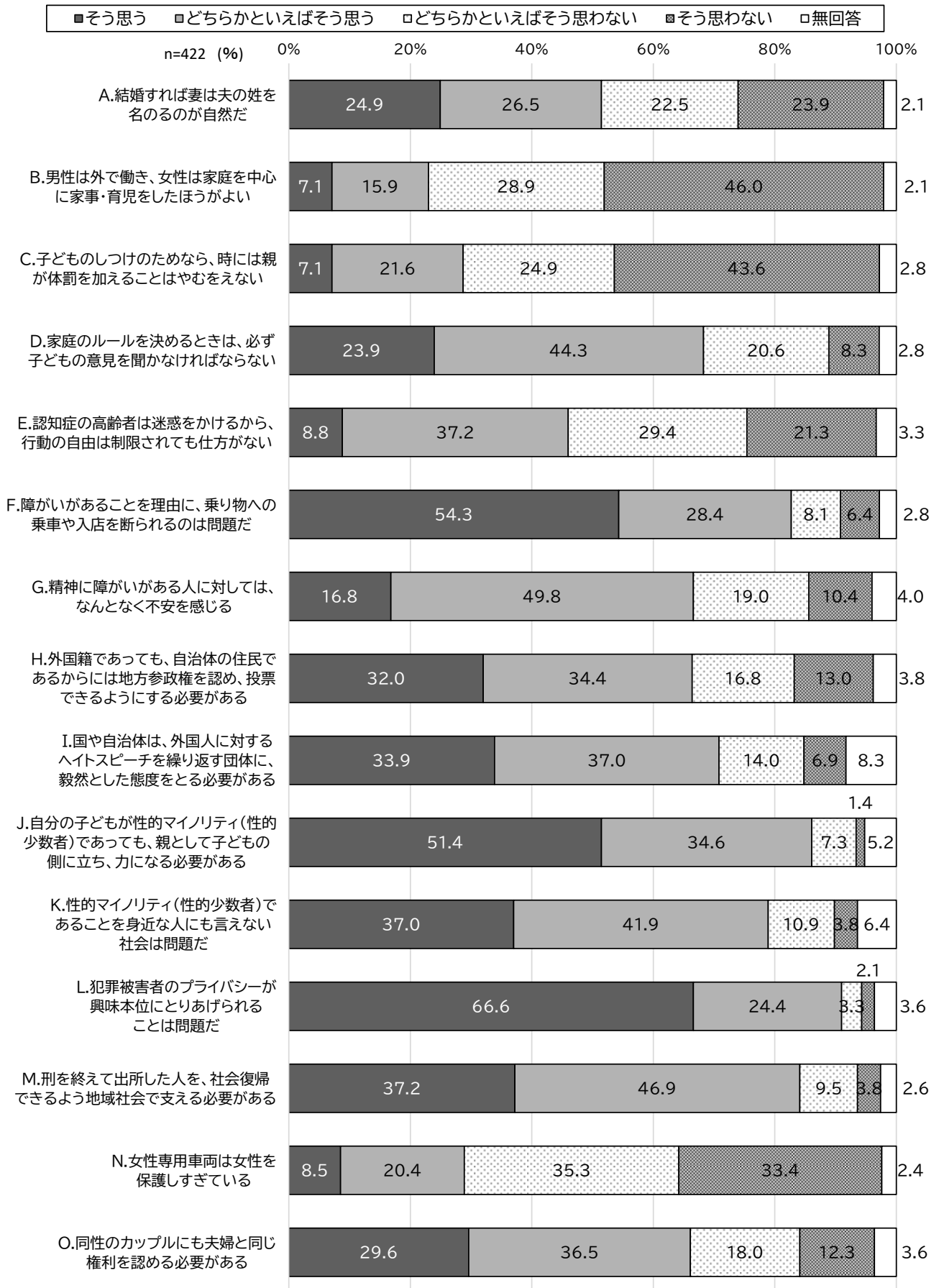
○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「50～59歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

●年代別



問8 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Oで1つずつ）

- 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を足し合わせて5割以上になっているものは、「A.結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ」「D.家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない」「F.障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ」「G.精神に障害がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる」「H.外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある」「I.国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある」「J.自分の子どもが性的マイノリティ(性的少数者)であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある」「K.性的マイノリティ(性的少数者)であることを身近な人にも言えない社会は問題だ」「L.犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ」「M.刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会でささえる必要がある」「O.同性カップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある」です。
- 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を足し合わせて5割以上になっているものは「B.男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をした方がよい」「C.子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむをえない」「E.認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない」「N.女性専用車両は女性を保護しすぎている」です。

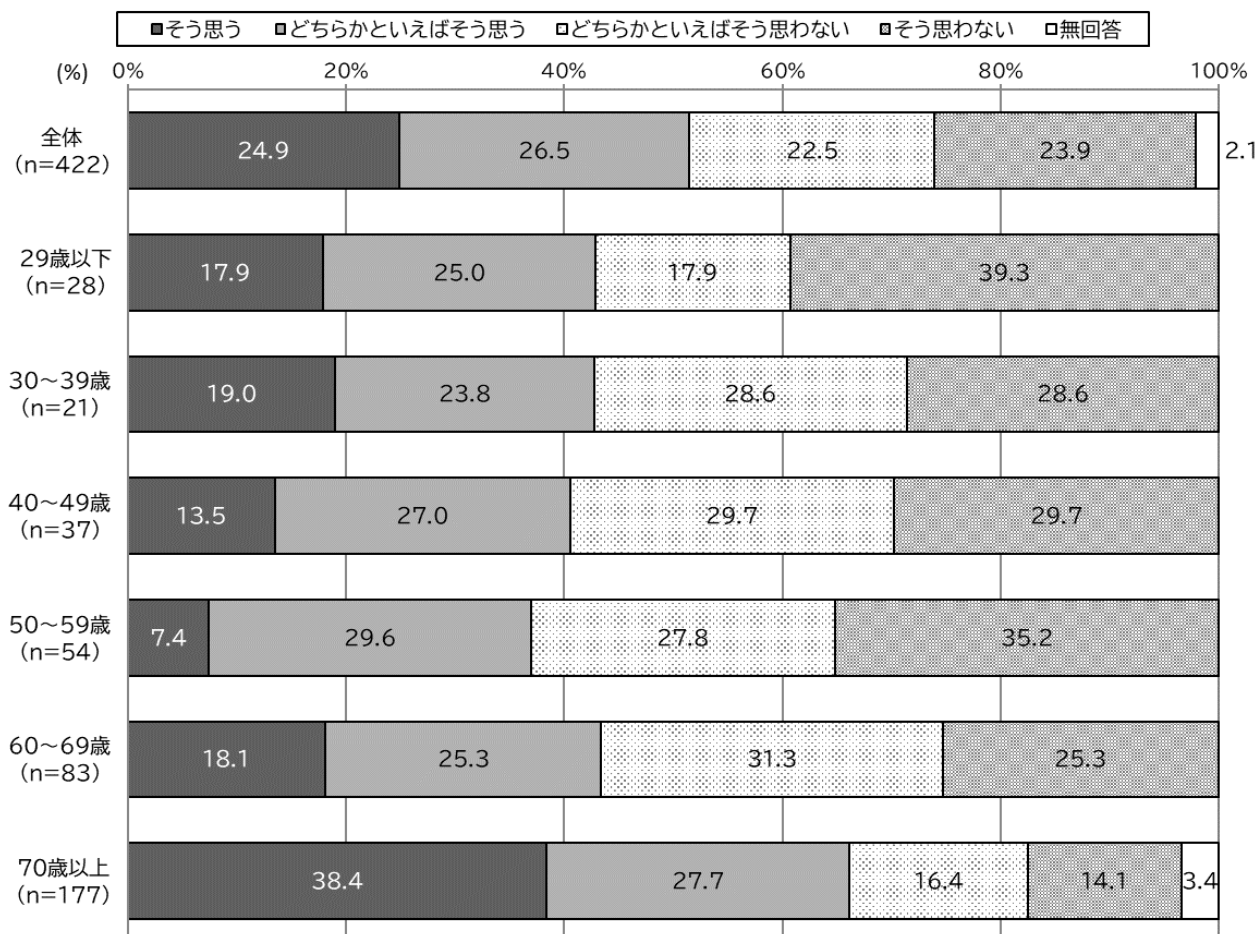


(参考) クロス集計結果

問 8 A. 結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が高くなっています。
○「70歳以上」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

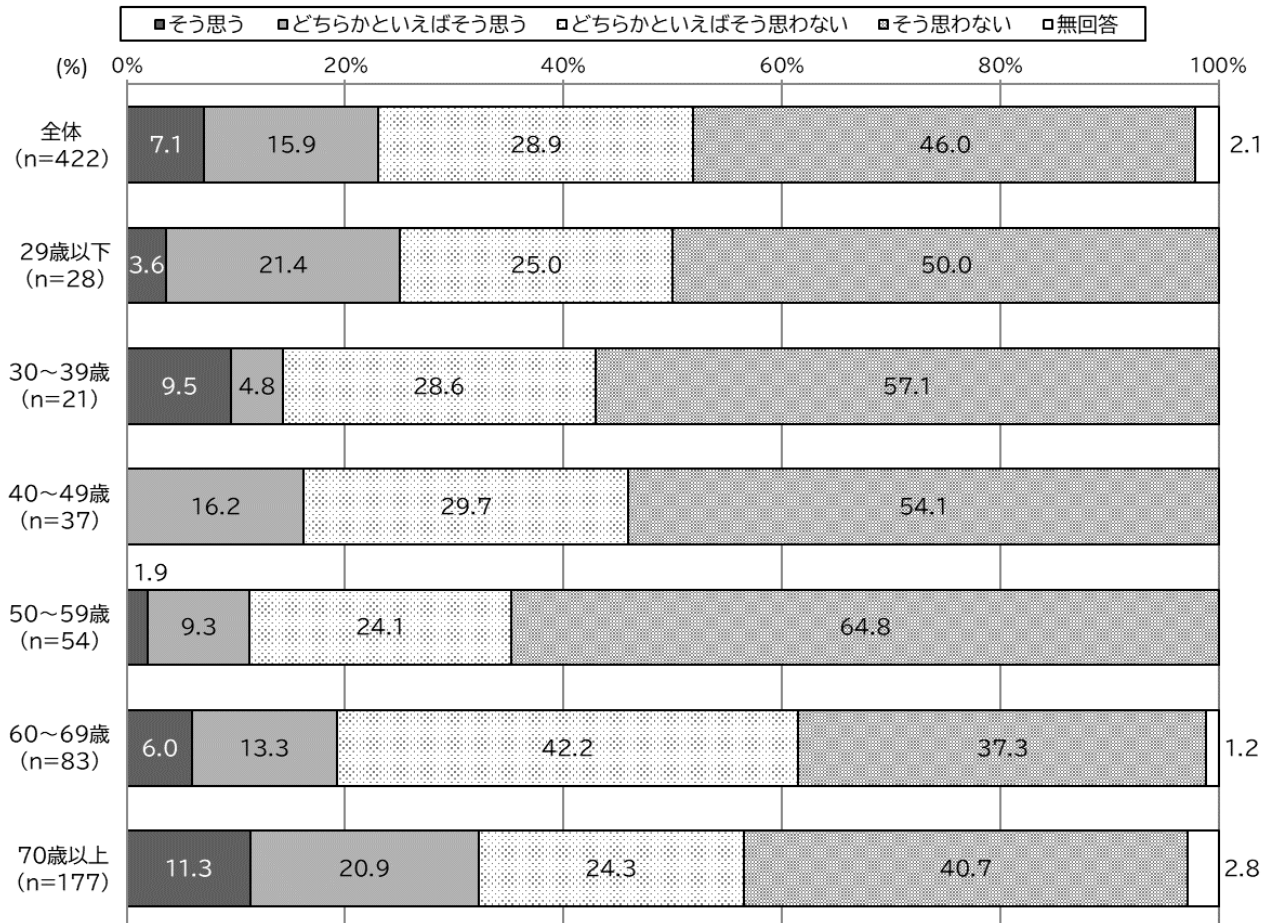
●年代別



問 8 B. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい

○年代別では、「30～39歳」と「50～59歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
○「70歳以上」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

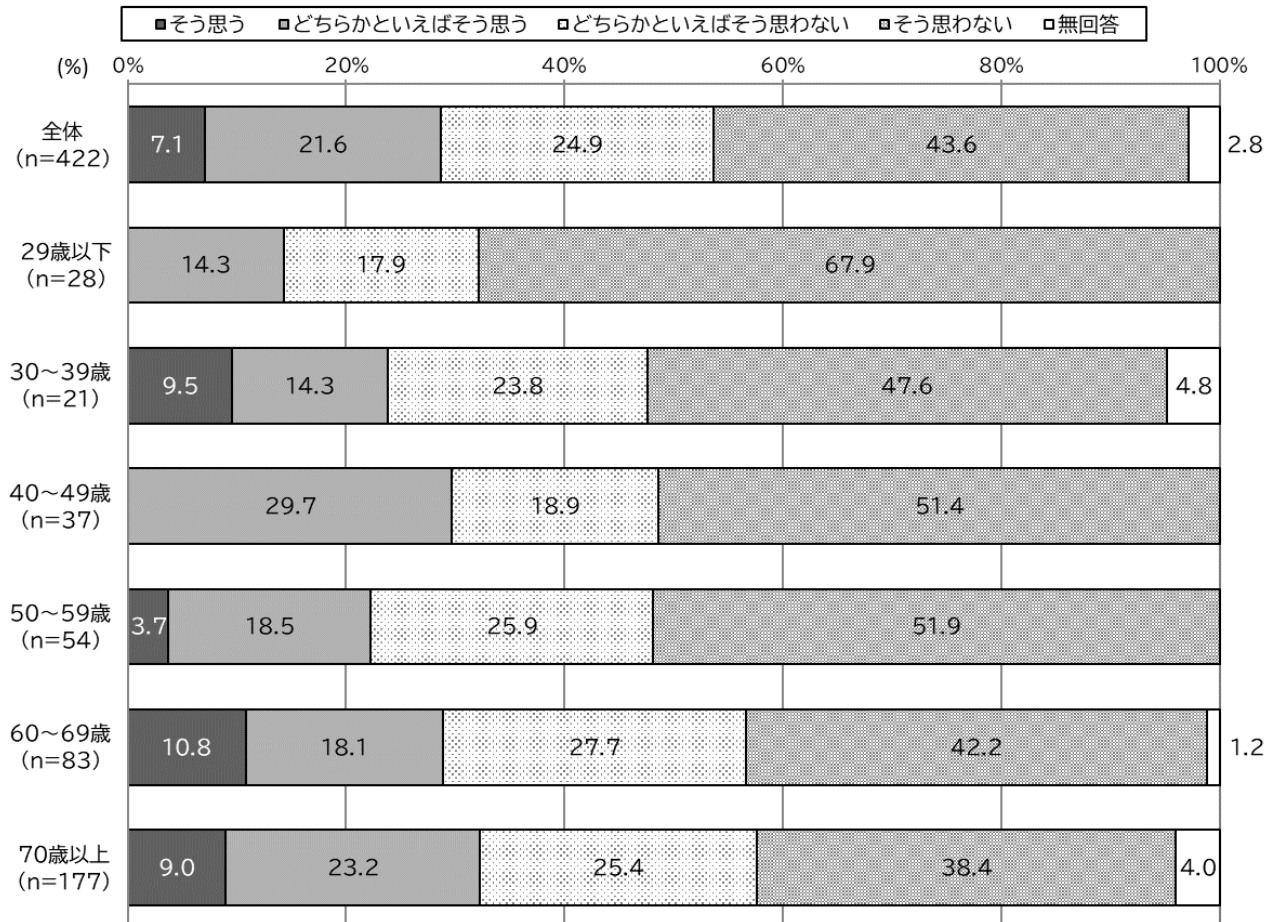
●年代別



問8 C. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむをえない

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

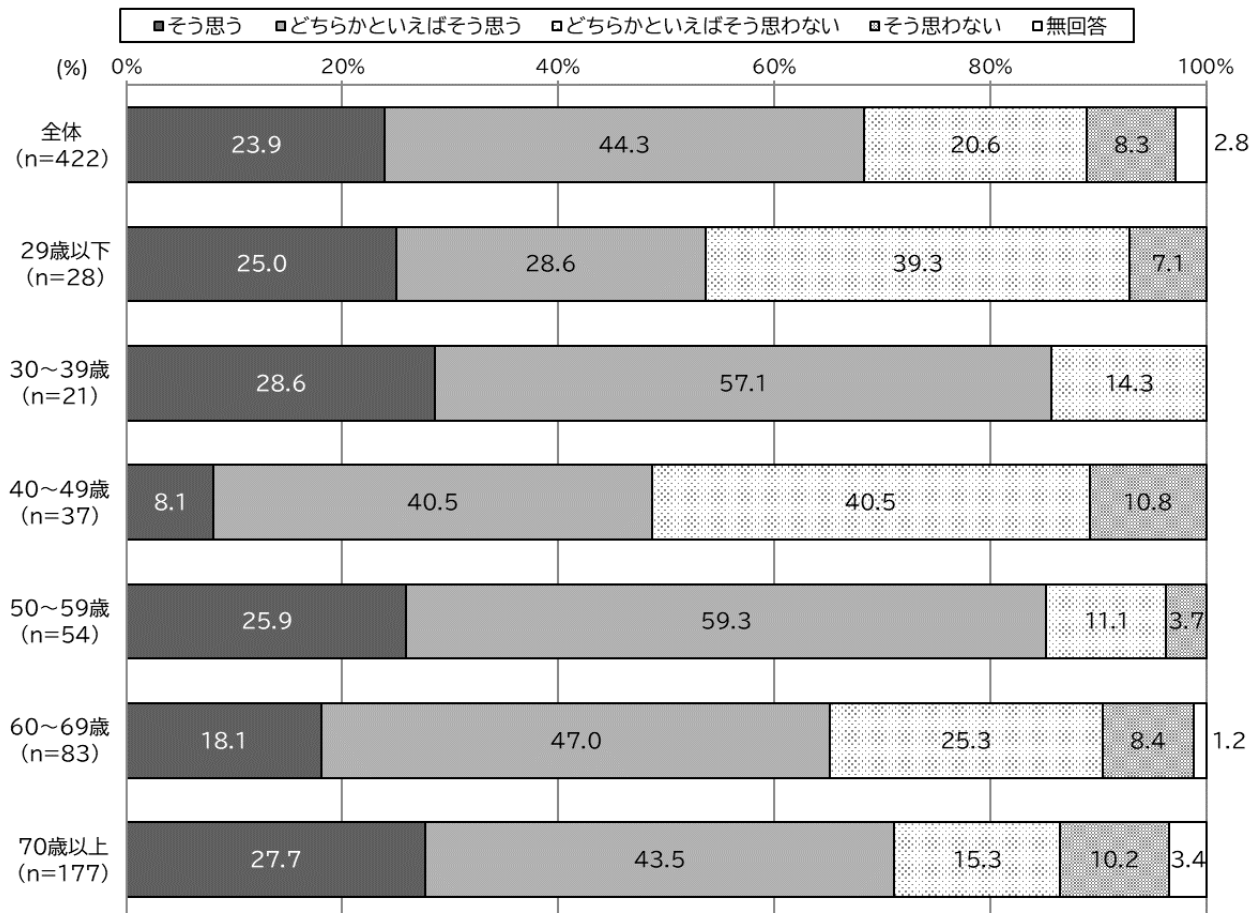
●年代別



問8 D. 家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない

○年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
 ○「30～39歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

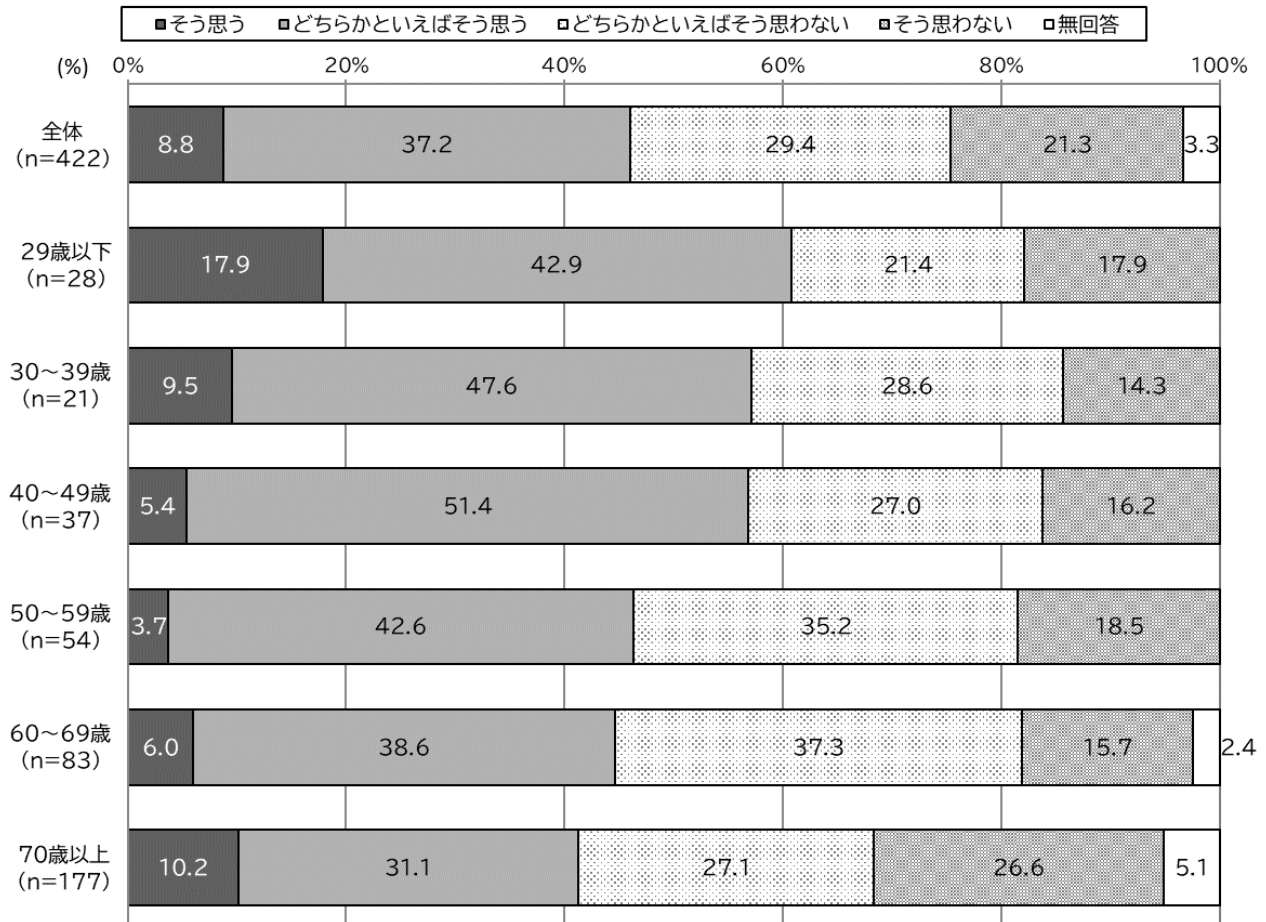
●年代別



問 8 E. 認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

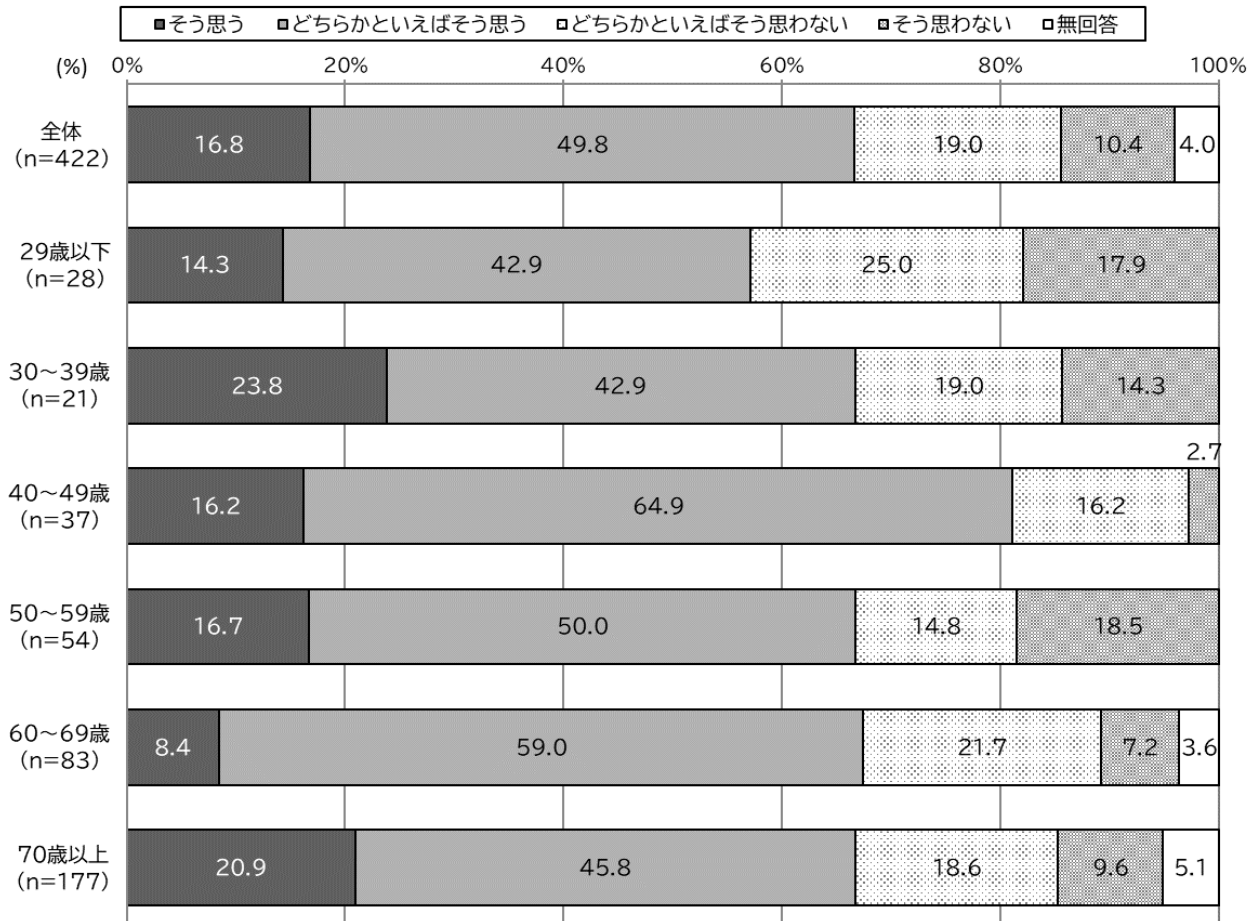
●年代別



問8 G. 精神に障がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

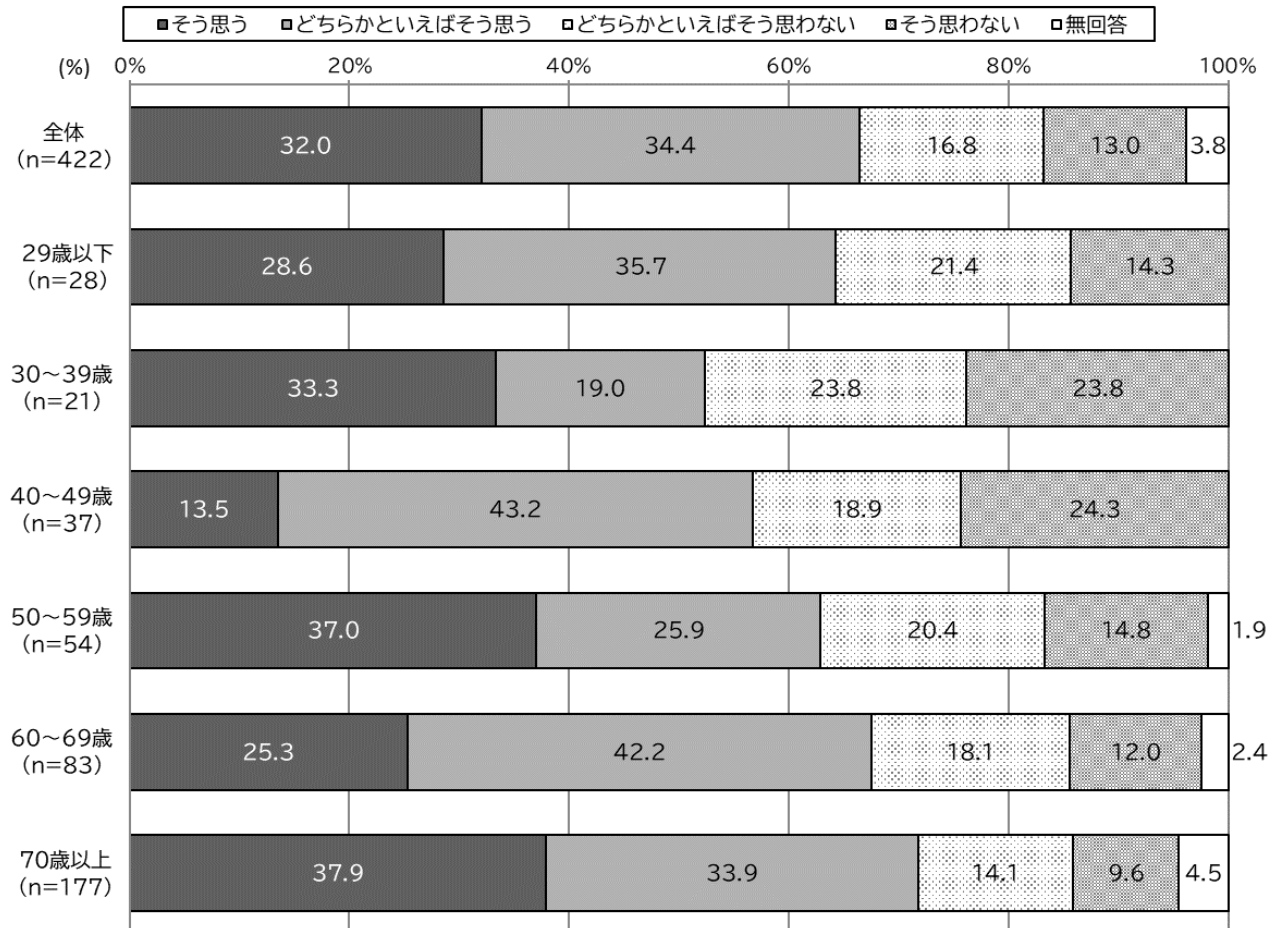
●年代別



問 8 H. 外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるように
 する必要がある

○年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と
 「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

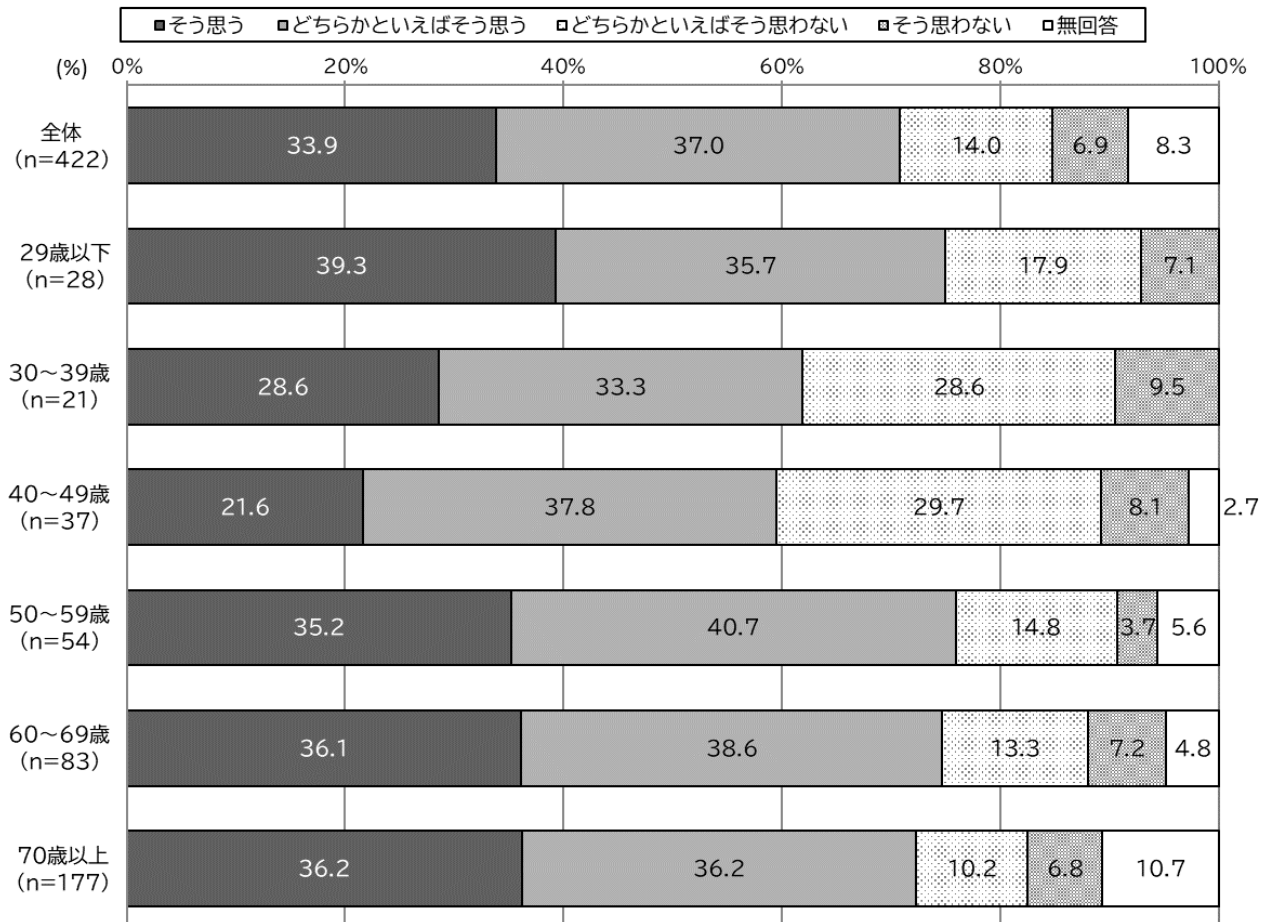
●年代別



問 8 I. 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある

○年代別では、「30～39歳」と「40～49歳」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

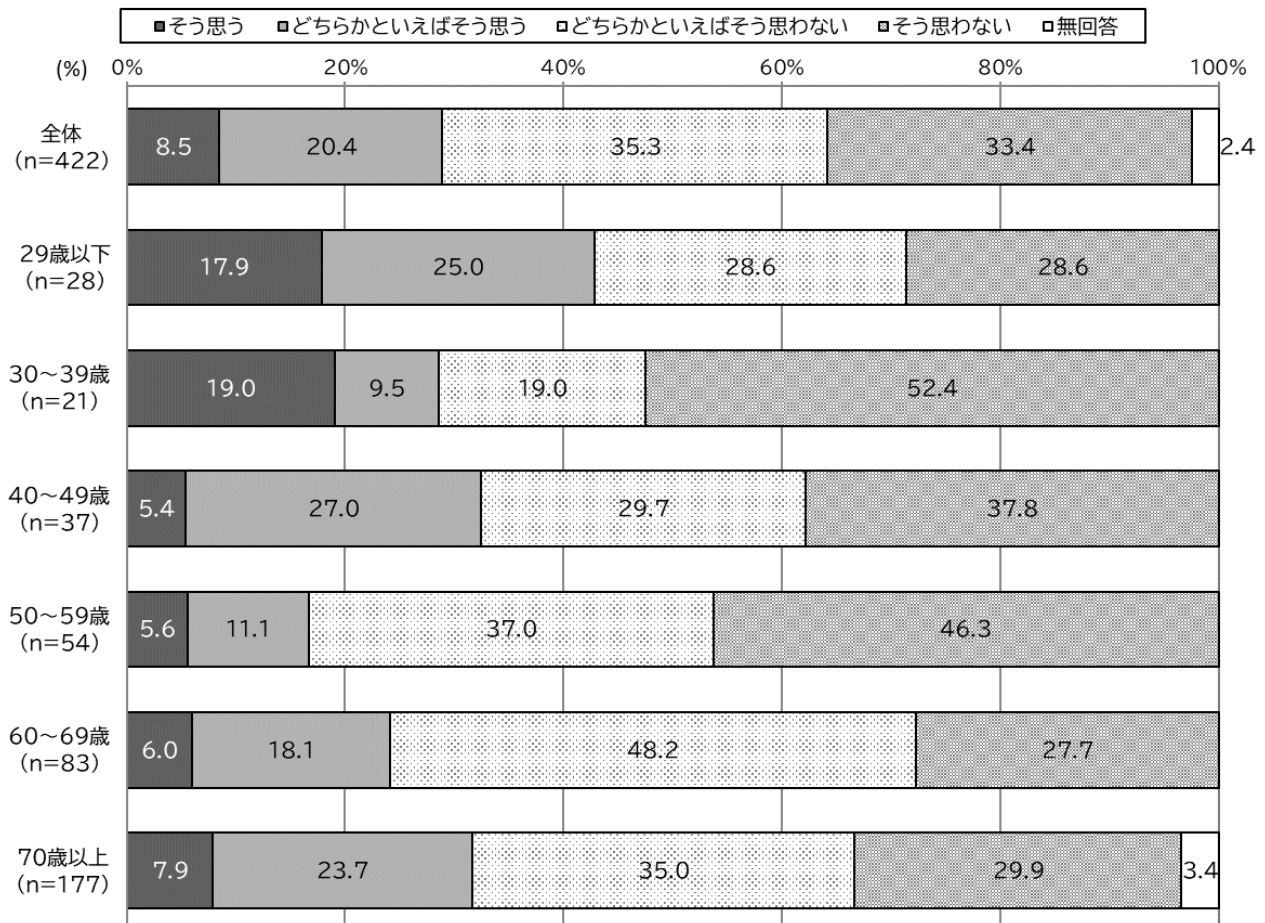
●年代別



問 8 N. 女性専用車両は女性を保護しすぎている

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

●年代別

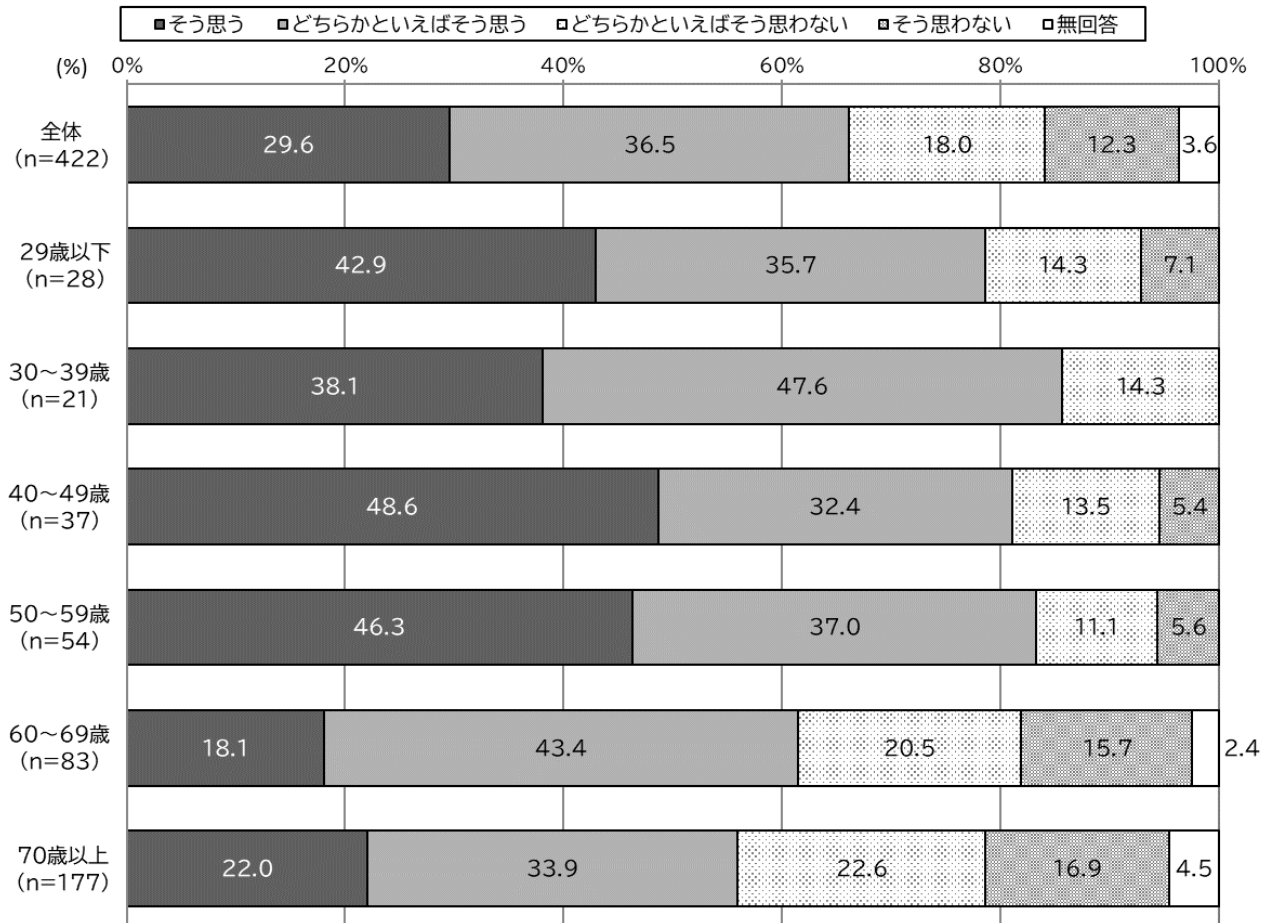


問 8 O. 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

○「70歳以上」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

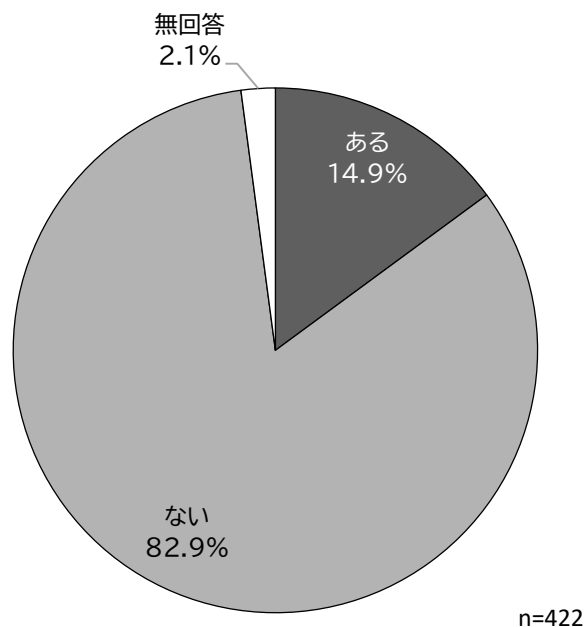
●年代別



問9 あなたはこの1年間で、障がい者や高齢者の自立支援や、子どもの見守り、防災活動や救援活動などのボランティア活動に参加した経験はありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「ない」の割合が82.9%、「ある」の割合が14.9%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
ある	63	14.9%
ない	350	82.9%
無回答	9	2.1%



(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」「地域での講演会や研修会などで、人権についての学習を活発に行う」「職場での人権研修や人権啓発の取組みを支援する」「人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる」「人権侵害を法律で厳しく取り締まる」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」「幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる」「人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる」と回答した割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「人権侵害を法律で厳しく取り締まる」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」「幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる」「職場での人権研修や人権啓発の取組みを支援する」「住民やNPOなどによる人権尊重に向けた取組みを支援する」「人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる」「人権侵害を法律で厳しく取り締まる」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

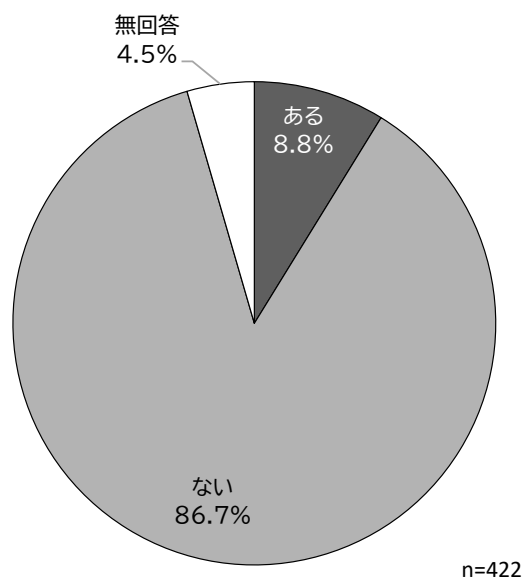
区 分	有効回答数 (件)	行政がさまざまな施策を積極的に進める	の保育所、幼稚園、学校で人権教育を充実させる	幼児期から人を大切にするなど、家庭教育を充実させる	地域での講演会や研修会などで、人権についての学習を活発に行う	職場での人権研修や人権啓発の取組みを支援する	住民やNPOなどによる人権尊重に向けた取組みを支援する	人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる	人権侵害を法律で厳しく取り締まる	その他	無回答
全体	422	51.7%	47.9%	64.7%	21.1%	26.5%	19.7%	36.0%	25.4%	4.0%	8.1%
29歳以下	28	57.1%	64.3%	53.6%	32.1%	42.9%	25.0%	50.0%	39.3%	3.6%	-
30～39歳	21	52.4%	66.7%	76.2%	14.3%	23.8%	19.0%	47.6%	19.0%	4.8%	4.8%
40～49歳	37	56.8%	43.2%	45.9%	10.8%	21.6%	18.9%	37.8%	35.1%	8.1%	-
50～59歳	54	53.7%	57.4%	75.9%	24.1%	44.4%	29.6%	55.6%	35.2%	3.7%	-
60～69歳	83	60.2%	50.6%	67.5%	21.7%	28.9%	19.3%	43.4%	27.7%	3.6%	6.0%
70歳以上	177	48.6%	42.4%	68.4%	22.6%	19.2%	18.1%	24.3%	20.3%	4.0%	10.2%

4 人権侵害の経験について

問 10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「ない」の割合が86.7%、「ある」の割合が8.8%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
ある	37	8.8%
ない	366	86.7%
無回答	19	4.5%

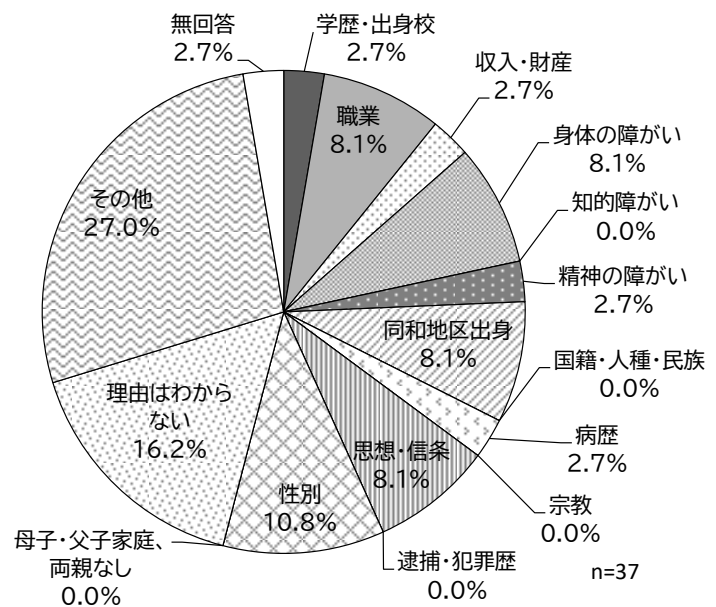


【問 10-1 から 10-3 までは、問 10 で「1. ある」を選択した方がご回答ください。】

問10-1 その人権侵害（最も印象に残っている経験 1 つ）は、どのようなことを理由にしたものでしたか。あてはまるものに○印をつけてください（○は 1 つ）

○「その他」の割合が 27.0%で最も高く、次いで「理由はわからない」の割合が 16.2%となっています。

調査数(n=37)	回答数	割合
学歴・出身校	1	2.7%
職業	3	8.1%
収入・財産	1	2.7%
身体の障がい	3	8.1%
知的障がい	-	-
精神の障がい	1	2.7%
同和地区出身	3	8.1%
国籍・人種・民族	-	-
病歴	1	2.7%
宗教	-	-
思想・信条	3	8.1%
逮捕・犯罪歴	-	-
性別	4	10.8%
母子・父子家庭、両親なし	-	-
理由はわからない	6	16.2%
その他	10	27.0%
無回答	1	2.7%



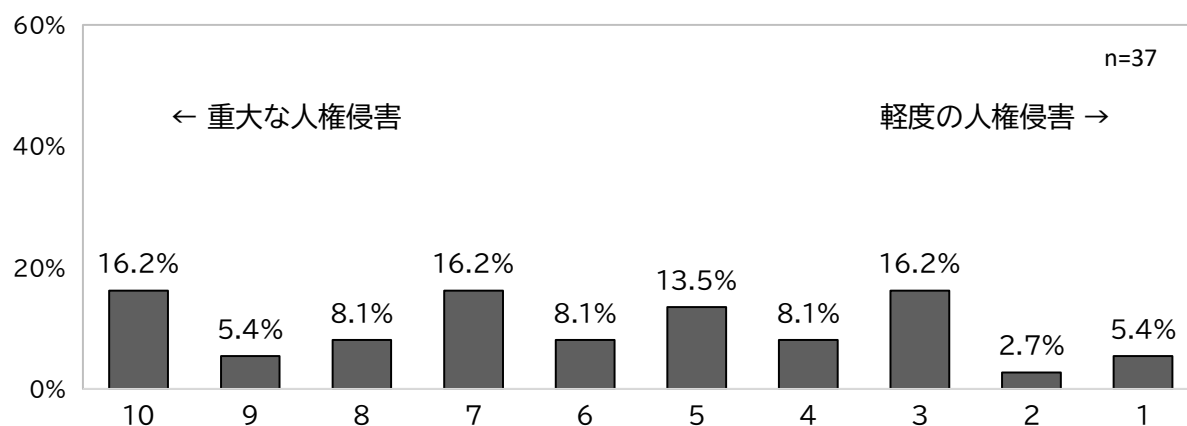
その他の回答内容

仕事の進め方や、仕事の出来・内容、介護認定を受けたくて市へ、しっかり話も聞かず追い返された(1件)、主催者が日時を間違えて案内状を渡したのに私が間違えたと言って数人の前で私をしかりつけた(1件)、相手からの言葉(1件)、職場の上司のパワハラ(1件)、村社会特有の上下関係を作り、偏ったグループを作って攻撃(1件)、主婦という立場(1件)、御所市に住んでいること(1件)、子供がいないこと(1件)、性別と年齢(1件)、人格否定(1件)、上記すべて(1件)

問10-2 問10-1で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる数字1つに○印をつけてください。

○重大な人権侵害では「10」と「7」の割合、軽度の人権侵害では「3」の割合が 16.2%となっています。

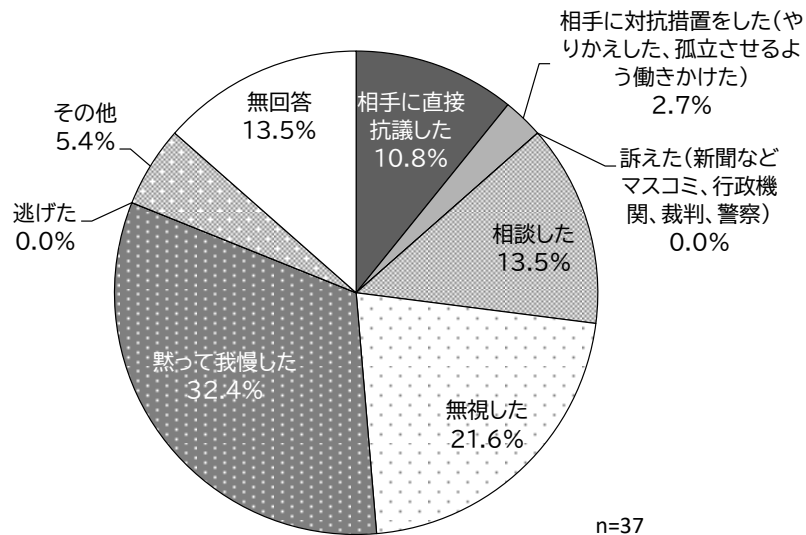
調査数(n=37)	回答数	割合
10	6	16.2%
9	2	5.4%
8	3	8.1%
7	6	16.2%
6	3	8.1%
5	5	13.5%
4	3	8.1%
3	6	16.2%
2	1	2.7%
1	2	5.4%



問 10-3 問 10-1 で回答した人権侵害を受けた時、あなたはどのように対応しましたか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「黙って我慢した」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「無視した」の割合が 21.6%、「相談した」の割合が 13.5%となっています。

調査数(n=37)	回答数	割合
相手に直接抗議した	4	10.8%
相手に対抗措置をした(やりかえした、孤立させるよう働きかけた)	1	2.7%
訴えた(新聞などマスコミ、行政機関、裁判、警察)	-	-
相談した	5	13.5%
無視した	8	21.6%
黙って我慢した	12	32.4%
逃げた	-	-
その他	2	5.4%
無回答	5	13.5%



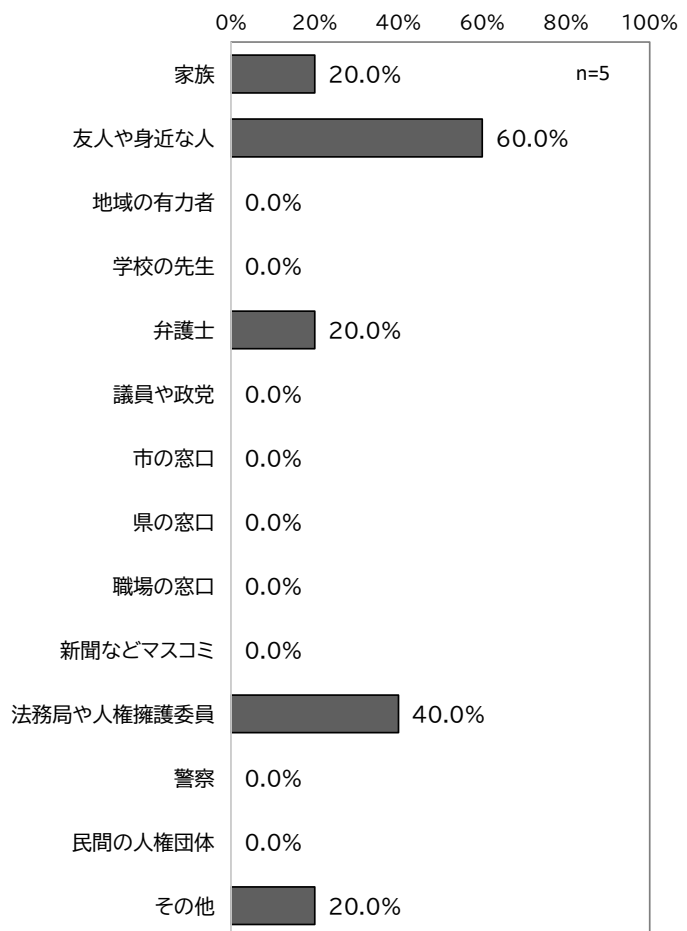
その他の回答内容

言っても無駄(1件)、何も言いようがない(1件)、その時々による(1件)

問 10-4 <問 10-3 で「4. 相談した」を選択した方にお聞きします>
 そのとき、誰に相談されましたか。あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「友人や身近な人」の割合が 60.0%で最も高く、次いで「法務局や人権擁護委員」の割合が 40.0%となっています。

調査数(n=5)	回答数	割合
家族	1	20.0%
友人や身近な人	3	60.0%
地域の有力者	-	-
学校の先生	-	-
弁護士	1	20.0%
議員や政党	-	-
市の窓口	-	-
県の窓口	-	-
職場の窓口	-	-
新聞などマスコミ	-	-
法務局や人権擁護委員	2	40.0%
警察	-	-
民間の人権団体	-	-
その他	1	20.0%



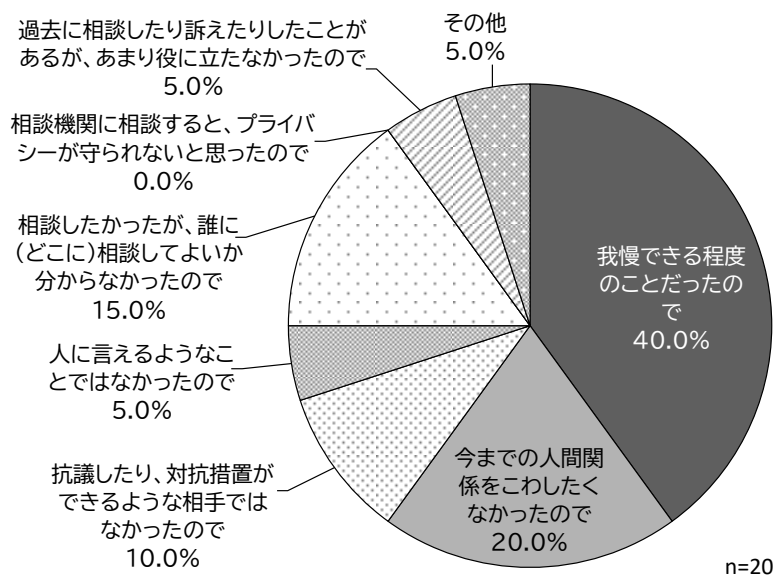
その他の回答内容

職場の先輩(1件)

問 10-5 <問 10-3 で「5. 無視した」「6. 黙って我慢した」「7. 逃げた」を選択した方にお聞きします>
 そのようにされた理由は何でしょうか。あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

○「我慢できる程度のことだったので」の割合が40.0%と最も高く、次いで「今までの人間関係をこわしたくなかったので」の割合が 20.0%、「相談したかったが、誰に(どこに)相談してよいか分からなかったので」の割合が 15.0%となっています。

調査数(n=20)	回答数	割合
我慢できる程度のことだったので	8	40.0%
今までの人間関係をこわしたくなかったので	4	20.0%
抗議したり、対抗措置ができるような相手ではなかった	2	10.0%
人に言えるようなことではなかった	1	5.0%
相談したかったが、誰に(どこに)相談してよいか分からなかった	3	15.0%
相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	-	-
過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった	1	5.0%
その他	1	5.0%



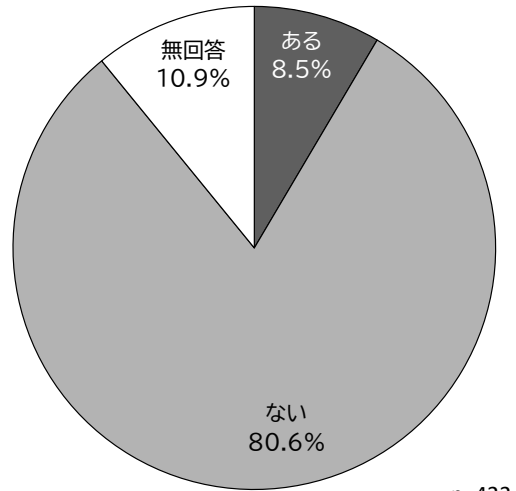
その他の回答内容

酒の席では許されるような部分があり、本心ではそう思っていたのかと後で謝られても心に残る(1件)、小学生の時、学校の先生だったので馬鹿な先生もいるものだった(1件)、抗議しても無駄だと思ったから(1件)

問 11 最近5年間で、あなたのご家族や周りの方（御所市在住）の人権が侵害されたと思ったことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「ない」の割合が80.6%、「ある」の割合が8.5%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
ある	36	8.5%
ない	340	80.6%
無回答	46	10.9%



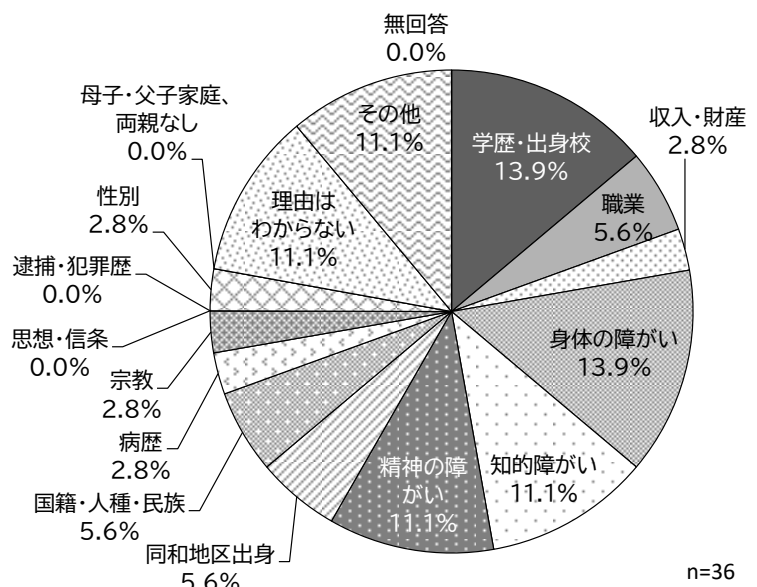
n=422

【問 11-1 から 11-2 までは、問 11 で「1. ある」を選択した方がご回答ください。】

問 11-1 その人権侵害（最も印象に残っている経験1つ）は、どのようなことを理由にしたものでしたか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「学歴・出身校」、「身体の障がい」の割合が13.9%で最も高く、次いで「知的障がい」、「精神の障がい」、「理由はわからない」、「その他」の割合が11.1%となっています。

調査数(n=36)	回答数	割合
学歴・出身校	5	13.9%
職業	2	5.6%
収入・財産	1	2.8%
身体の障がい	5	13.9%
知的障がい	4	11.1%
精神の障がい	4	11.1%
同和地区出身	2	5.6%
国籍・人種・民族	2	5.6%
病歴	1	2.8%
宗教	1	2.8%
思想・信条	-	-
逮捕・犯罪歴	-	-
性別	1	2.8%
母子・父子家庭、両親なし	-	-
理由はわからない	4	11.1%
その他	4	11.1%



n=36

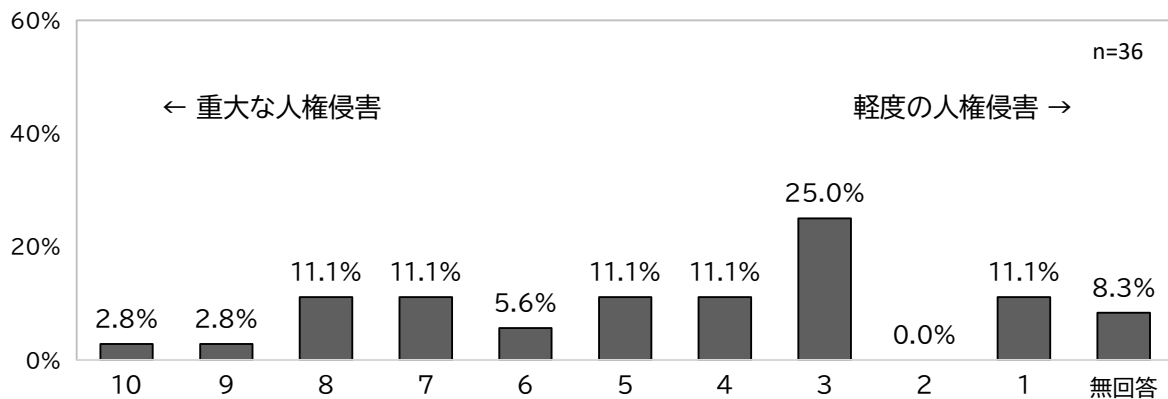
その他の回答内容

娘の夫から(1件)、自閉症スペクトラムを持っていて子どもの様子を見られたりする(1件)、御所市出身であること(1件)、上記すべて(1件)

問 11-2 問 11-1 で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる数字1つに○印をつけてください。

○軽度の人権侵害で「3」の割合が 25.0%となっています。

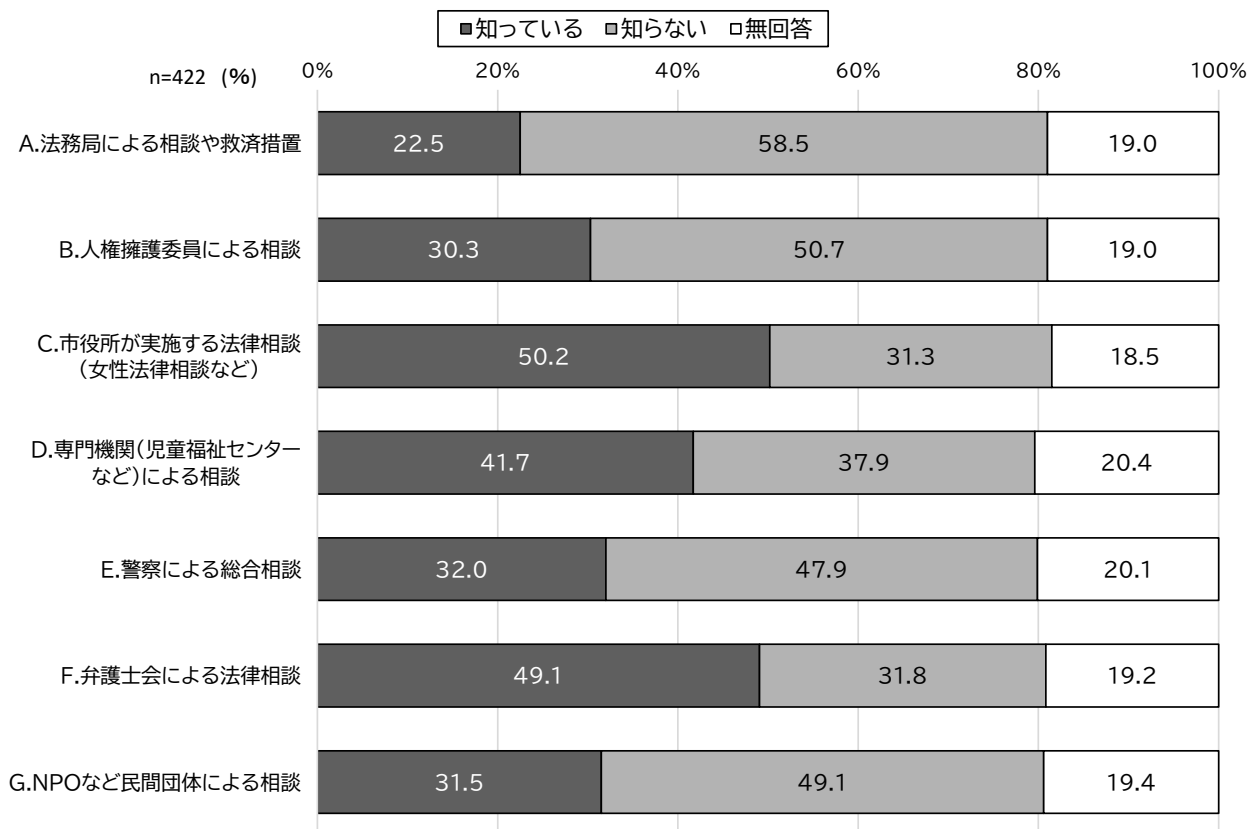
調査数(n=36)	回答数	割合
10	1	2.8%
9	1	2.8%
8	4	11.1%
7	4	11.1%
6	2	5.6%
5	4	11.1%
4	4	11.1%
3	9	25.0%
2	-	-
1	4	11.1%
無回答	3	8.3%



5 人権侵害に対する相談や救済について

問 12 人権を守るための制度などについて、あなたは知っていますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Gで1つずつ）

○「知っている」では、「C.市役所が実施する法律相談（女性法律相談）」と「F.弁護士会による法律相談」が約5割となっています。
○「知らない」では、「A.法務局による相談や救済措置」が約6割、「B.人権擁護委員による相談」「E.警察による総合相談」「G. NPOなど民間団体による相談」が約5割となっています。

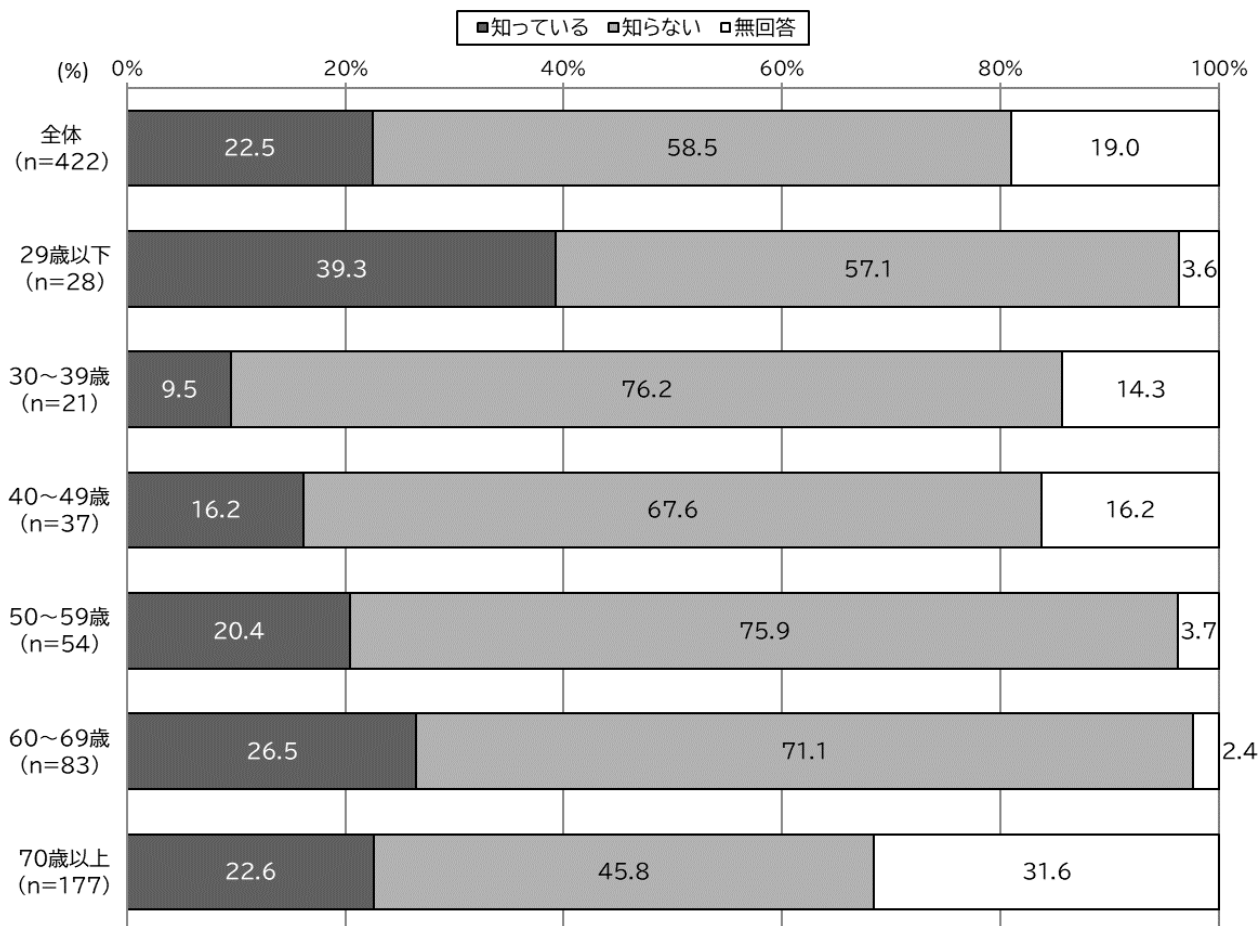


(参考) クロス集計結果

問 12 A. 法務局による相談や救済措置

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。
 ○「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

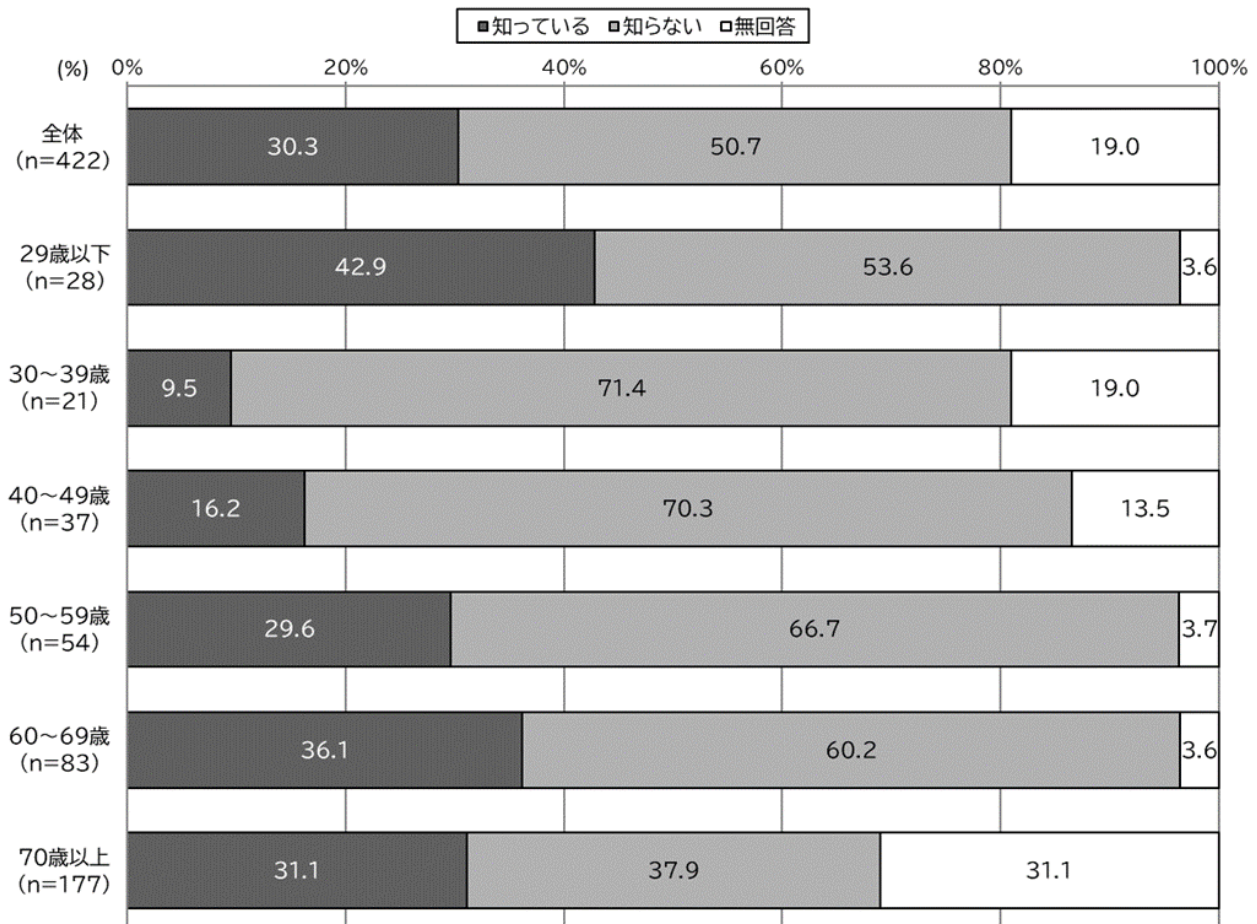
●年代別



問12 B. 人権擁護委員による相談

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。
 ○「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

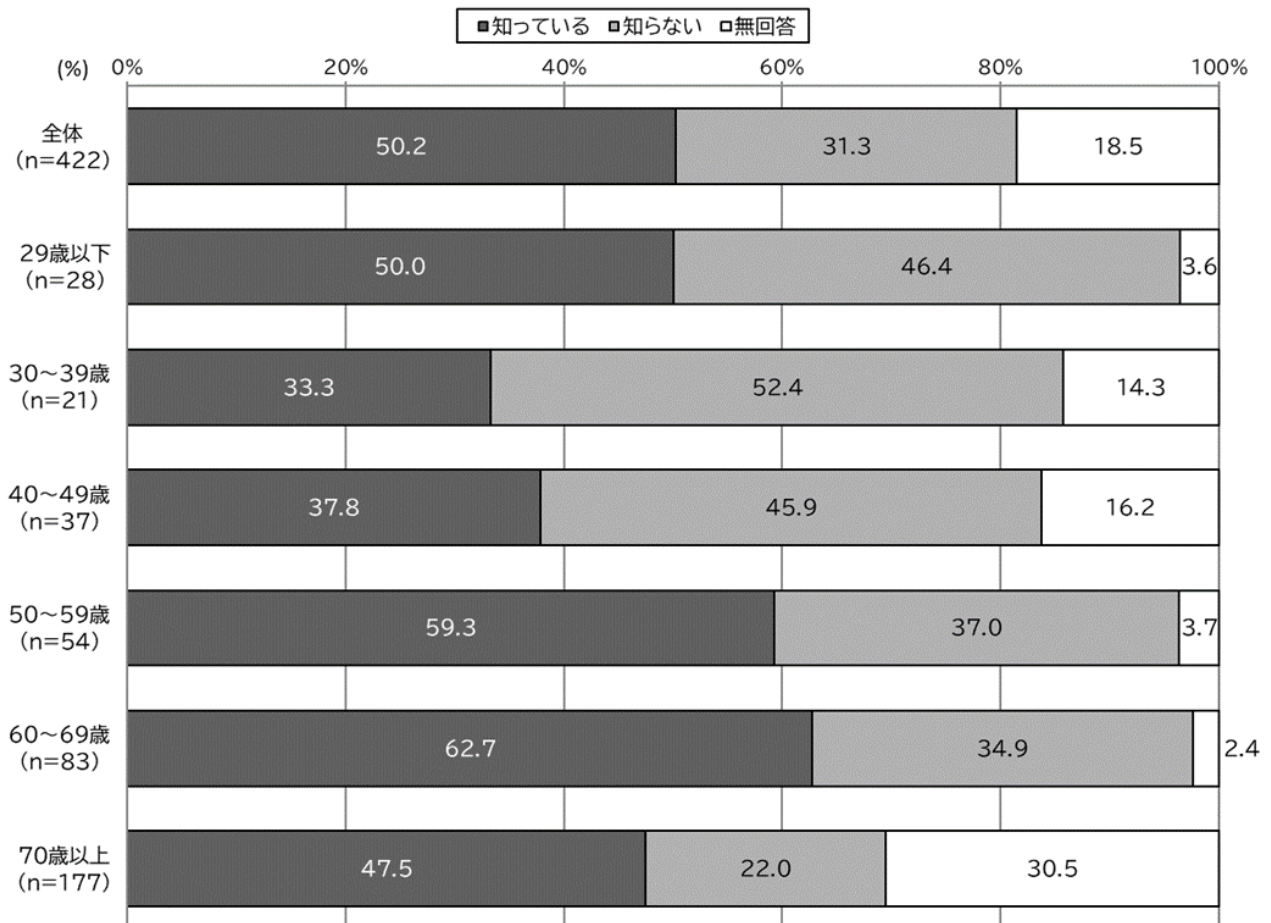
●年代別



問12 C. 市役所が実施する法律相談（女性法律相談など）

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。

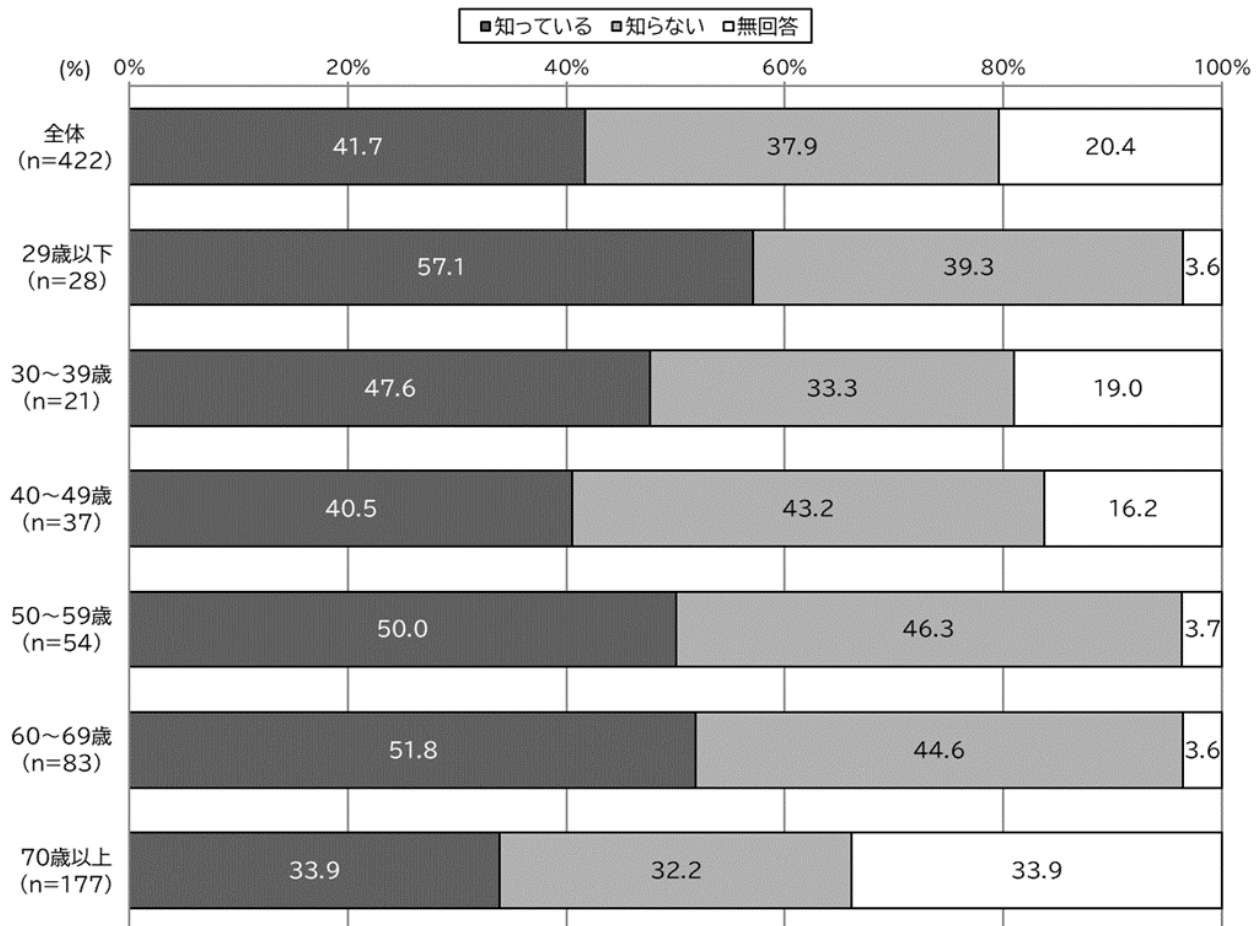
●年代別



問 12 D. 専門機関（児童福祉センターなど）による相談

○年代別では、「29歳以下」と「60～69歳」で全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。

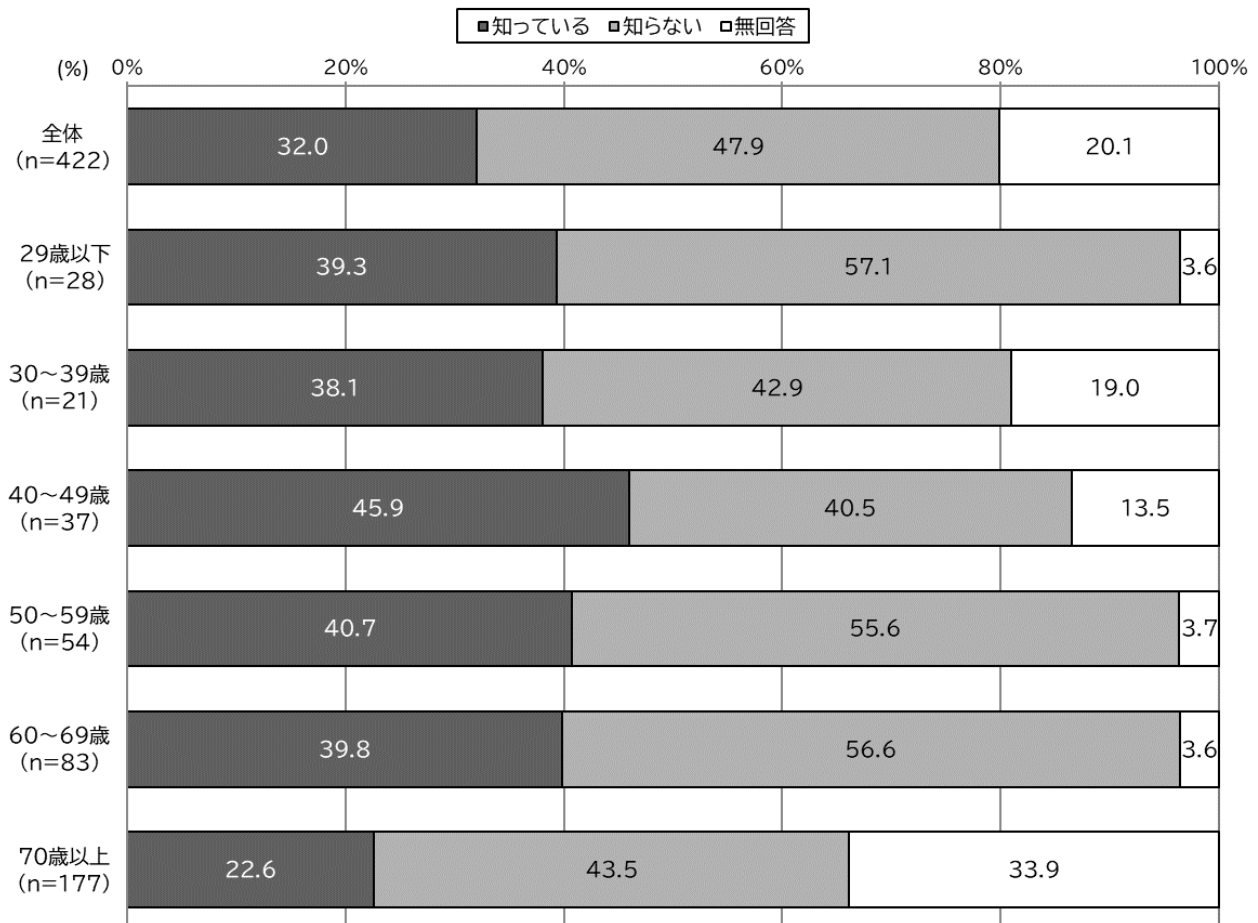
●年代別



問 12 E. 警察による総合相談

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。
○「40～49歳」では、全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。

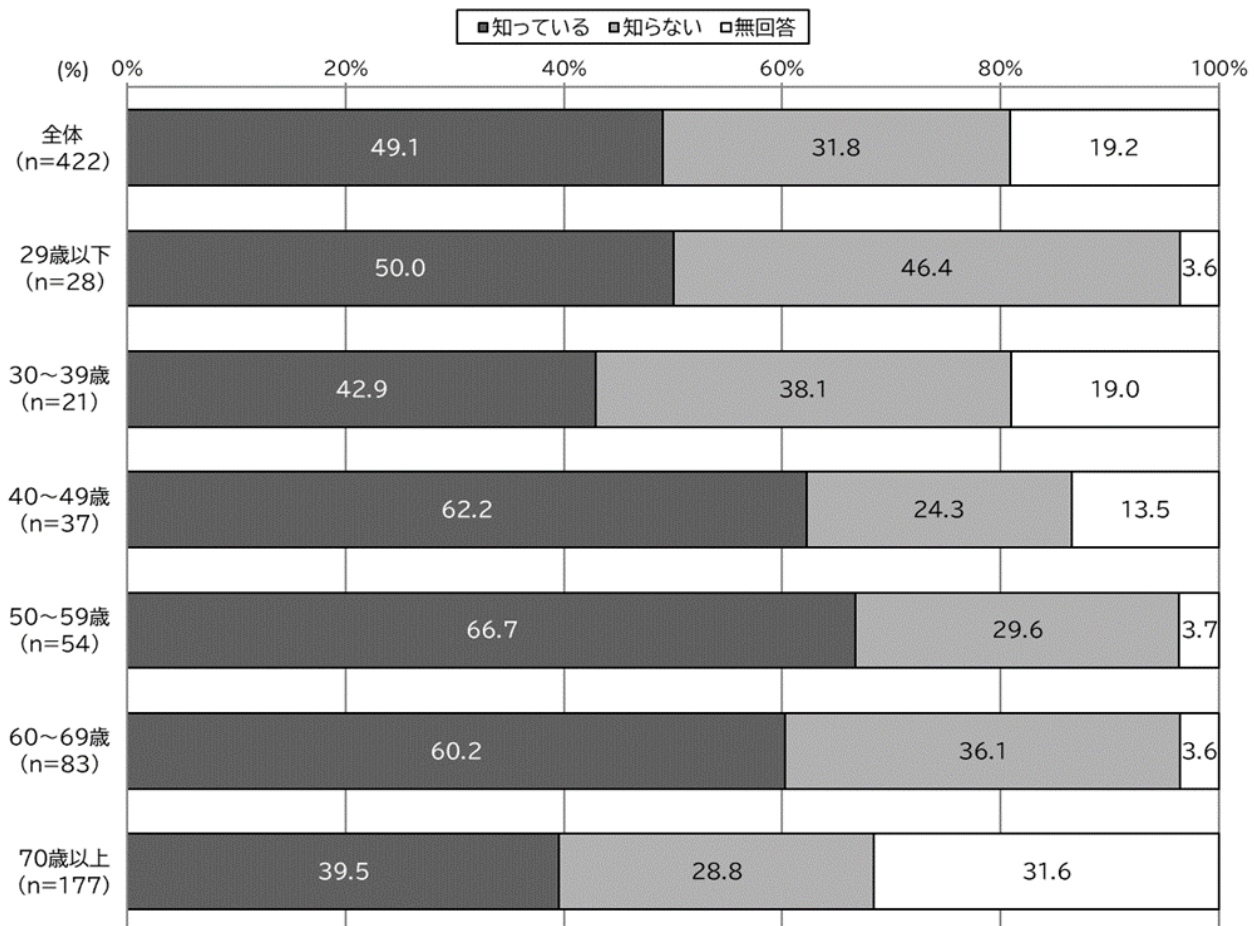
●年代別



問 12 F. 弁護士会による法律相談

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。
○「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

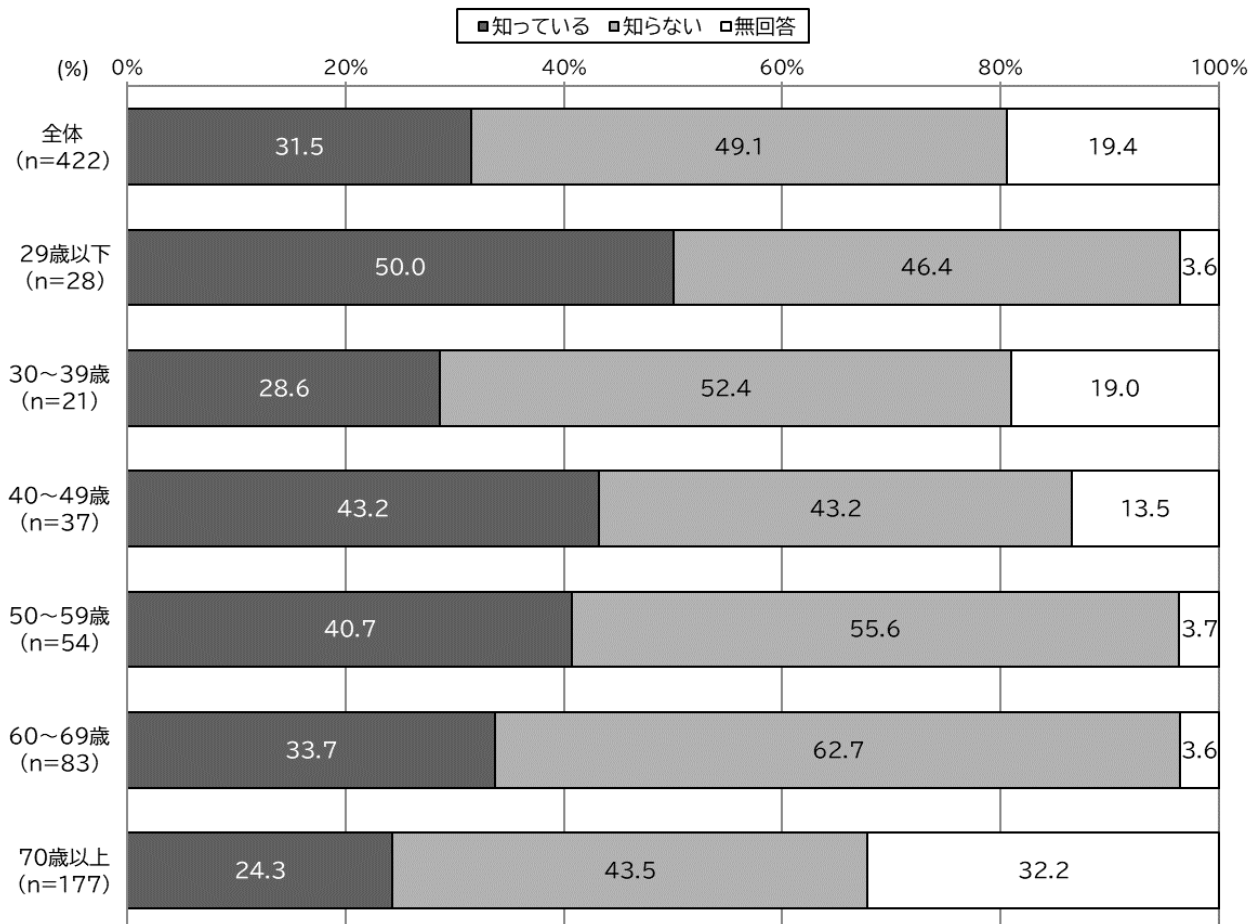


問 12 G. NPOなど民間団体による相談

○年代別では、「29歳以下」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「知っている」と回答した割合が高くなっています。

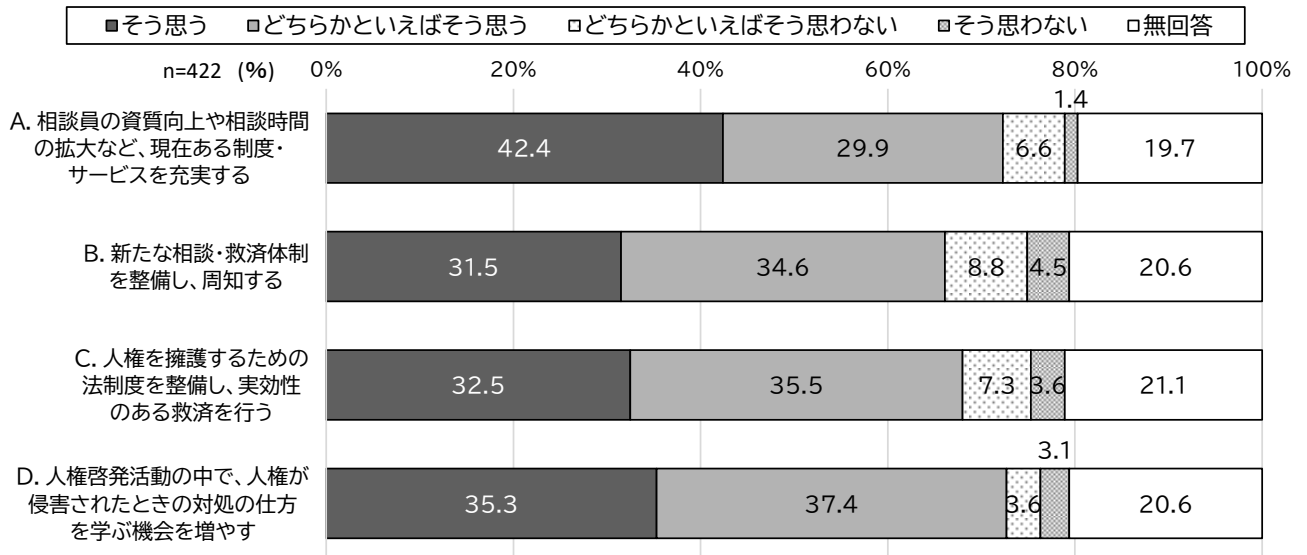
○「60～69歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別



問 13 人権侵害に対する相談や救済に関する次の事項について、あなたは必要だと思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Dで1つずつ）

○全ての項目で約7割の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しています。

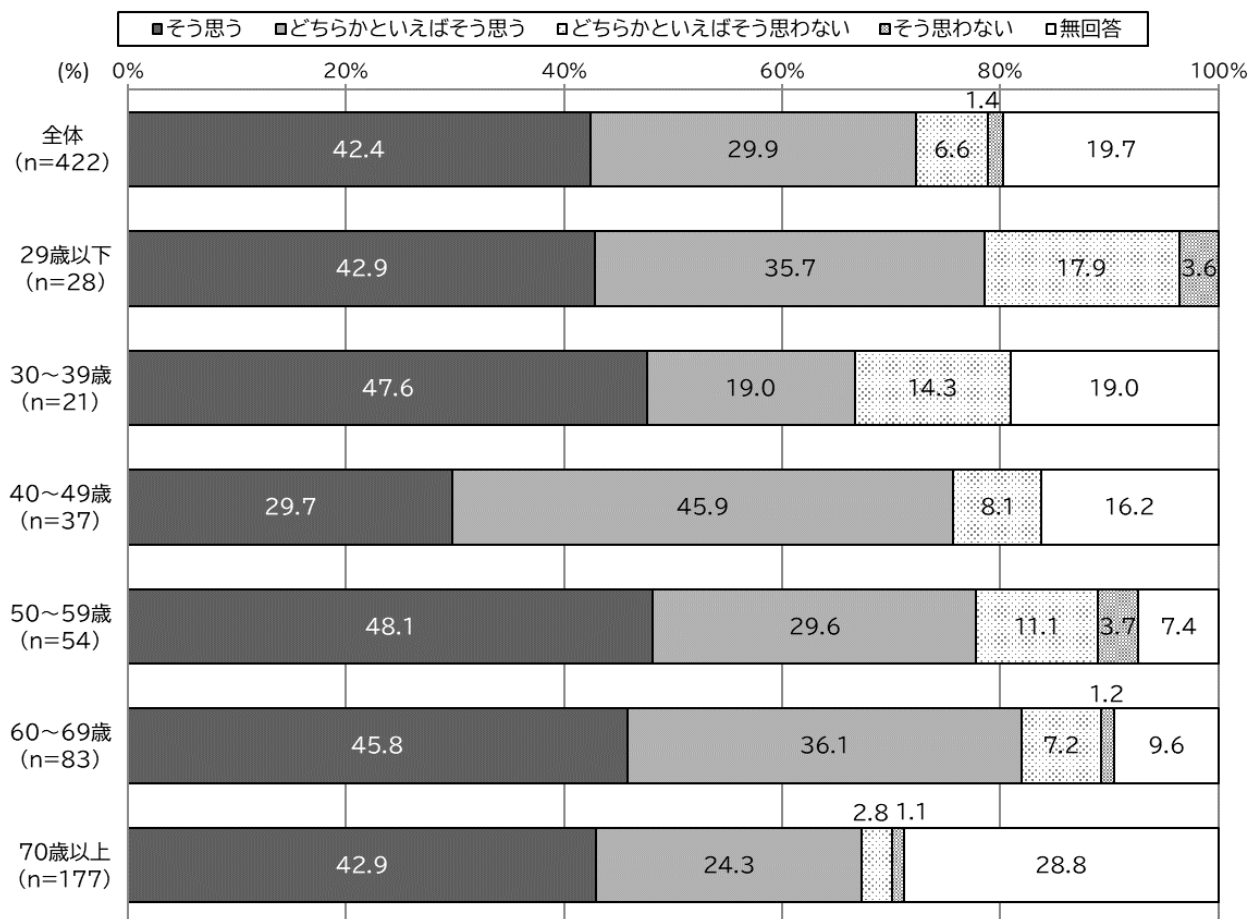


(参考) クロス集計結果

問 13 A. 相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度・サービスを充実する

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。
○「60～69歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

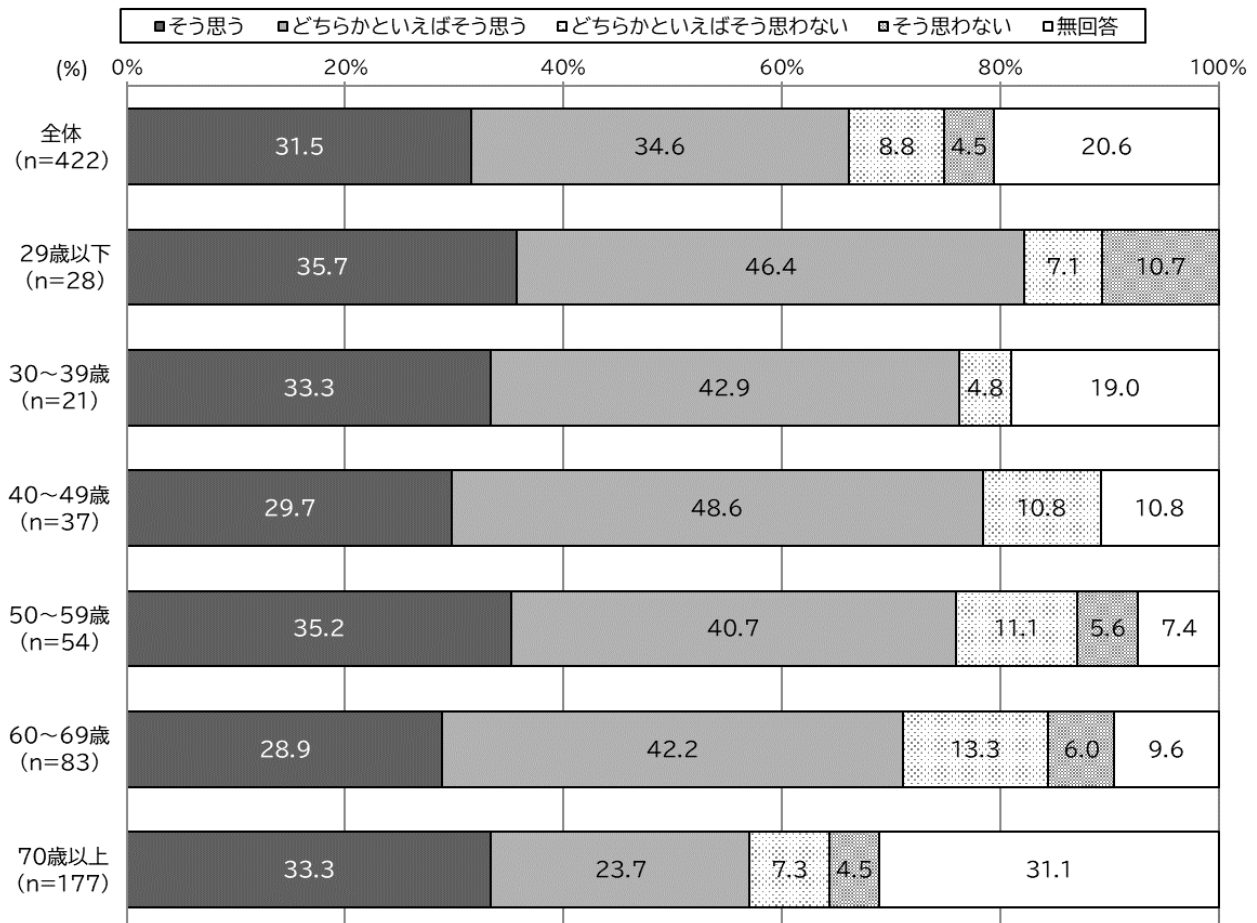
●年代別



問 13 B. 新たな相談・救済体制を整備し、周知する

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

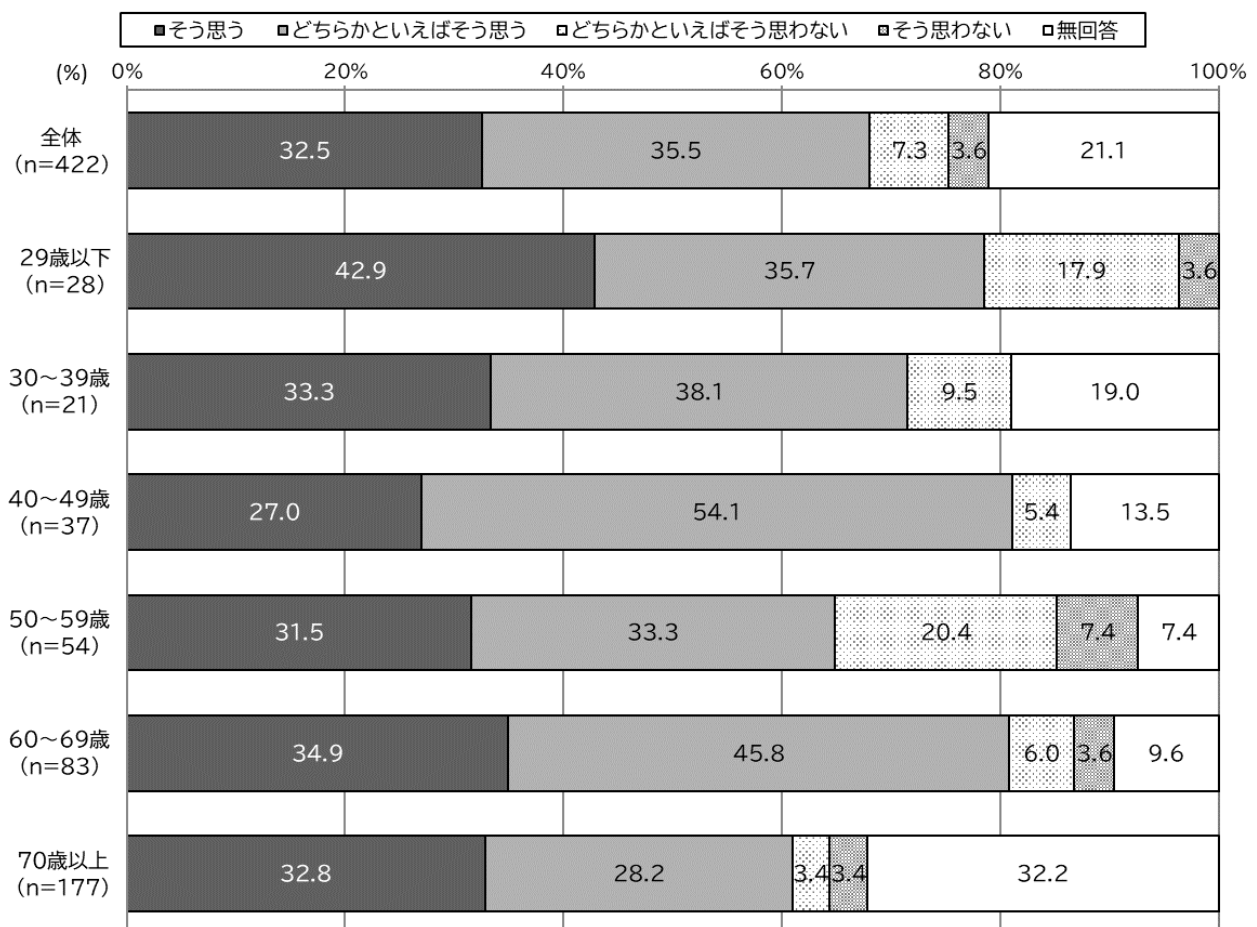
●年代別



問 13 C. 人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合のどちらにおいても高くなっています。
- 「40～49歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が高くなっています。

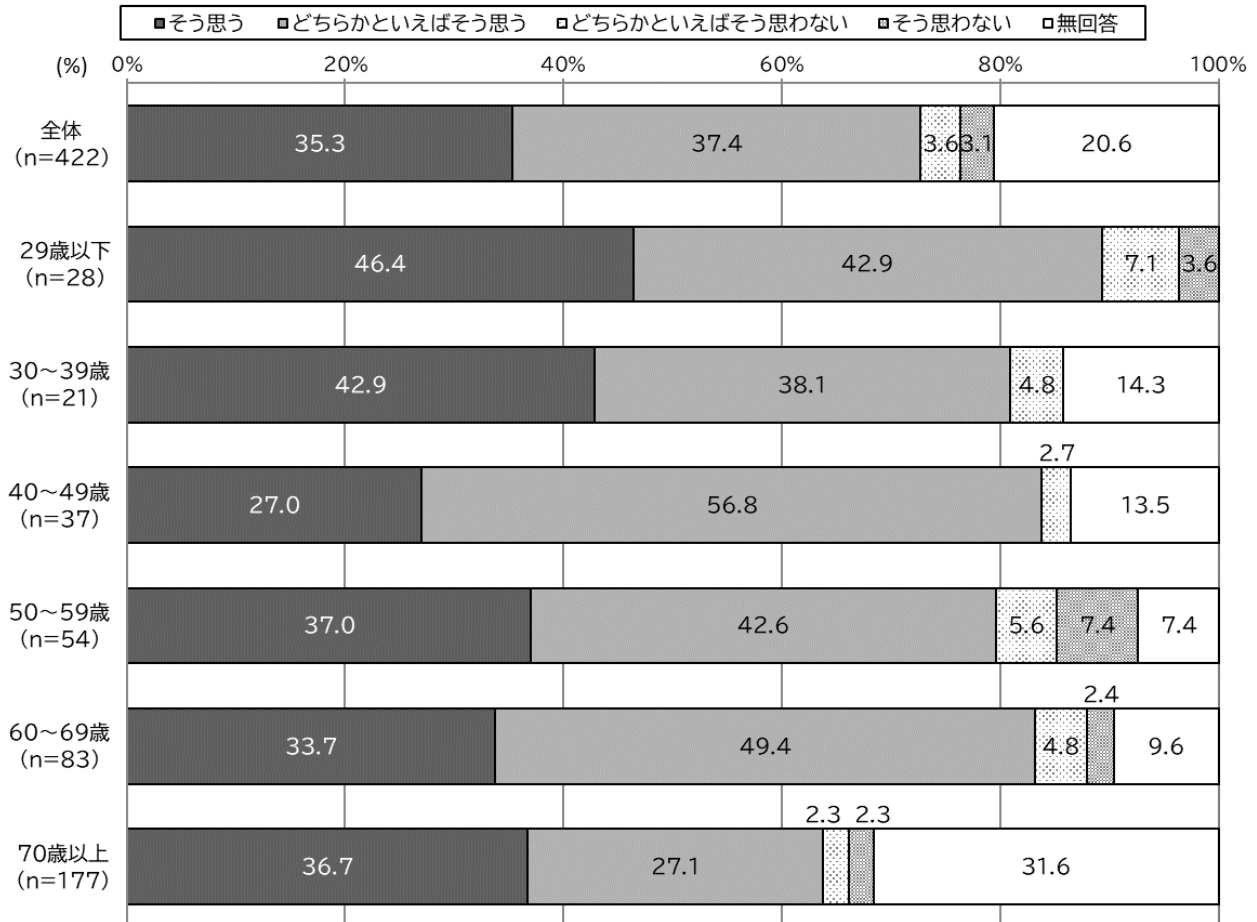
●年代別



問 13 D. 人権啓発活動の中で、人権が侵害されたときの対処の仕方を学ぶ機会を増やす

○年代別では、「29歳以下」「40～49歳」「60～69歳」で全体と比較して「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が高くなっています。

●年代別

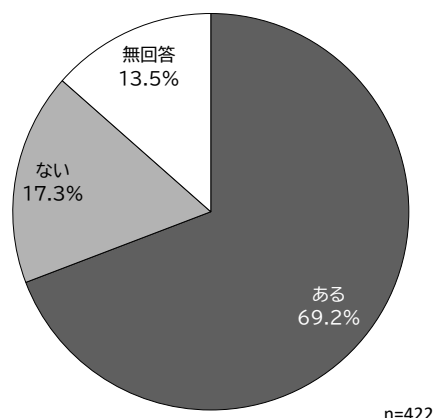


6 分野別の人権課題について

問 14 あなたはLGBTQ（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング）あるいは性的マイノリティ（性的少数者）の言葉を聞いたことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「ある」の割合が69.2%、「ない」の割合が17.3%となっています。

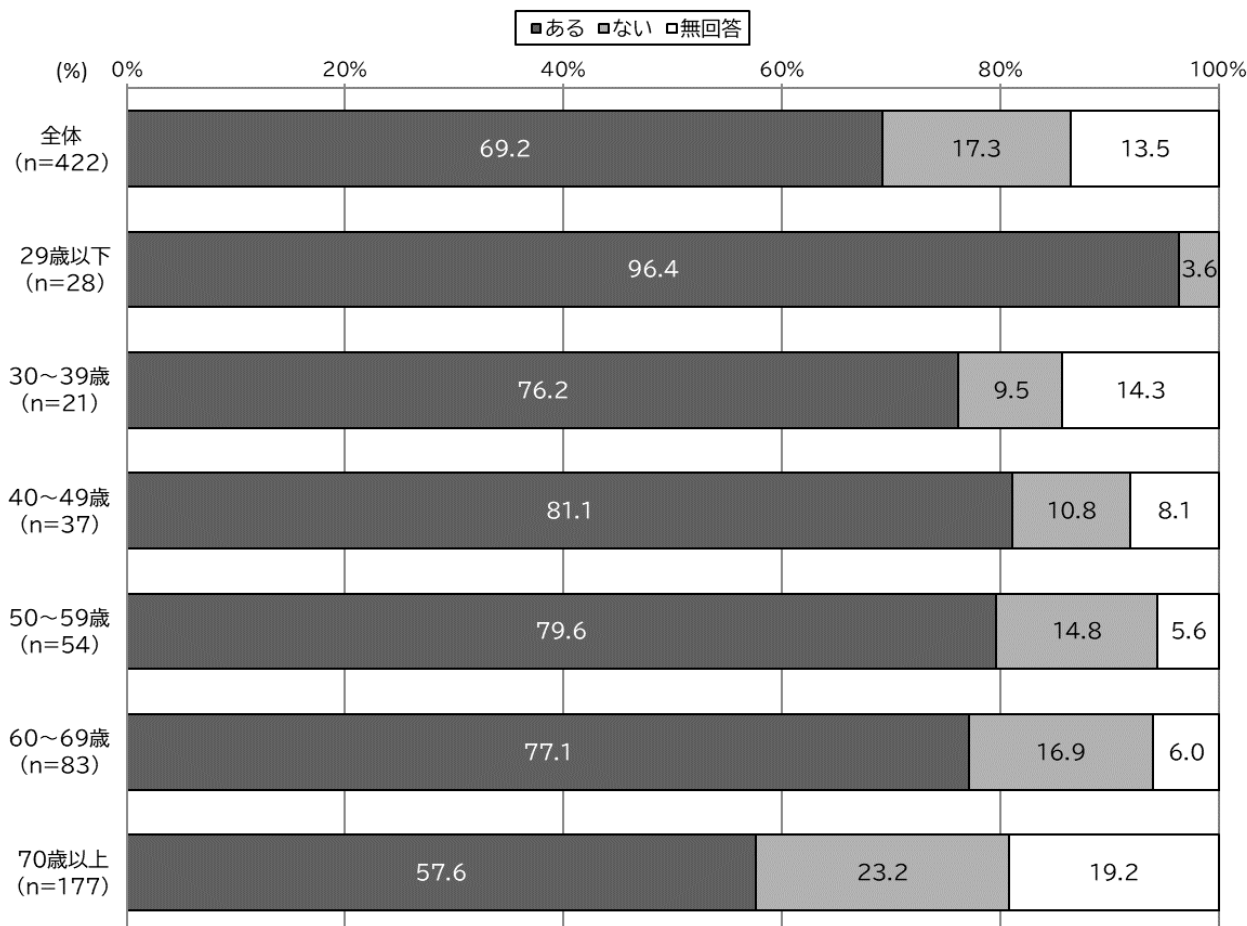
調査数(n=422)	回答数	割合
ある	292	69.2%
ない	73	17.3%
無回答	57	13.5%



(参考) クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「ある」と回答した割合が高くなっています。

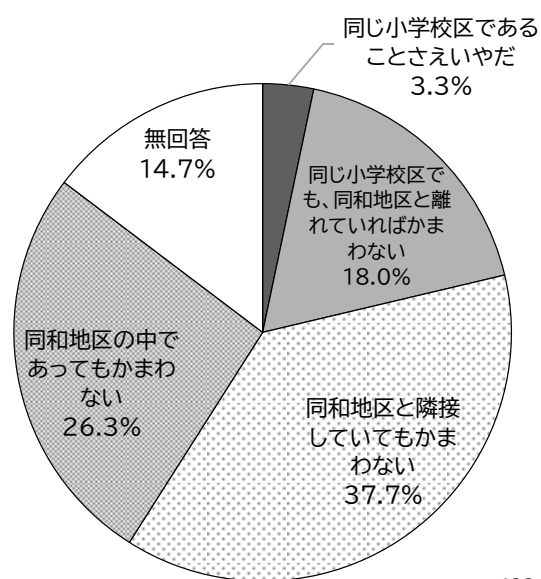
●年代別



問 15 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後（のち）に、そのあたりに同和地区があるとわかったとき、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「同和地区と隣接していてもかまわない」の割合が37.7%、「同和地区の中であっててもかまわない」の割合が26.3%となっています。

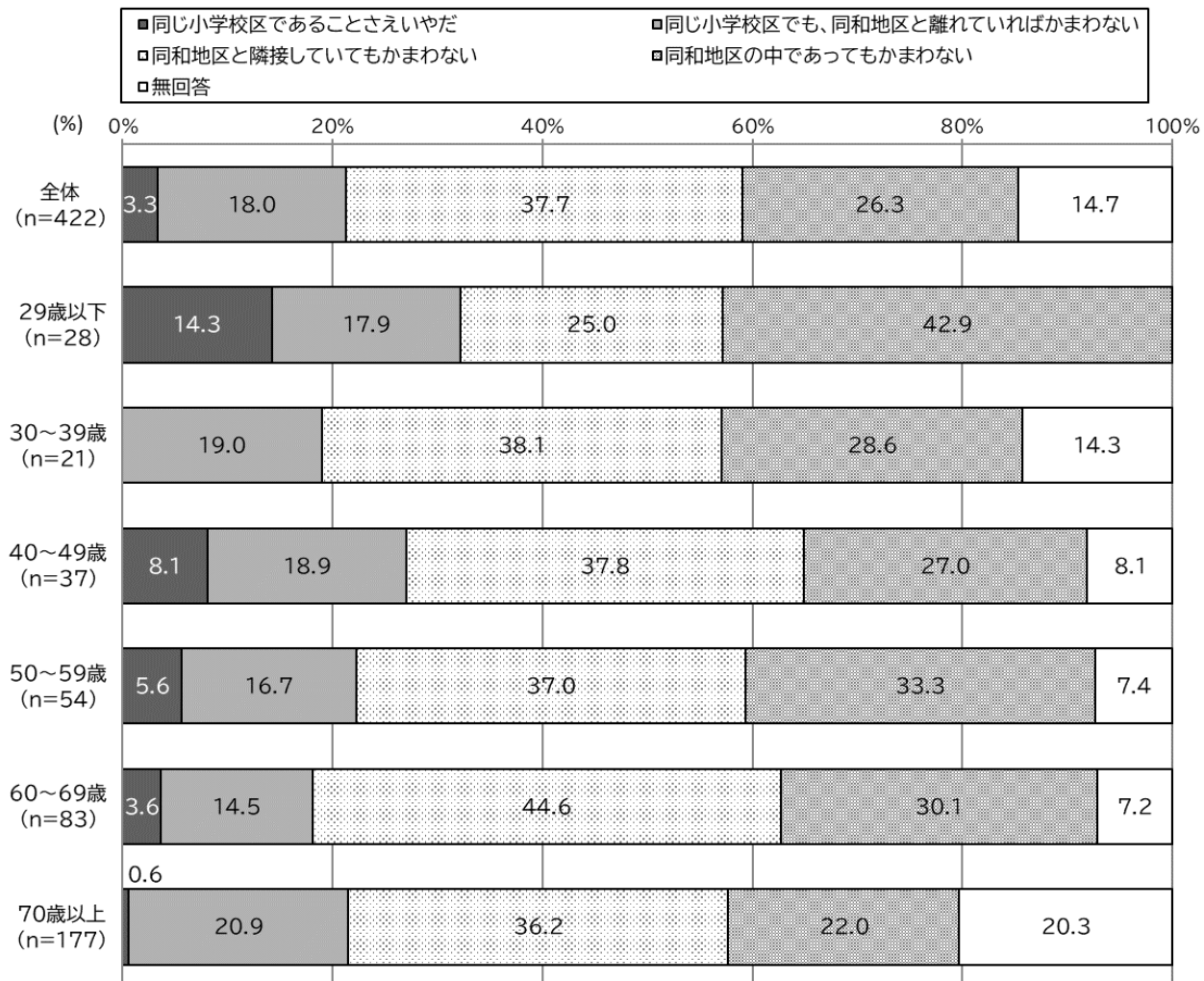
調査数(n=422)	回答数	割合
同じ小学校区であることさえいやだ	14	3.3%
同じ小学校区でも、同和地区と離れていればかまわない	76	18.0%
同和地区と隣接していてもかまわない	159	37.7%
同和地区の中であっててもかまわない	111	26.3%
無回答	62	14.7%



(参考) クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「同じ小学校区であることさえいやだ」と「同和地区の中であってもかまわない」と回答した割合が高くなっています。

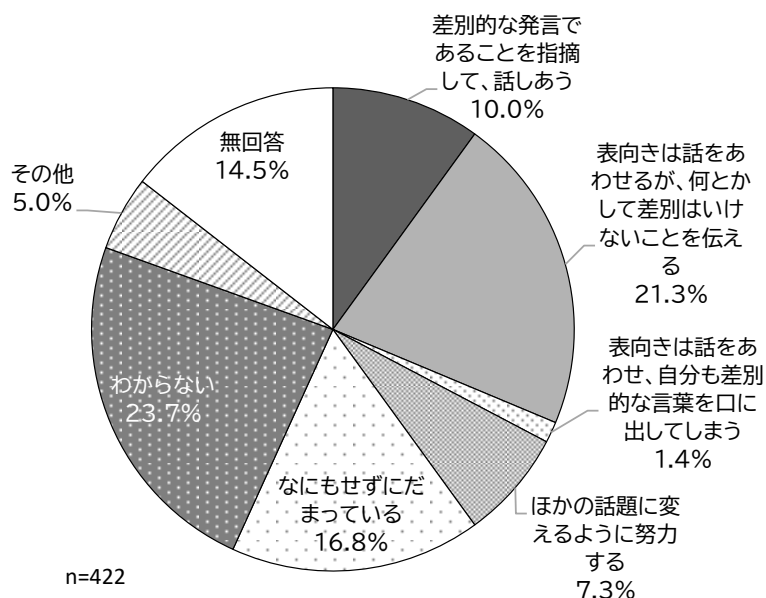
●年代別



問 16 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後（のち）に、そのあたりに同和地区があると聞いたとき、あなたはどのように思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「わからない」の割合が23.7%で最も高く、次いで「表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える」の割合が21.3%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
差別的な発言であることを指摘して、話しあう	42	10.0%
表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える	90	21.3%
表向きは話をあわせ、自分も差別的な言葉を口に出してしまう	6	1.4%
ほかの話題に変えるように努力する	31	7.3%
なにもせずにだまっている	71	16.8%
わからない	100	23.7%
その他	21	5.0%
無回答	61	14.5%



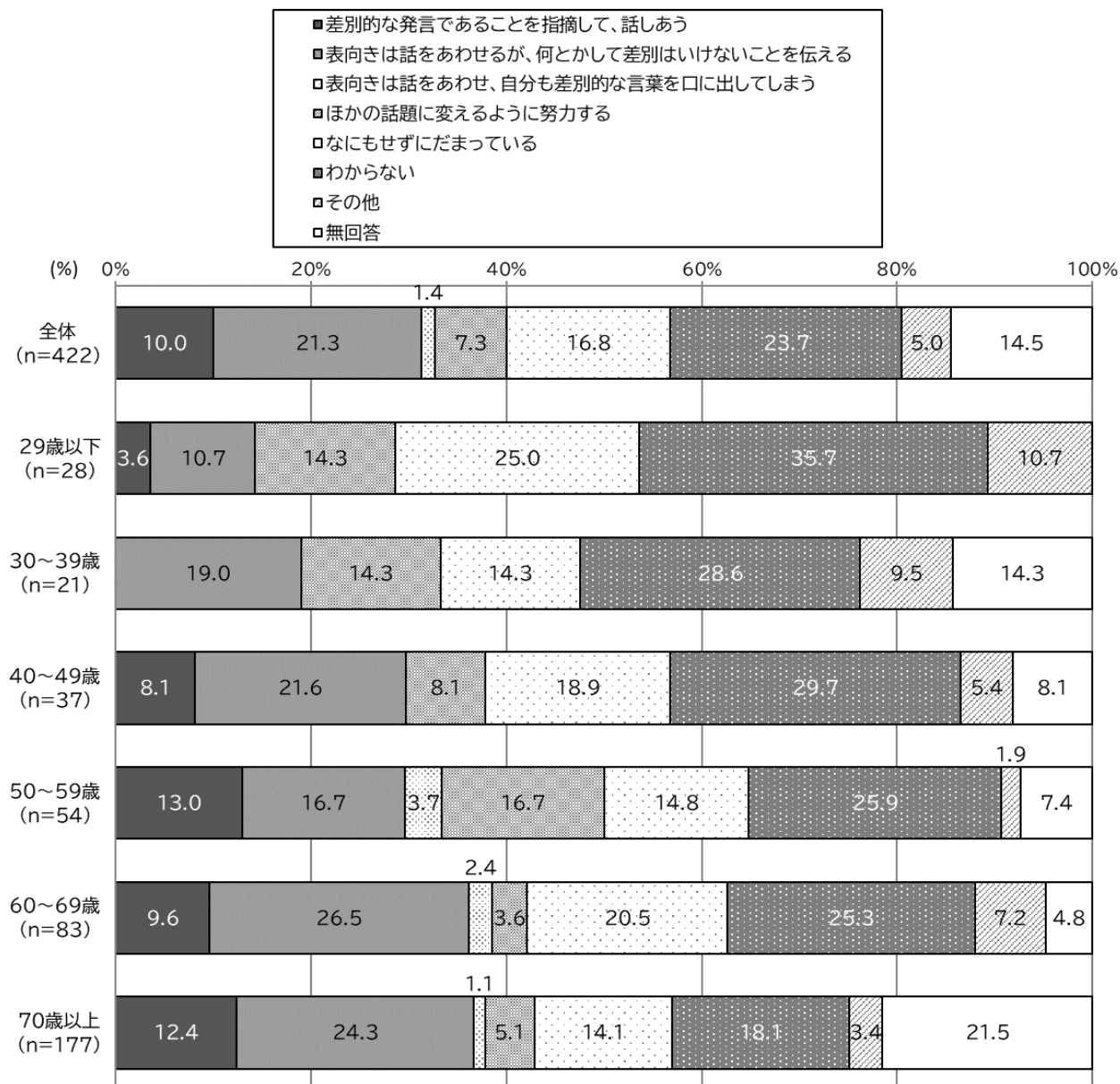
その他の回答内容

気にしない(6件)、何も思わない(4件)、より詳しく聞く(1件)、相手との仲によるができるなら指摘する(1件)、表向きは話を合わせるが、自分は差別の意思はないことを伝える(1件)、他者が差別をしてもそれを变えるよう促すとトラブルの元になるから(1件)、一度距離を保って必要最低限の支援にとどめる(1件)、相手の人間性が問題(1件)、物件が気に入ったら購入する(1件)、まだ同和地区を区別していることがおかしい(1件)、同和问题だけでなく、戦争終結・人権差別・いじめ・虐待のない社会を目指し活動する(1件)、設問の意味が不明(1件)

(参考) クロス集計結果

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「わからない」と回答した割合が高くなっています。
○「50～59歳」では、全体と比較して「ほかの話題に変えるように努力する」と回答した割合が高くなっています。

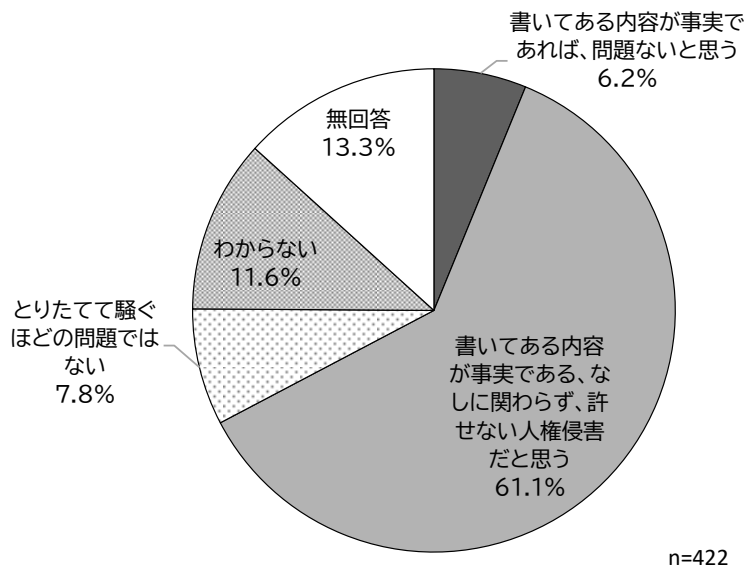
●年代別



問 17 インターネット上では、個人名などを取り上げた、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあります。あなたは、このような書き込みについて、どう思いますか。
あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」の割合が 61.1%と最も高くなっています。

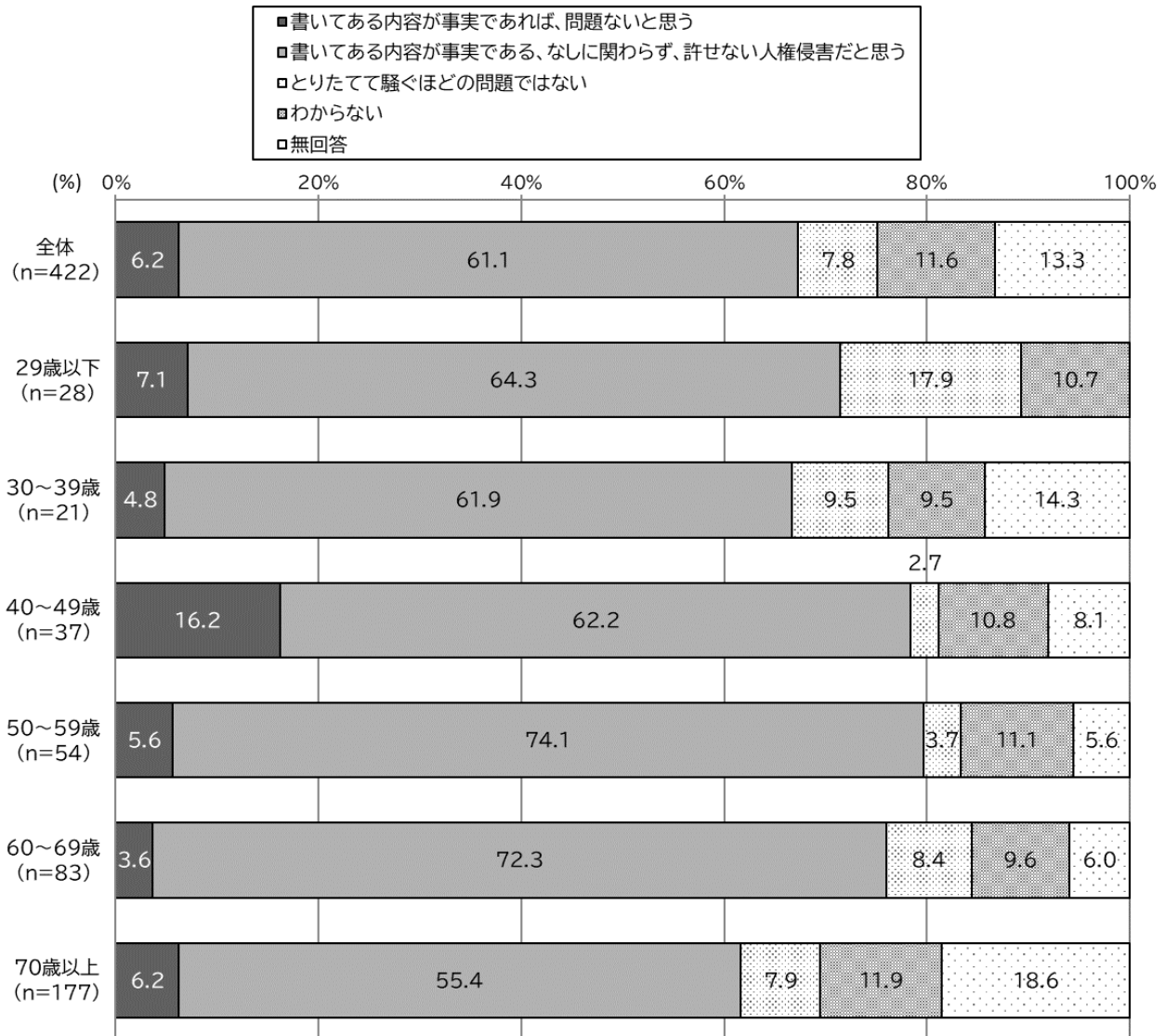
調査数(n=422)	回答数	割合
書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う	26	6.2%
書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う	258	61.1%
とりたてて騒ぐほどの問題ではない	33	7.8%
わからない	49	11.6%
無回答	56	13.3%



(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「とりたてて騒ぐほどの問題ではない」と回答した割合が高くなっています。
- 「40～49歳」では、全体と比較して「書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う」と回答した割合が高くなっています。

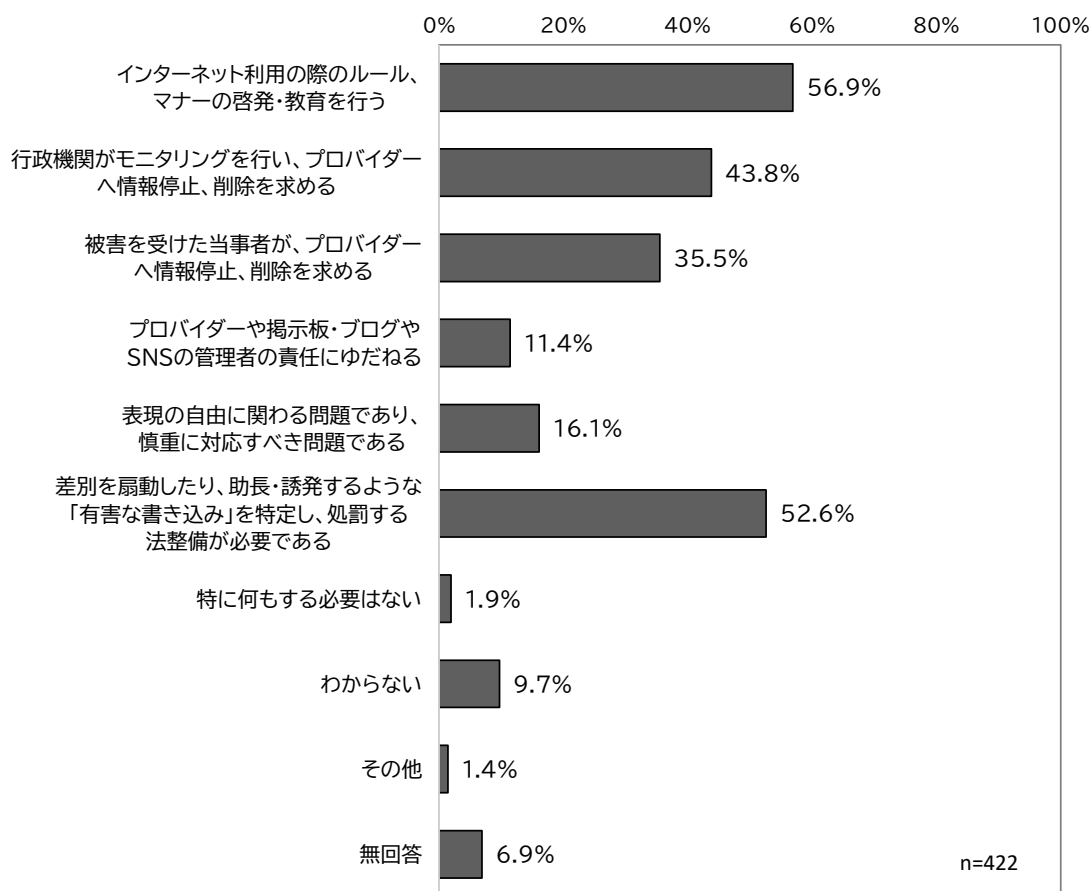
●年代別



問 18 インターネット上の差別的な書き込みや個人情報世間に広まることなどの問題を改善するために、どうすればよいと思いますか。あてはまるものに○印をつけてください(○はいくつでもいいです)

○「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「差別を扇動したり、助長・誘発するような「有害な書き込み」を特定し、処罰する法整備が必要である」の割合が 52.6%、「行政機関がモニタリングを行い、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」の割合が 43.8%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う	240	56.9%
行政機関がモニタリングを行い、プロバイダーへ情報停止、削除を求める	185	43.8%
被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める	150	35.5%
プロバイダーや掲示板・ブログやSNSの管理者の責任にゆだねる	48	11.4%
表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応すべき問題である	68	16.1%
差別を扇動したり、助長・誘発するような「有害な書き込み」を特定し、処罰する法整備が必要である	222	52.6%
特に何もする必要はない	8	1.9%
わからない	41	9.7%
その他	6	1.4%
無回答	29	6.9%



その他の回答内容

インターネットを使用できなくする(3件)、何を以て差別とするのか(1件)、差別する(される)理由は何か、根本的に考える必要がある(1件)、根本的な人間教育を見直す(1件)、良質な教育を地域格差等無く受けられるようにする(1件)、不明(1件)

(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」「プロバイダーや掲示板・ブログや SNS の管理者の責任にゆだねる」「表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応すべき問題である」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」と「被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う」「行政機関がモニタリングを行い、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」「被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」「表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応すべき問題である」と回答した割合が高くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める」「差別を扇動したり、助長・誘発するような「有害な書き込み」を特定し、処罰する法整備が必要である」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

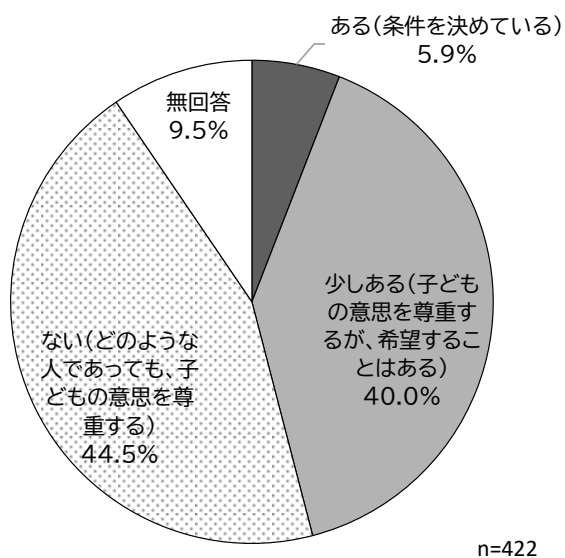
区 分	有効回答数 (件)	発のイ ・ルン タ 教 育 を 行 マ ッ ウ ナ ト 利 用 の 際	情を行政 報行政機 停機 止、開 、プ 削口モニ 除バニ をイタ 求ダリ めイン るハグ	止ブ被 、口書 削バを 除イ受 をダ け 求 め る 情 事 報 者 停 が、	のブ 責口ロ 任グバ にやイ ゆSD だNI ねS や るの掲 管 理 板 者・	きで表 問現の 題あり 、自由 であ る 重 に 関 わ る 問 題	要し害長差 であ、な・別 ある処書誘を る罰さ発 す込す動 るみるし 法より 整をた 備特 がな、 定ー助 必有	特に何も する 必要 は な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体	422	56.9%	43.8%	35.5%	11.4%	16.1%	52.6%	1.9%	9.7%	1.4%	6.9%
29歳以下	28	64.3%	28.6%	50.0%	25.0%	28.6%	57.1%	3.6%	17.9%	-	-
30～39歳	21	66.7%	33.3%	57.1%	9.5%	14.3%	57.1%	-	14.3%	4.8%	-
40～49歳	37	67.6%	51.4%	51.4%	2.7%	13.5%	59.5%	-	2.7%	2.7%	-
50～59歳	54	72.2%	64.8%	46.3%	13.0%	25.9%	57.4%	1.9%	7.4%	-	-
60～69歳	83	61.4%	51.8%	44.6%	15.7%	12.0%	62.7%	4.8%	6.0%	-	4.8%
70歳以上	177	49.7%	38.4%	21.5%	9.0%	15.8%	48.0%	0.6%	11.3%	2.3%	10.2%

7 結婚について

問 19 あなたにお子さんがいた場合（いない場合も、子どもがいると想定して）、お子さんの結婚相手（未婚のパートナーを含む）に求めることはありますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

○「ない(どのような人であっても、子どもの意思を尊重する)」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「少しある(子どもの意思を尊重するが、希望することはある)」の割合が 40.0%となっています。

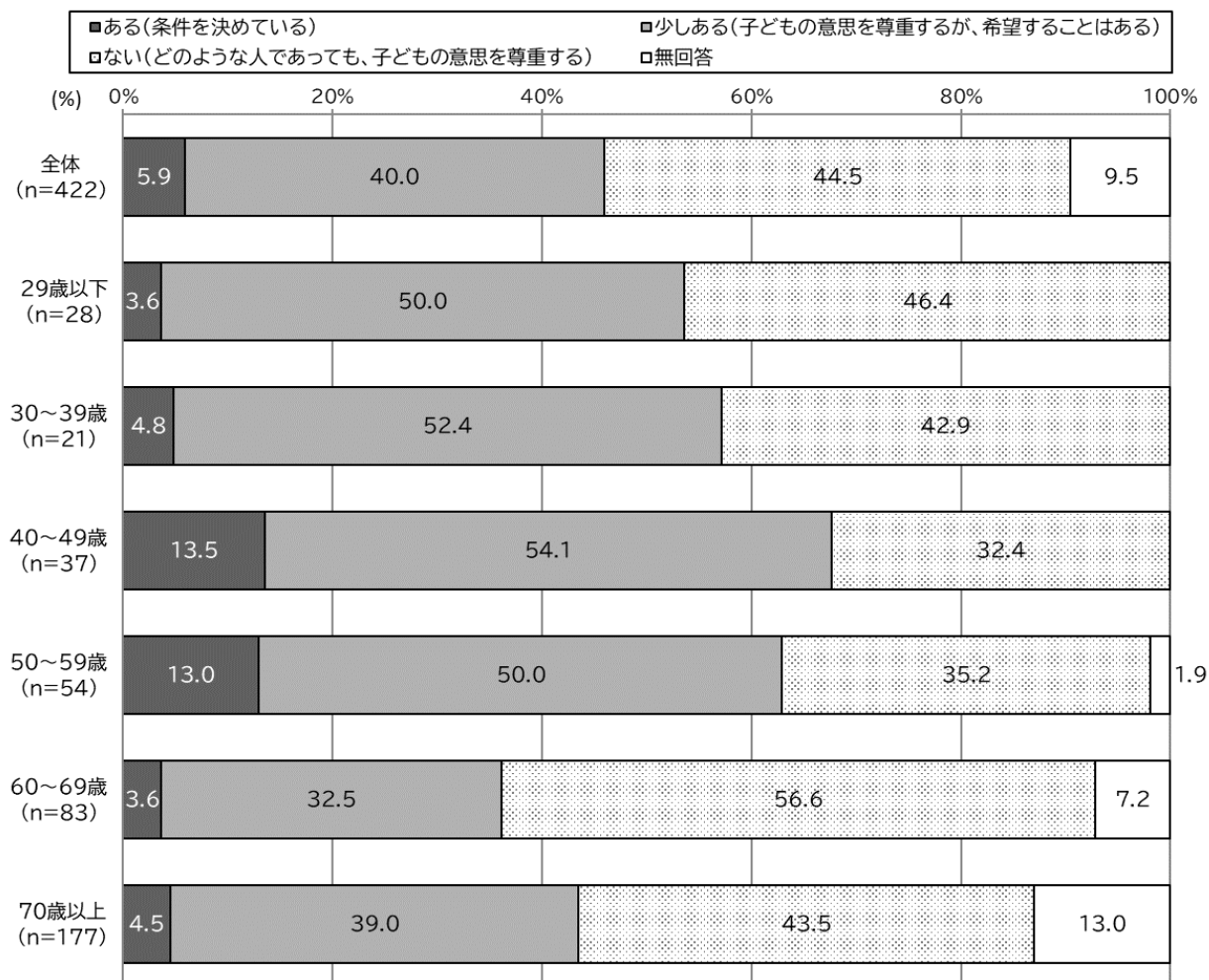
調査数(n=422)	回答数	割合
ある(条件を決めている)	25	5.9%
少しある(子どもの意思を尊重するが、希望することはある)	169	40.0%
ない(どのような人であっても、子どもの意思を尊重する)	188	44.5%
無回答	40	9.5%



(参考) クロス集計結果

- 年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「少しある（子どもの意思を尊重するが、希望することはある）」と回答した割合が高くなっています。
- 「60～69歳」では、全体と比較して「ない（どのような人であっても、子どもの意思を尊重する）」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

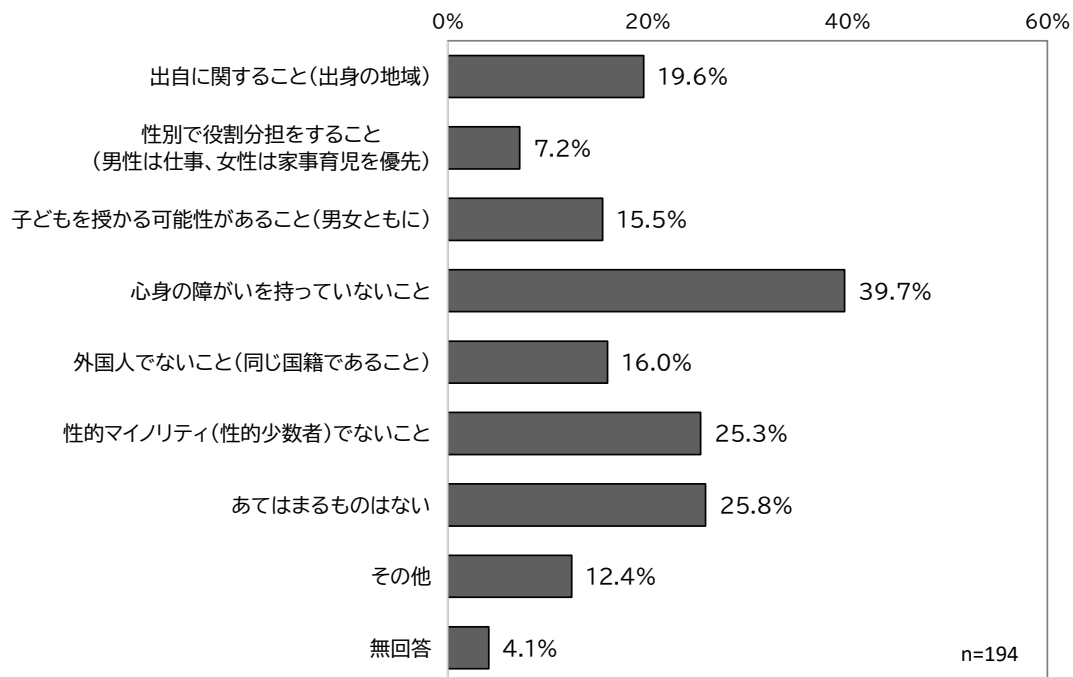


【問 19-1 から 19-2 までは、問 19 で「1. ある」「2. 少しある」を選択した方がご回答ください。】

問 19-1 【お子さんの結婚相手（未婚のパートナーを含む）に求める条件をお聞かせください。
あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「心身の障がいを持っていないこと」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「あてはまるものはない」の割合が 25.8%、「性的マイノリティ(性的少数者)でないこと」の割合が 25.3%となっています。

調査数(n=194)	回答数	割合
出自に関すること(出身の地域)	38	19.6%
性別で役割分担をすること(男性は仕事、女性は家事育児を優先)	14	7.2%
子どもを授かる可能性があること(男女ともに)	30	15.5%
心身の障がいを持っていないこと	77	39.7%
外国人でないこと(同じ国籍であること)	31	16.0%
性的マイノリティ(性的少数者)でないこと	49	25.3%
あてはまるものはない	50	25.8%
その他	24	12.4%
無回答	8	4.1%



その他の回答内容

職が安定にしているか(3件)、性格(2件)、常識的な考えであるか(2件)、精神が健康かどうか(2件)、経済力(2件)、暴力を振るわない(2件)、相手がどんな考え方(価値観)か知りたい(1件)、相性(1件)、本人及び家族の人格(1件)、最低限の社会常識がある(1件)、人間としての資質(1件)、最低限のマナーを守れるか(1件)、まじめに働く人(1件)、宗教上相いれない人は困る(1件)、心身の健康(1件)、看護・介護をする障害がないか(1件)、禁煙(1件)、夫婦で協力して行動する事(1件)、パートナーを大事にする覚悟があること(1件)、生活力があること(1件)、ギャンブルをやっていないこと(1件)、学歴(1件)

(参考) クロス集計結果

- 性別では、「男性」で全体と比較して「性的マイノリティ(性的少数者)でないこと」と回答した割合が高くなっています。
- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「外国人でないこと(同じ国籍であること)」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「あてはまるものはない」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「心身の障がいを持っていないこと」と「性的マイノリティ(性的少数者)でないこと」と回答した割合が高くなっています。

●性別

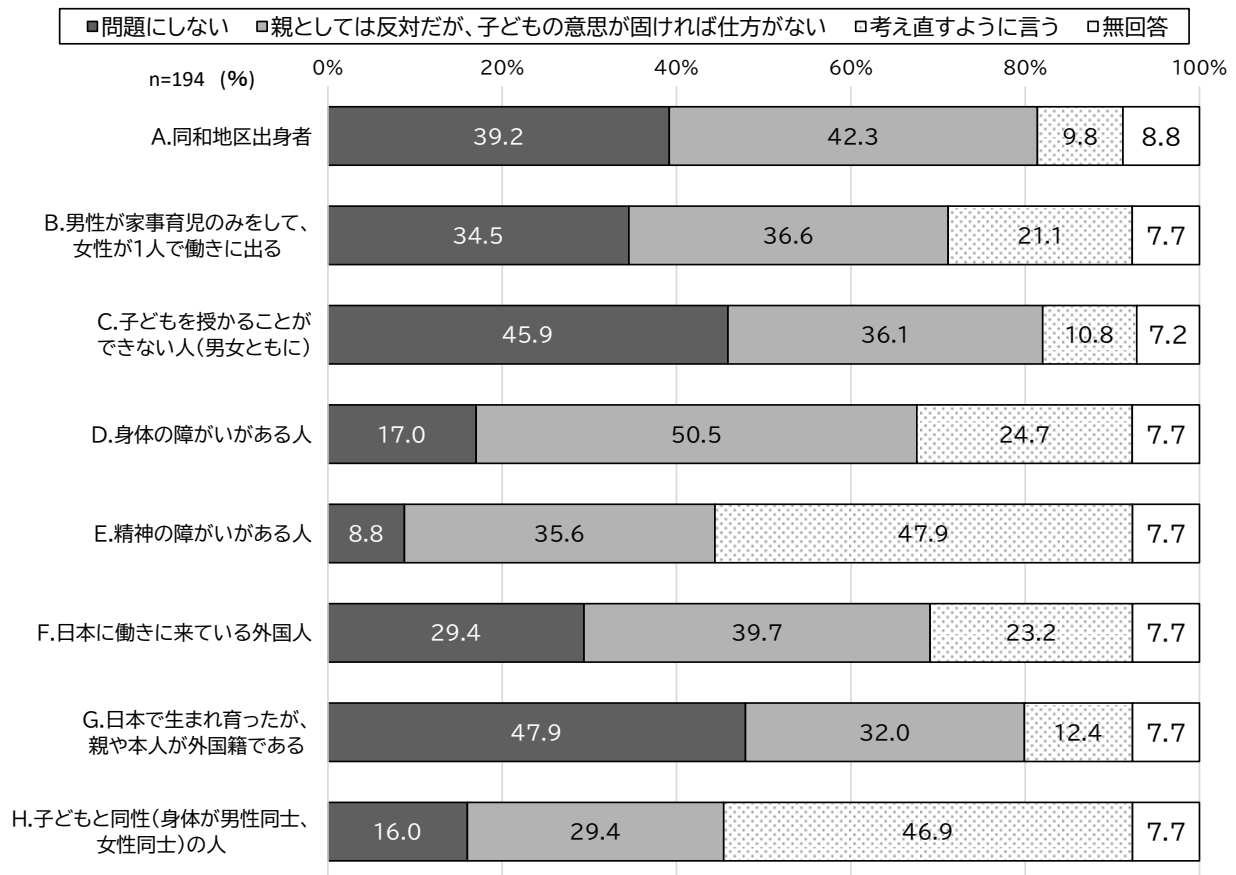
区 分	有効回答数（件）	出身の地域に関すること（出自に）	性別で役割分担をする（性同一性）	性同一性に関すること（男女とも）	心身の障がいを持っていないこと	外国人でないこと（外国籍であること）	性的マイノリティでないこと（性的少数者）	あてはまるものはない	その他	無回答
全体	194	19.6%	7.2%	15.5%	39.7%	16.0%	25.3%	25.8%	12.4%	4.1%
男性	83	25.3%	12.0%	20.5%	38.6%	18.1%	37.3%	19.3%	13.3%	4.8%
女性	106	16.0%	3.8%	11.3%	41.5%	15.1%	17.0%	28.3%	12.3%	3.8%
選択しない	4	-	-	25.0%	25.0%	-	-	75.0%	-	-

●年代別

区 分	有効回答数（件）	身出自の地域に関すること（出身）	性は家事育児を優先する	性別で役割分担をする	にがあること（男女とも性	心身の障がいを持っていないこと	外国人でないこと（同じ国籍であること）	性的マイノリティでないこと（性的少数者）	あてはまるものはない	その他	無回答
全体	194	19.6%	7.2%	15.5%	39.7%	16.0%	25.3%	25.8%	12.4%	4.1%	
29歳以下	15	20.0%	6.7%	20.0%	40.0%	26.7%	13.3%	20.0%	33.3%	-	
30～39歳	12	8.3%	-	8.3%	16.7%	-	8.3%	50.0%	16.7%	8.3%	
40～49歳	25	8.0%	4.0%	-	24.0%	16.0%	20.0%	40.0%	16.0%	4.0%	
50～59歳	34	23.5%	5.9%	23.5%	50.0%	5.9%	35.3%	20.6%	5.9%	5.9%	
60～69歳	30	16.7%	6.7%	23.3%	40.0%	20.0%	20.0%	26.7%	16.7%	3.3%	
70歳以上	77	24.7%	10.4%	14.3%	44.2%	19.5%	29.9%	19.5%	7.8%	3.9%	

問 19-2 結婚相手（未婚のパートナーを含む）が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Hで1つずつ）

- 「問題にしない」では、「C. 子どもを授かることができない人（男女ともに）」「G. 日本で生まれ育ったが、親や本人が外国籍である」が約5割となっています。
- 「親としては反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」では、「D. 身体の障害がある人」が約5割となっています。
- 「考え直すように言う」では、「E. 精神の障がいがある人」と「H. 子どもと同性（身体が男性同士、女性同士）の人」が約5割となっています。

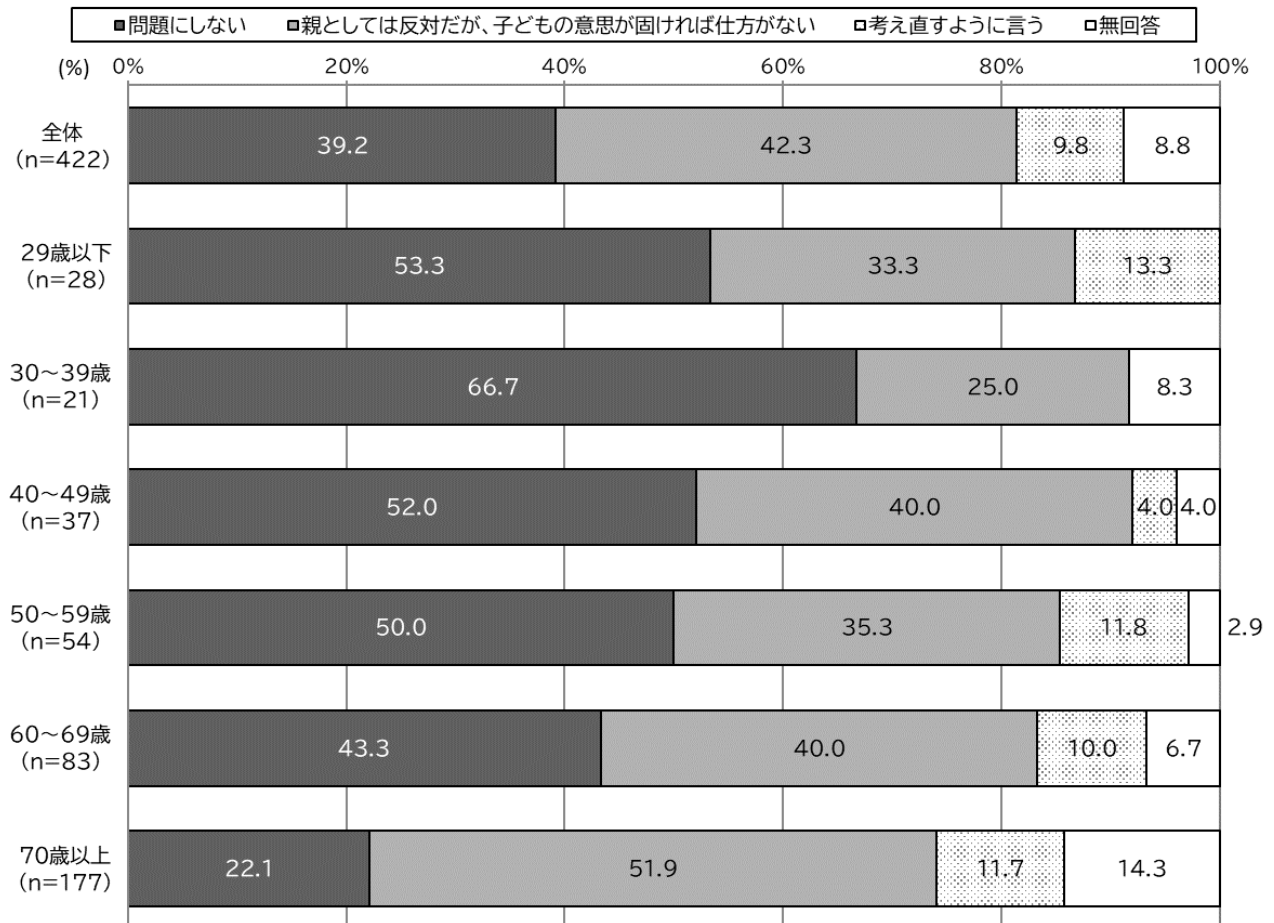


(参考) クロス集計結果

問 19-2 A. 同和地区出身者

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
○「70歳以上」では、全体と比較して「親としては反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」が高くなっています。

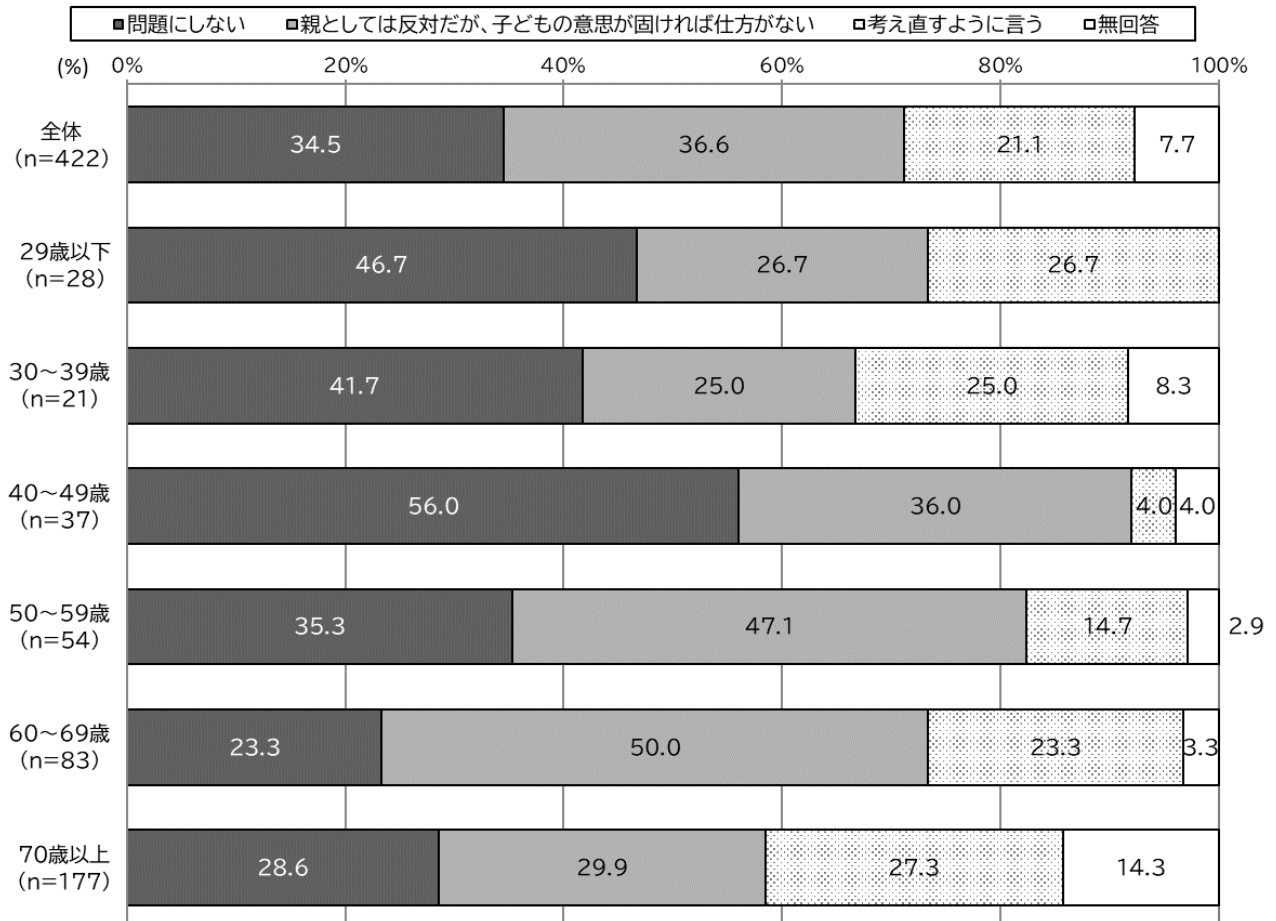
●年代別



問 19-2 B. 男性が家事育児のみをして、女性が1人で働きに出る

- 年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「親として反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。

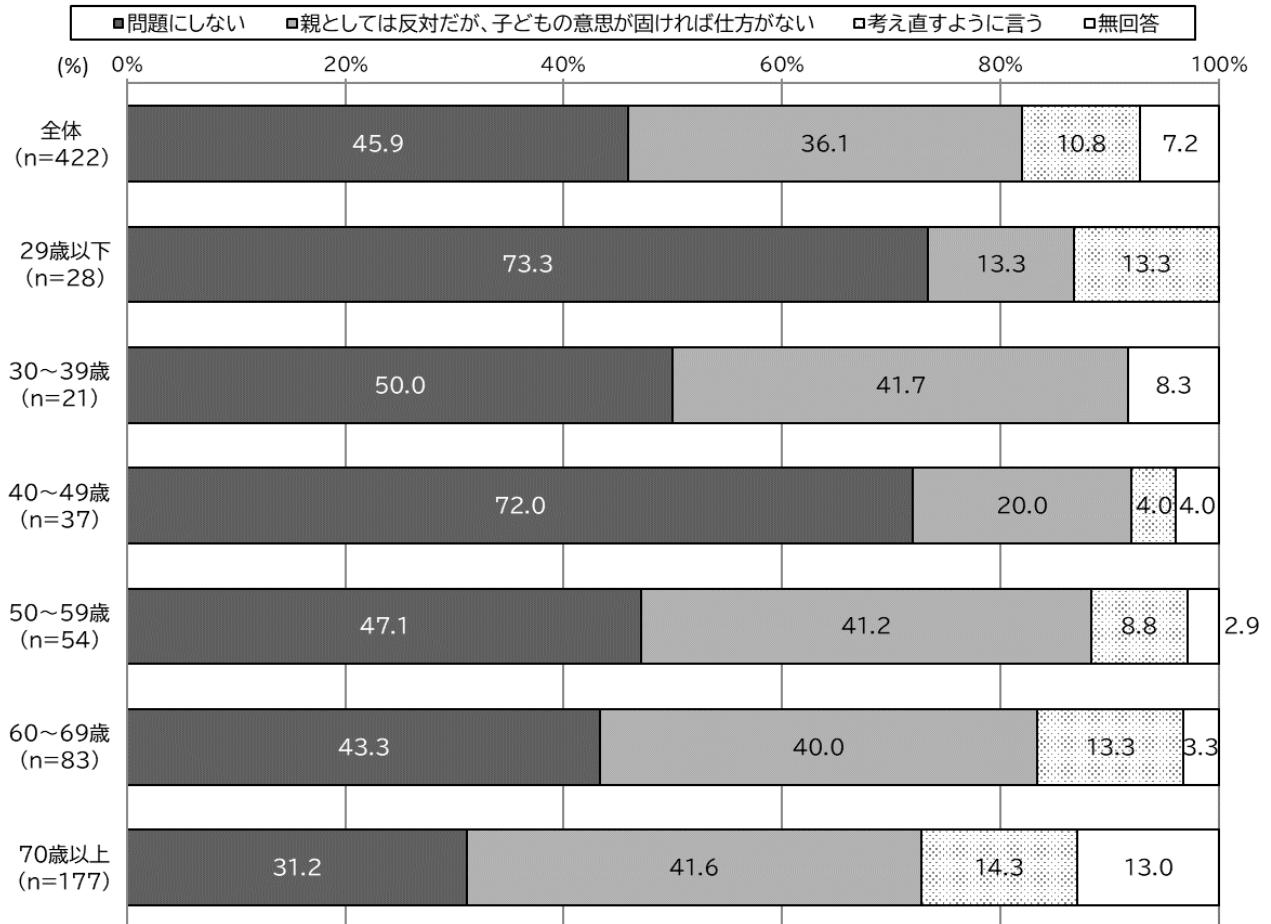
●年代別



問 19-2 C. 子どもを授かることができない人（男女ともに）

○年代別では、「29歳以下」と「40～49歳」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。

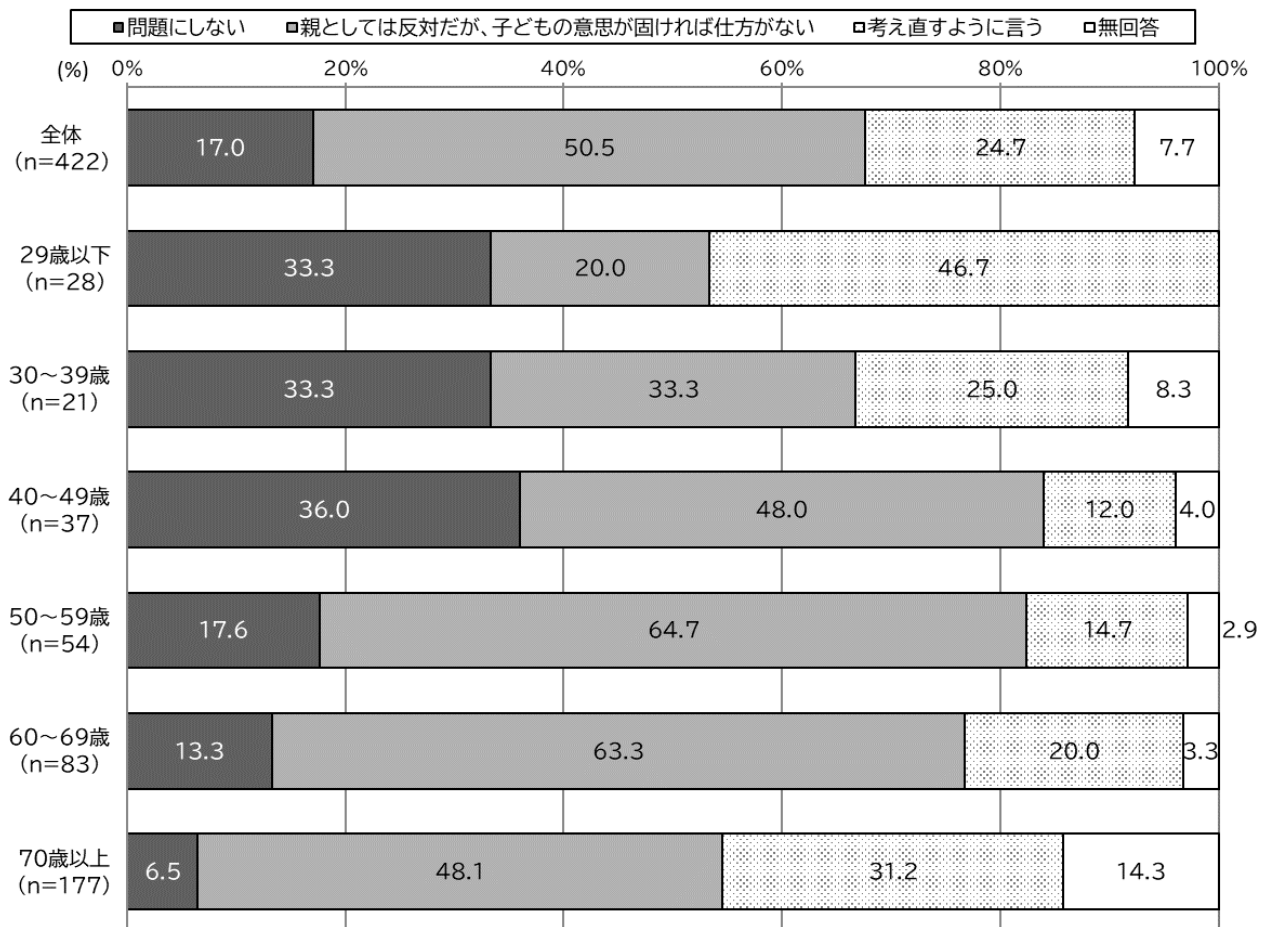
●年代別



問 19-2 D. 身体の障がいがある人

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「問題にしない」と「考え直すように言う」と回答した割合が高くなっています。
- 「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「親として反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。

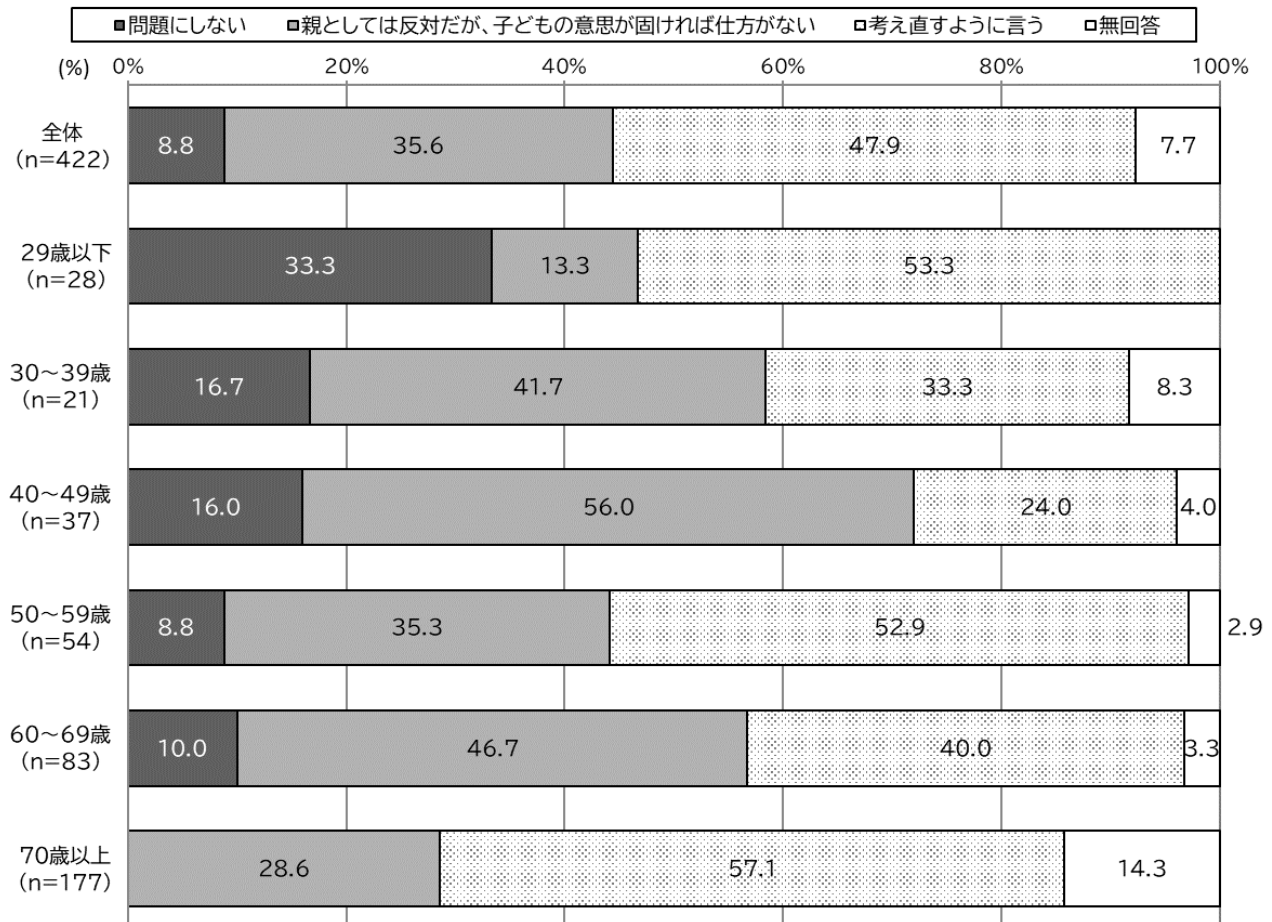
●年代別



問 19-2 E. 精神の障がいがある人

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
- 「40～49歳」と「60～69歳」では、全体と比較して「親として反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。
- 「70歳以上」では、全体と比較して「考え直すように言う」と回答した割合が高くなっています。

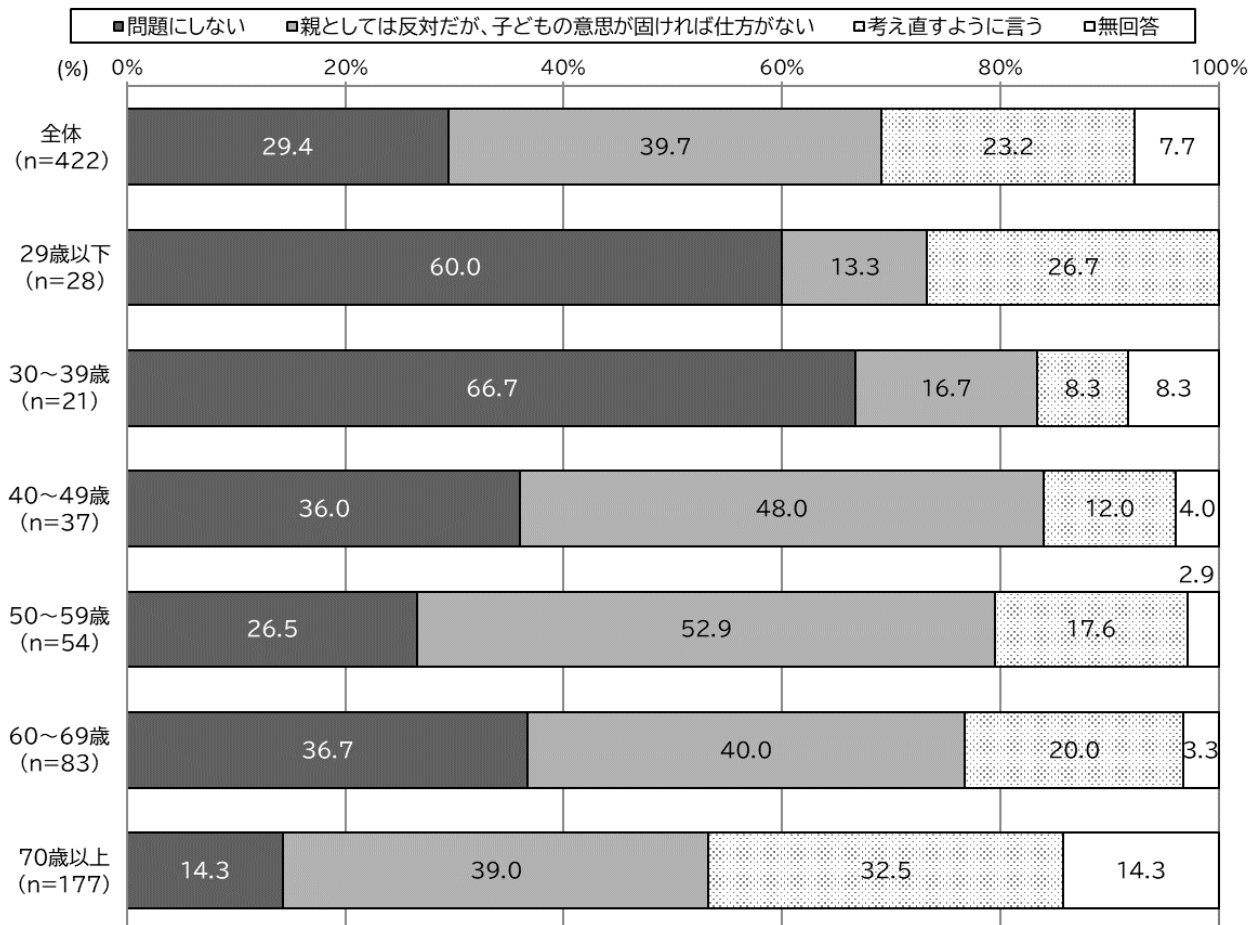
●年代別



問 19-2 F. 日本に働きに来ている外国人

- 年代別では、「29歳以下」と「30～39歳」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「親としては反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。
- 「70歳以上」では、全体と比較して「考え直すように言う」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

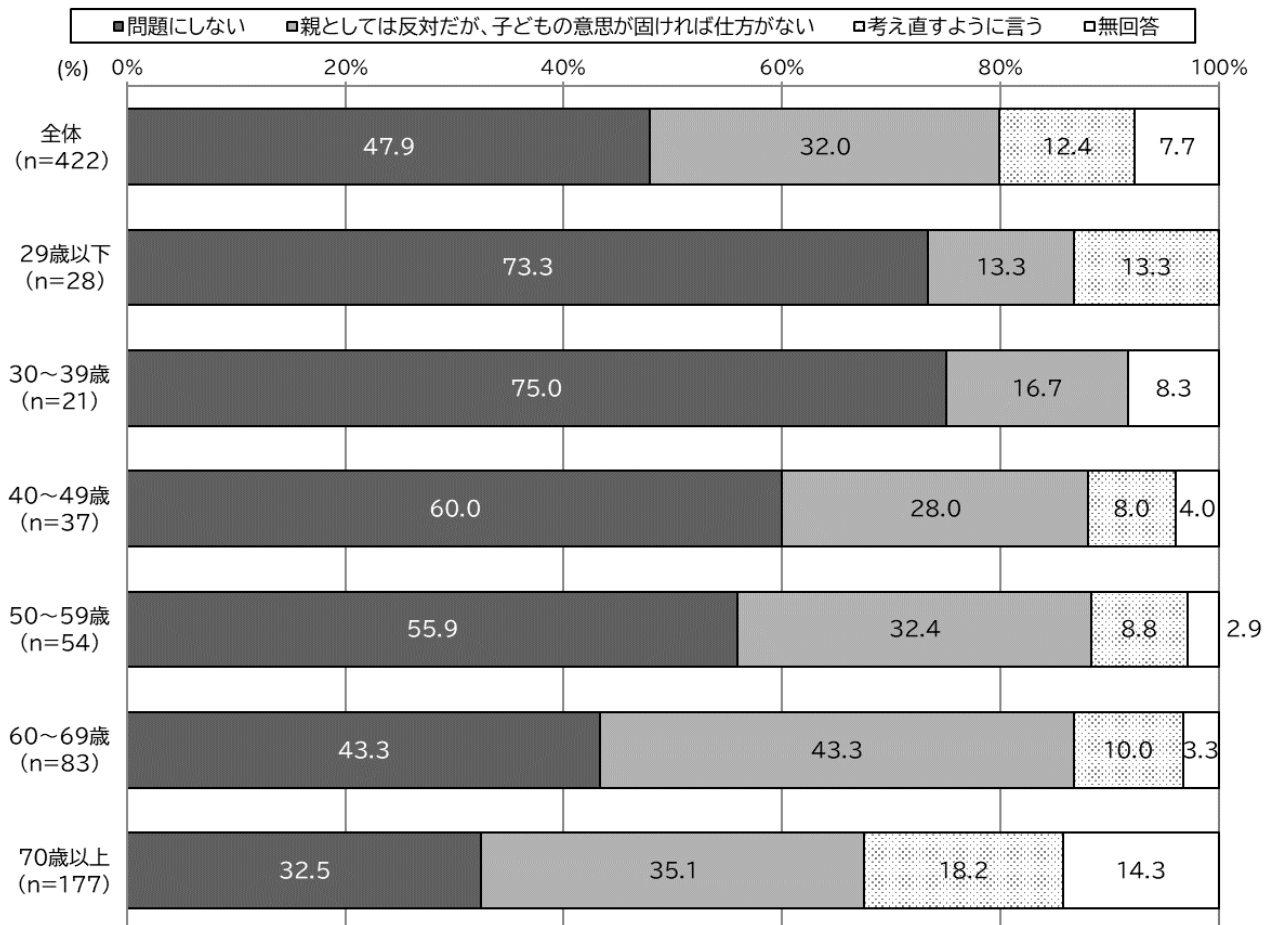


問 19-2 G. 日本で生まれ育ったが、親や本人が外国籍である

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。

○「60～69歳」では、全体と比較して「親としては反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。

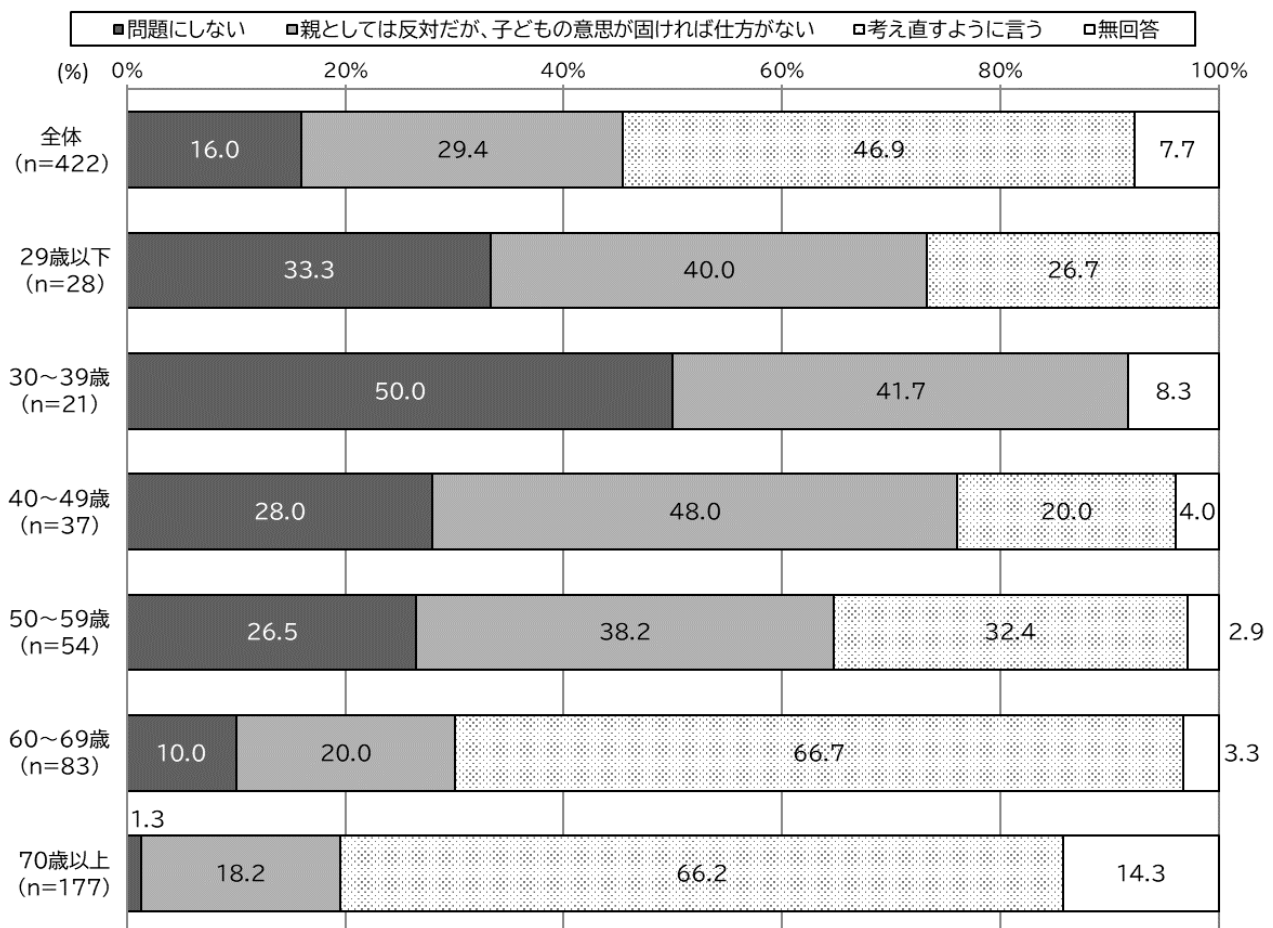
●年代別



問 19-2 H. 子どもと同性（身体が男性同士、女性同士）の人

- 年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「問題にしない」と「親として反対だが、子どもの意思が固ければ仕方ない」と回答した割合が高くなっています。
- 「50～59歳」では、全体と比較して「問題にしない」と回答した割合が高くなっています。
- 「60～69歳」と「70歳以上」では、全体と比較して「考え直すように言う」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

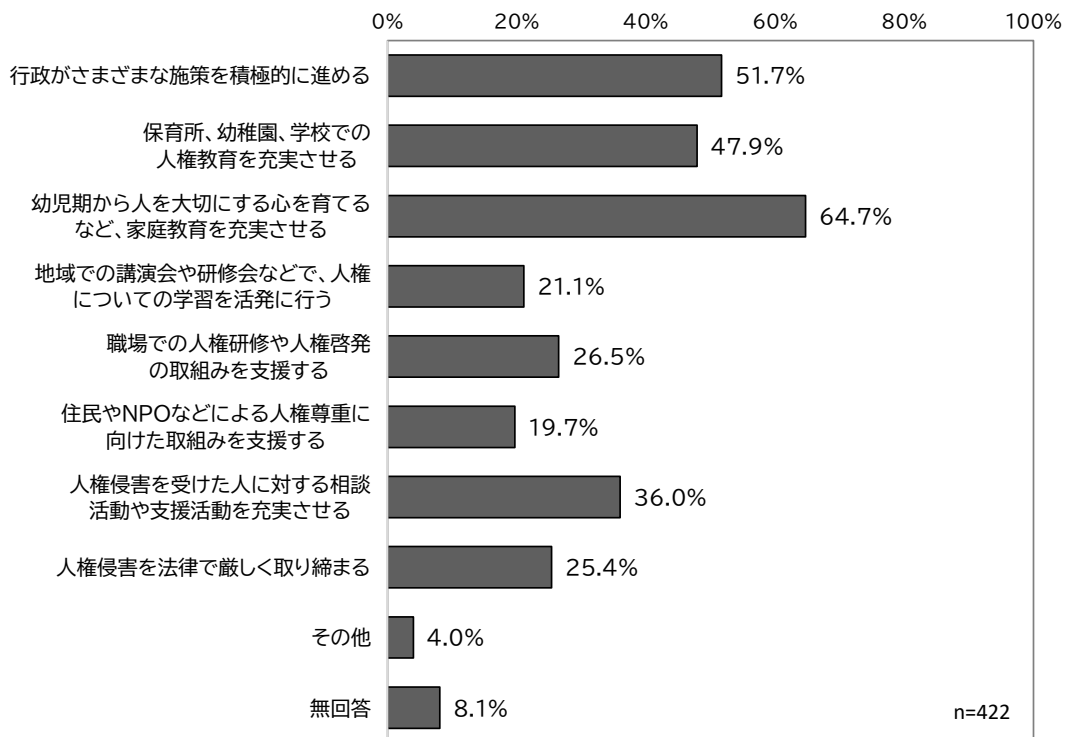


8 人権尊重社会をつくるための取組について

問 20 人権が尊重される社会を実現するために、あなたは、今後どのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

○「幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「行政がさまざまな施策を積極的に進める」の割合が 51.7%、「保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる」の割合が 47.9%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
行政がさまざまな施策を積極的に進める	218	51.7%
保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる	202	47.9%
幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる	273	64.7%
地域での講演会や研修会などで、人権についての学習を活発に行う	89	21.1%
職場での人権研修や人権啓発の取組みを支援する	112	26.5%
住民やNPOなどによる人権尊重に向けた取組みを支援する	83	19.7%
人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる	152	36.0%
人権侵害を法律で厳しく取り締まる	107	25.4%
その他	17	4.0%
無回答	34	8.1%



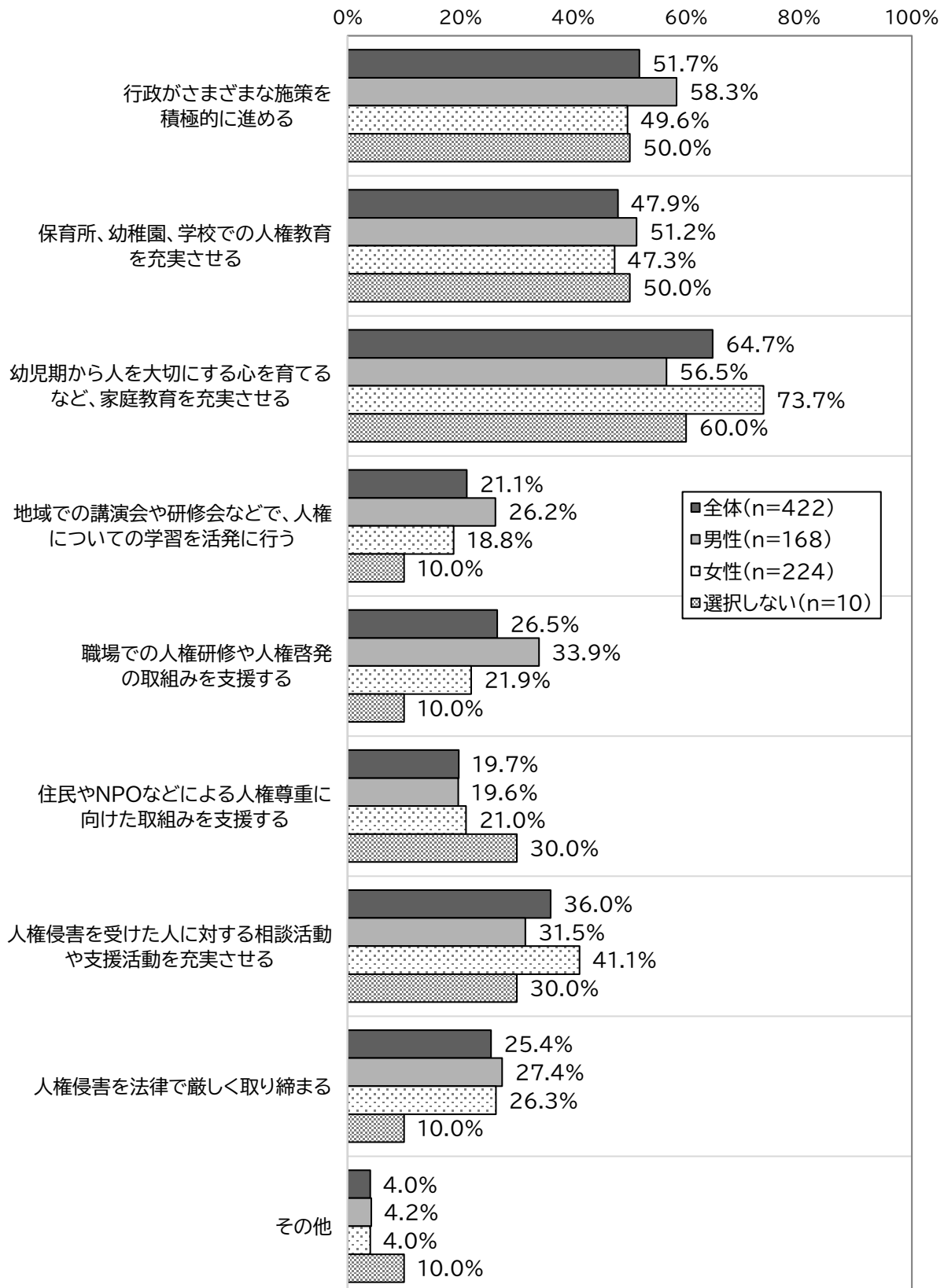
その他の回答内容

子どもへの啓発・教育に気を付ける(4件)、宇宙自然の摂理を学び考える必要がある(1件)、部落差別があったことを口にしないことで段々と差別が無くなっていくことも考えられる(1件)、行政がもっと施策を考え直す(1件)、高齢者、男女、在日、貧富の差、職業といった人種差別を周知させ、同和問題だけが人種差別でない事を啓発すべき(1件)、差別の問題はおかしい(1件)、人権が尊重される社会を実現するのは人間である以上難しい(1件)、人権を盾に過剰に権利を主張する人々も厳しく取り締まる(1件)、同和対策その事が差別(1件)、平等性が重視されるべき(1件)、そのような社会を作って欲しい(1件)、持って生まれたその人の人格ですべて決まる(1件)、行政の人ほど古い考えの人が多い印象(1件)

(参考) クロス集計結果

○性別では、「女性」で全体と比較して「幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる」と回答した割合が高くなっています。

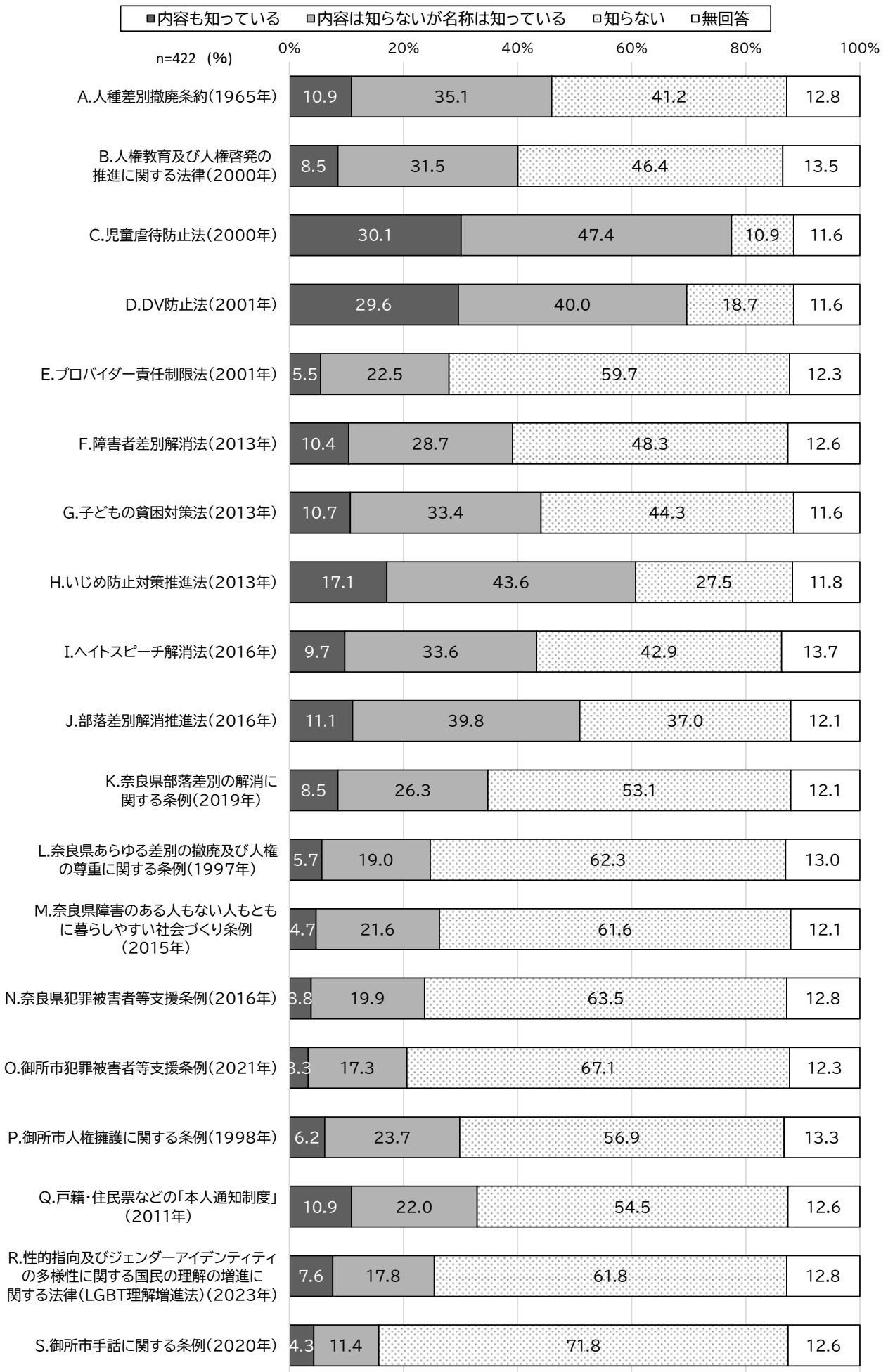
●性別



9 人権に関する法律や条例について

問 21 あなたは、人権問題にかかわる次のような法律や条例などを知っていますか。あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Sで1つずつ）

- 「内容も知っている」では、「C. 児童虐待防止法(2000 年)」と「D. DV防止法(2001 年)」が約3割となっています。
- 「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせて5割以上になっているものは、「C. 児童虐待防止法(2000 年)」 「D. DV防止法(2001 年)」 「H. いじめ防止対策推進法(2013 年)」 「J. 部落差別解消法(2016 年)」です。
- 「知らない」では、「C. 児童虐待防止法(2000 年)」 「D. DV防止法(2001 年)」 「H. いじめ防止対策推進法(2013 年)」 「J. 部落差別解消法(2016 年)」を除くすべての項目で4割以上となっています。



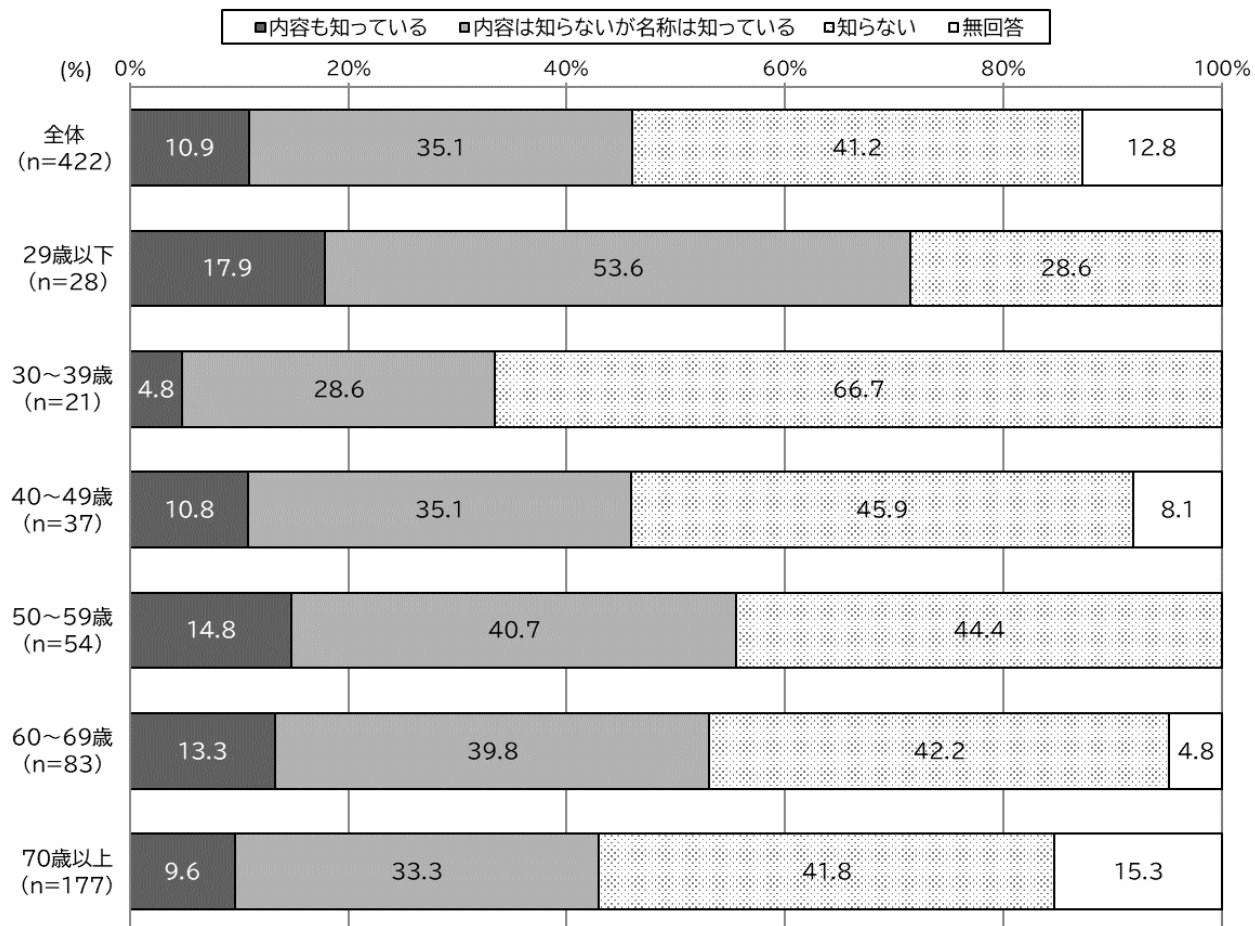
(参考) クロス集計結果

問 21 A. 人種差別撤廃条約 (1965 年)

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

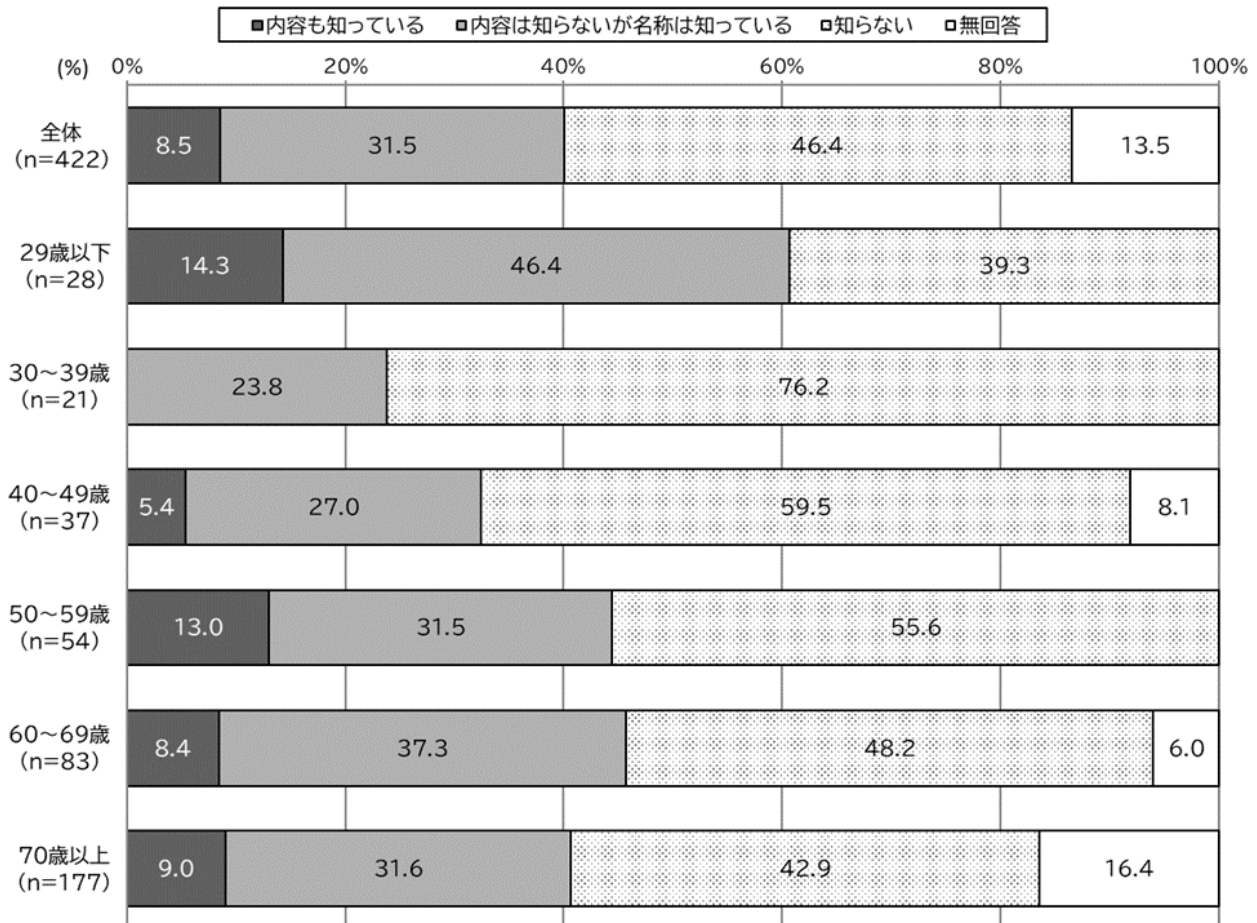
●年代別



問 21 B. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（2000 年）

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。
- 「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

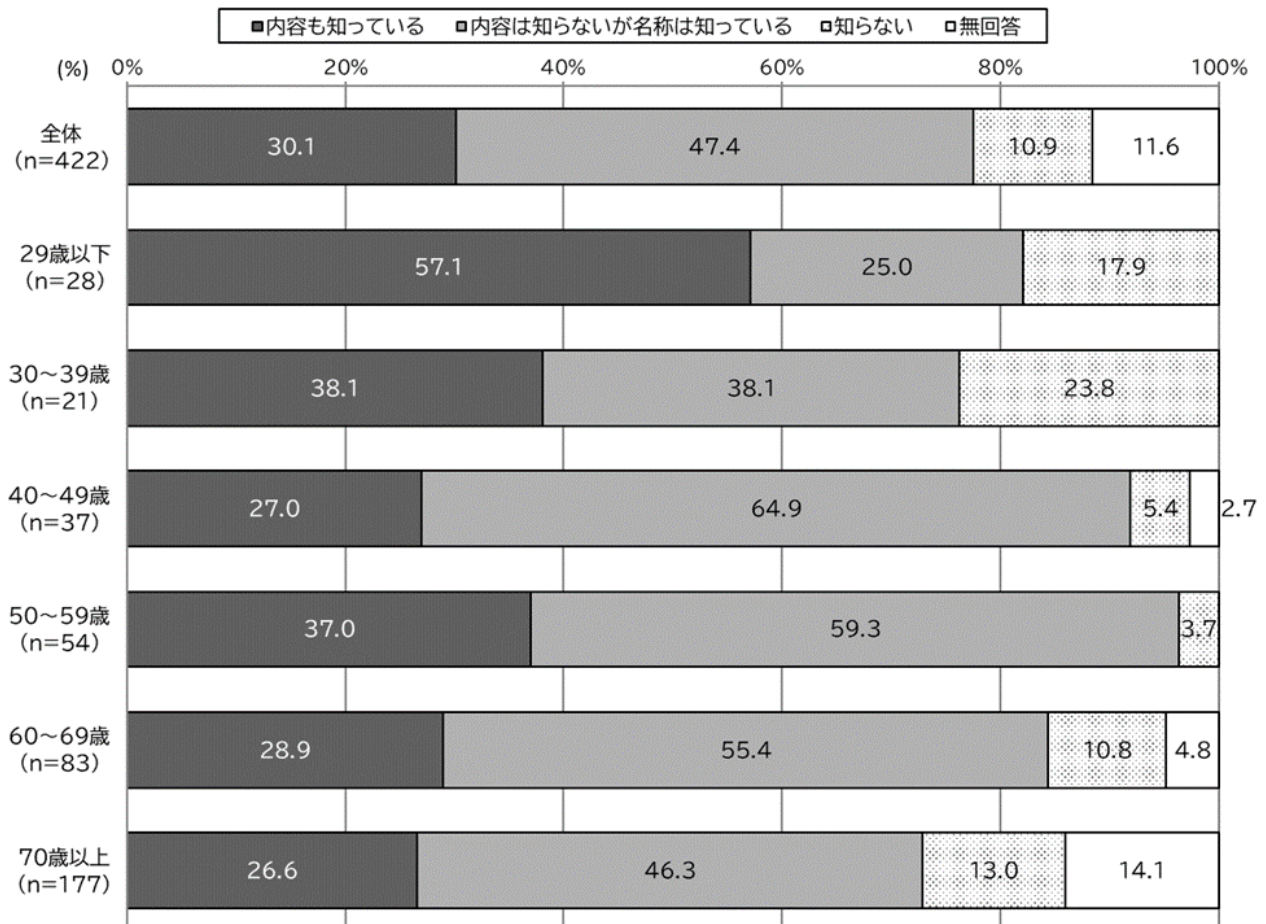


問 21 C. 児童虐待防止法（2000 年）

○「30～39歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

○「40～49歳」と「50～59歳」では、全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。

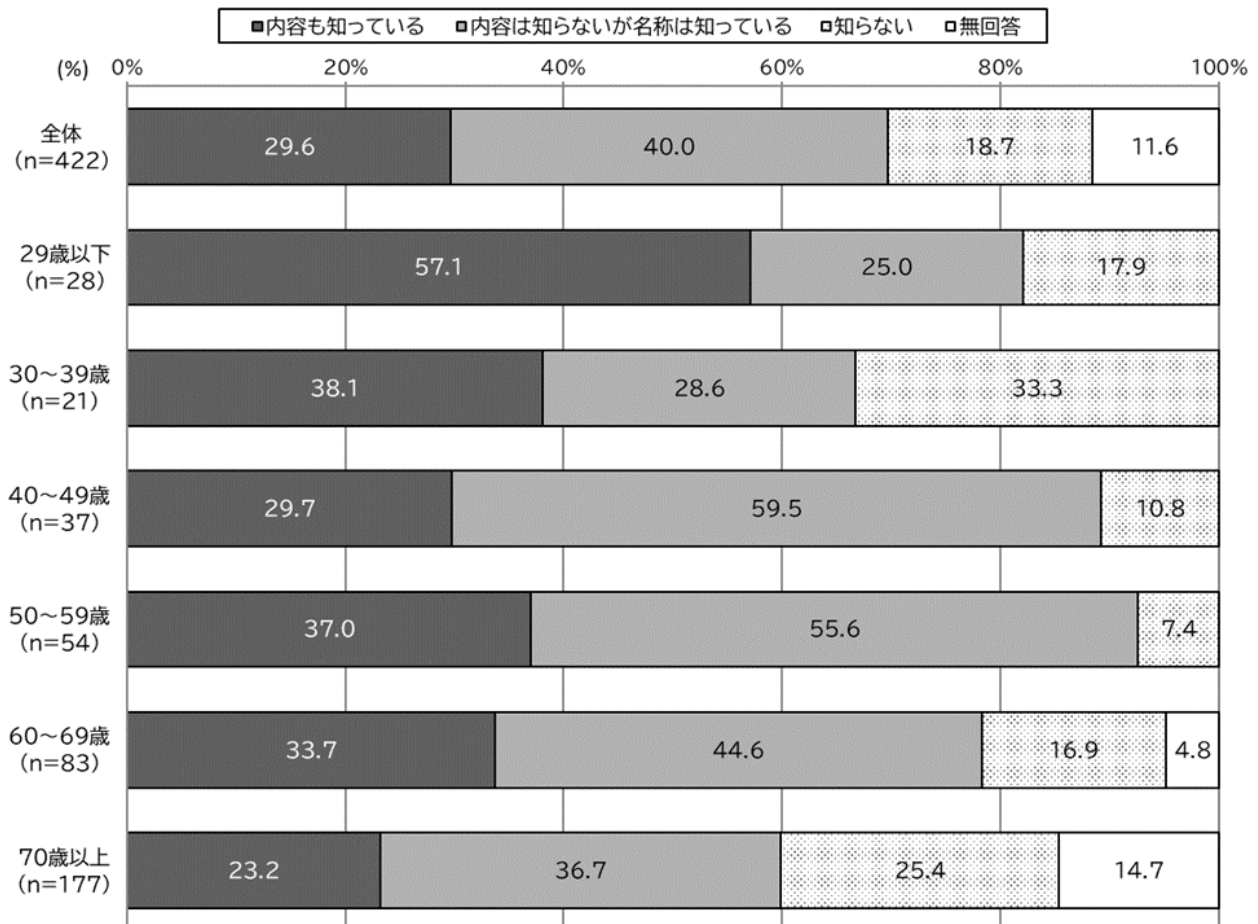
●年代別



問 21 D. DV防止法（2001 年）

- 年代別では、「29歳以下」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合は高くなっています。
- 「30～39歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

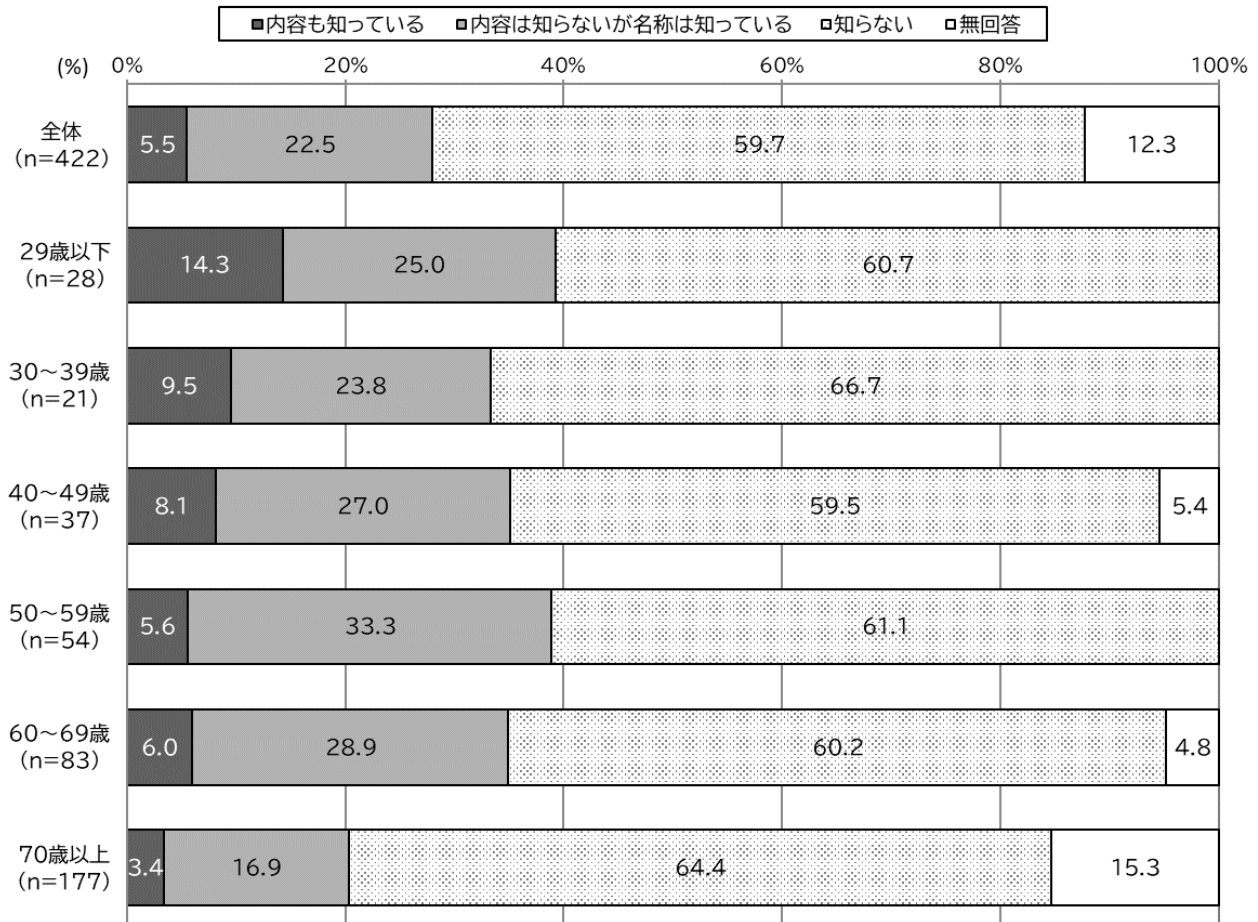
●年代別



問 21 E. プロバイダー責任制限法（2001 年）

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。

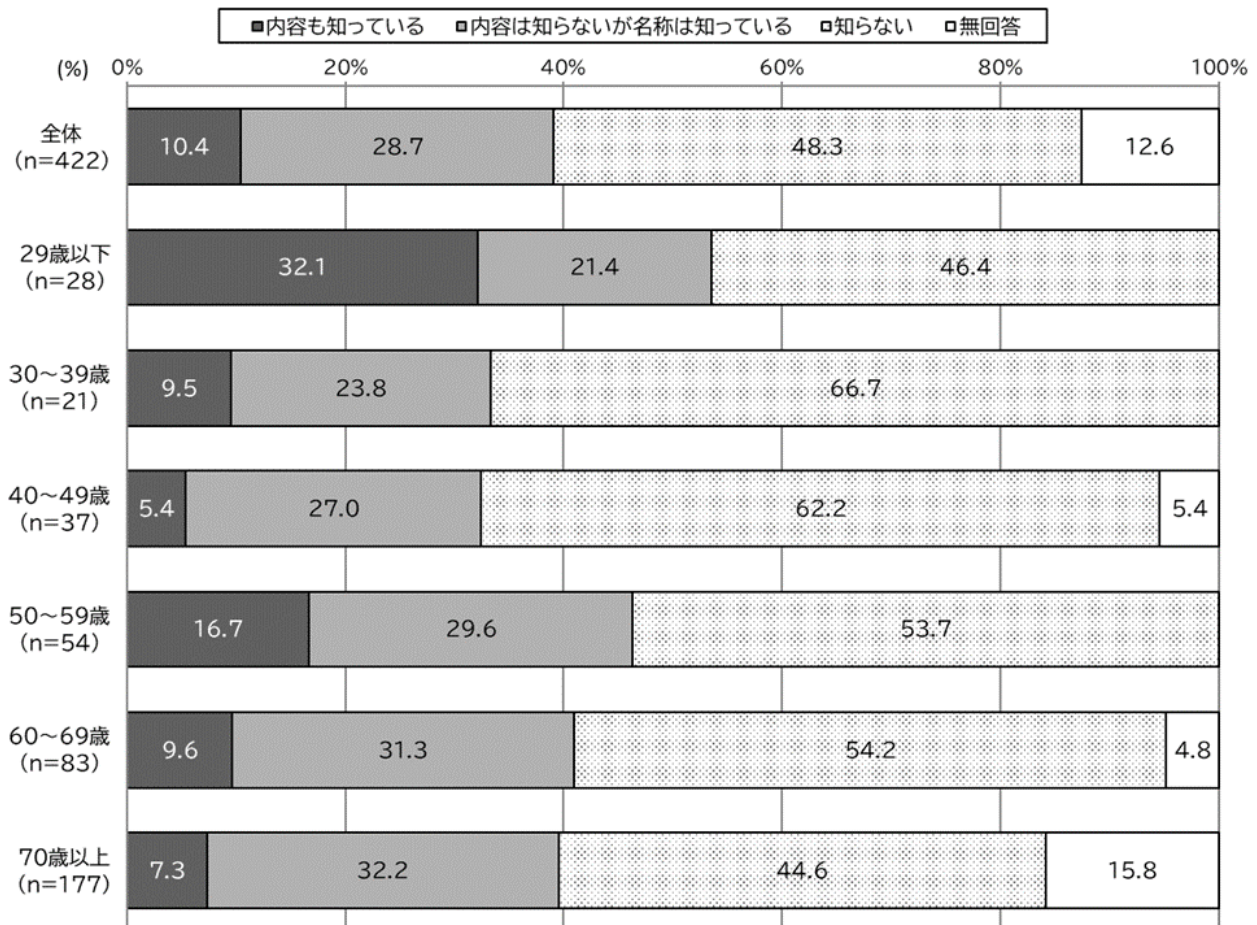
●年代別



問 21 F. 障害者差別解消法（2013 年）

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。
- 「30～39歳」と「40～49歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

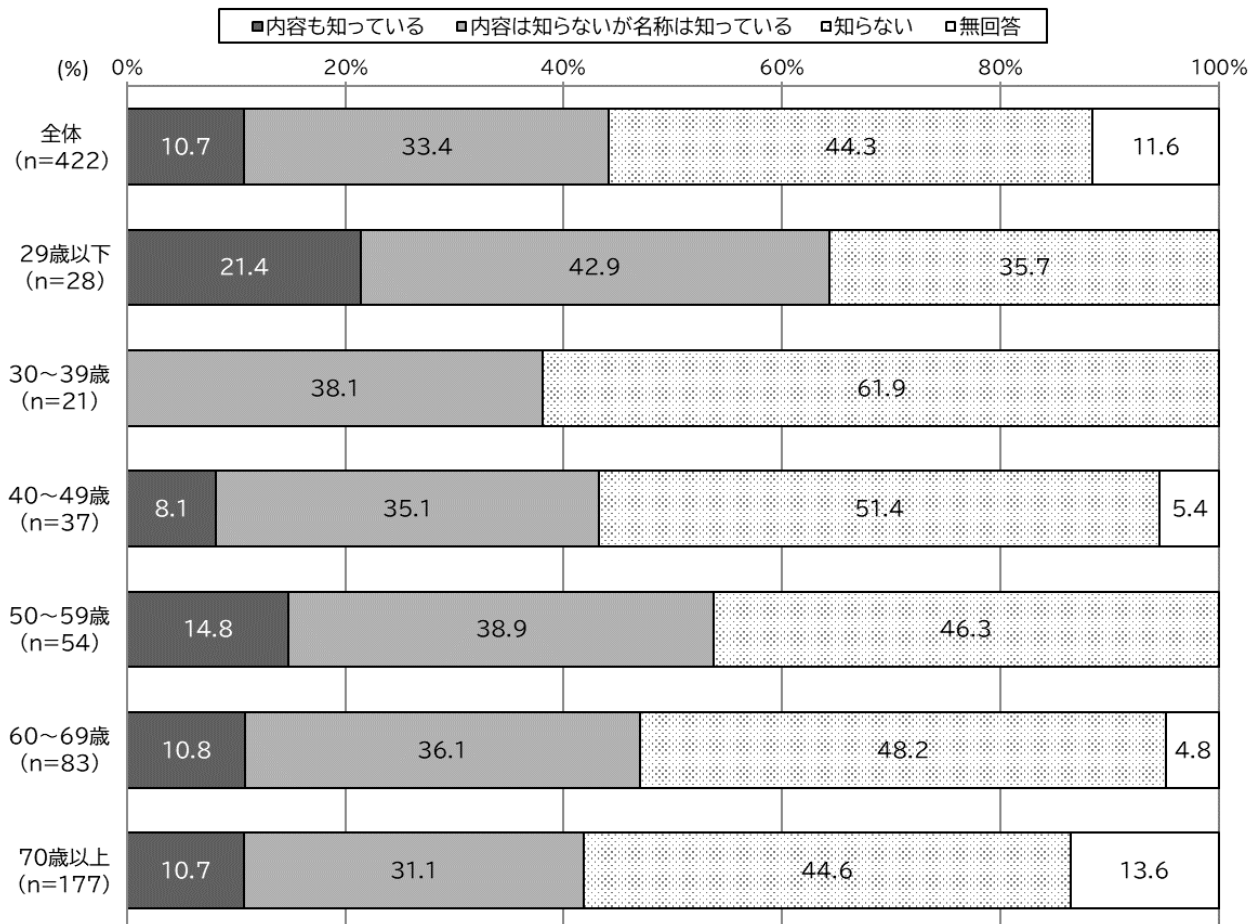


問 21 G. 子どもの貧困対策法（2013 年）

○年代別では、「29歳以下」と「50～59歳」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。

○「30～39歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

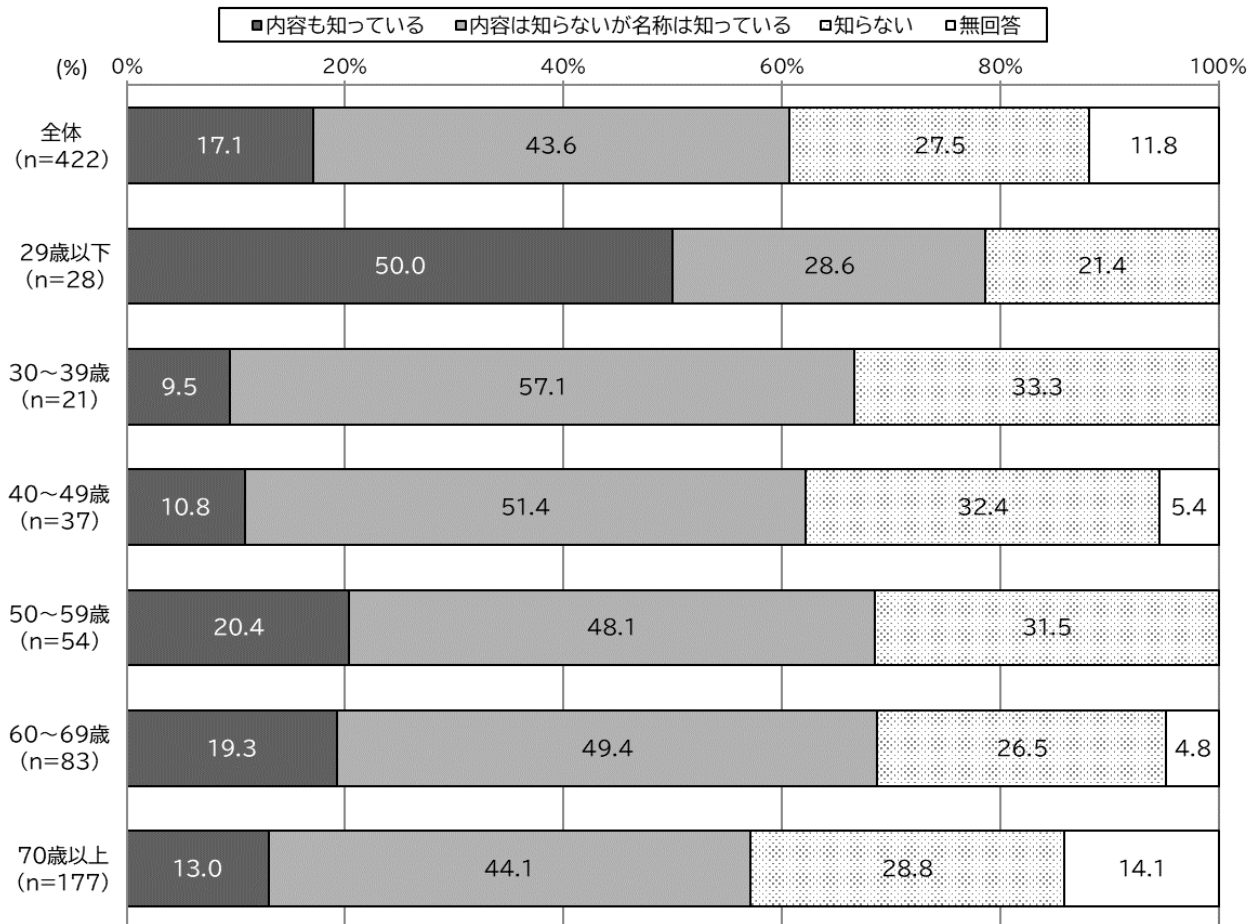
●年代別



問 21 H. いじめ防止対策推進法（2013 年）

○年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合は高くなっています。

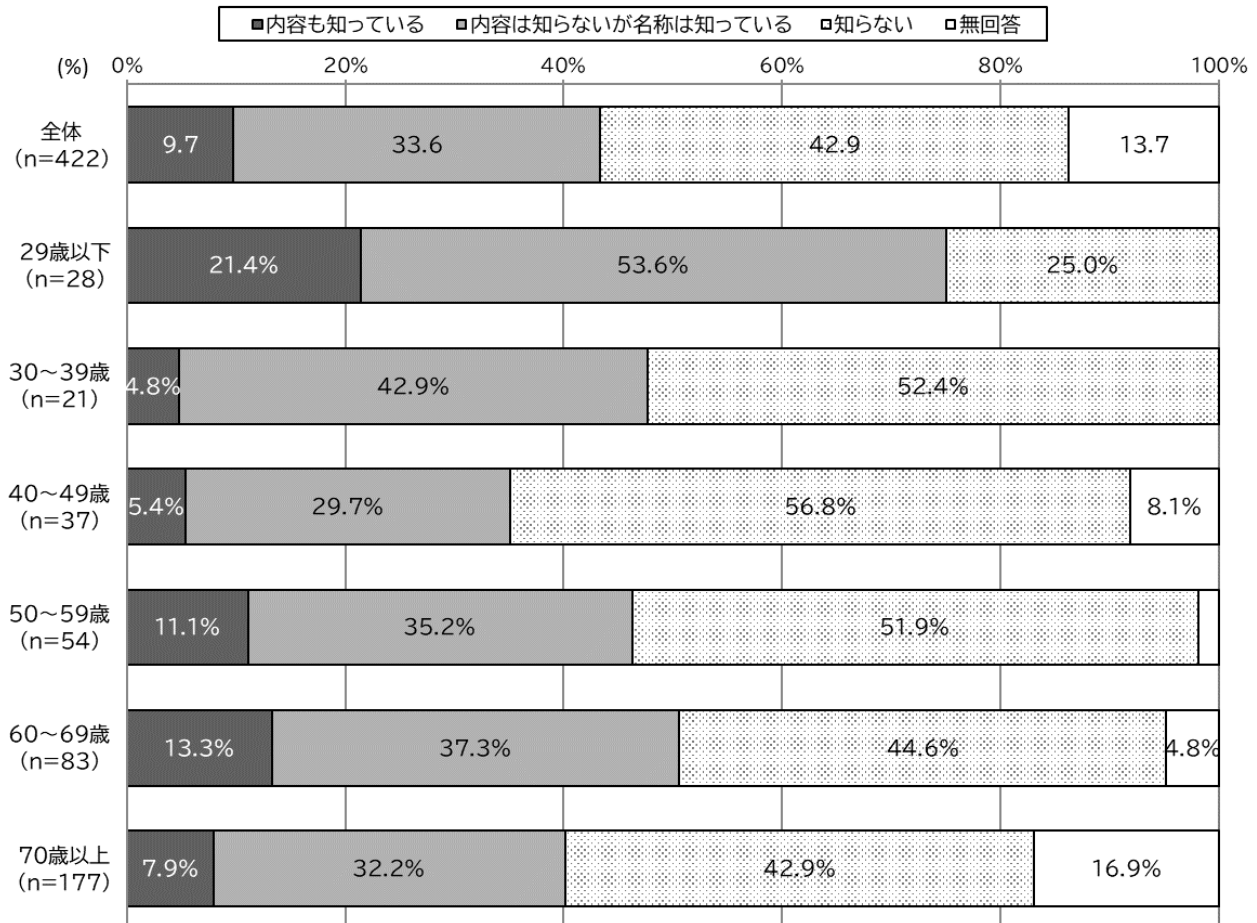
●年代別



問 21 I. ハイトスピーチ解消法（2016 年）

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合は高くなっています。
- 「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

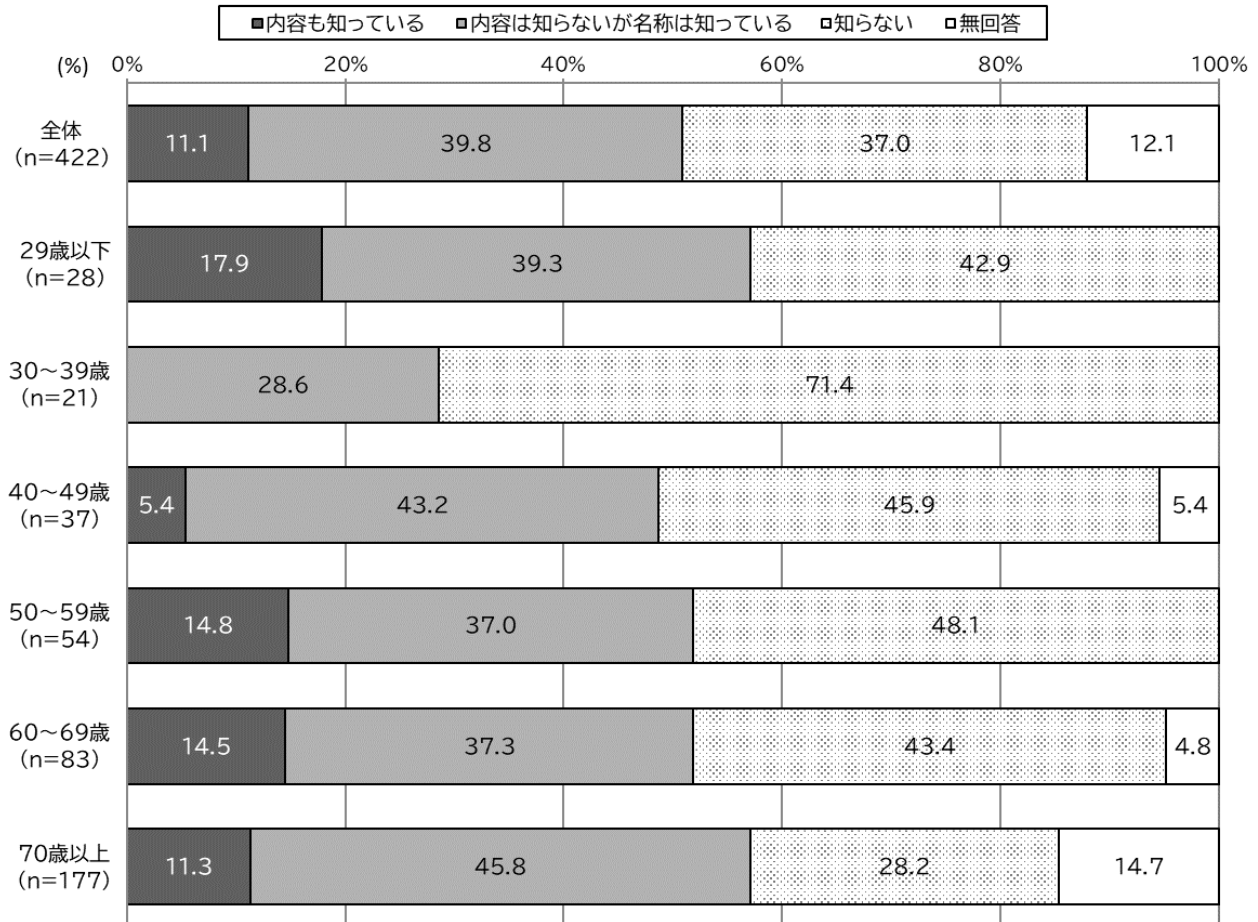
●年代別



問 21 J. 部落差別解消推進法（2016 年）

○年代別では、「30～39歳」と「50～59歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

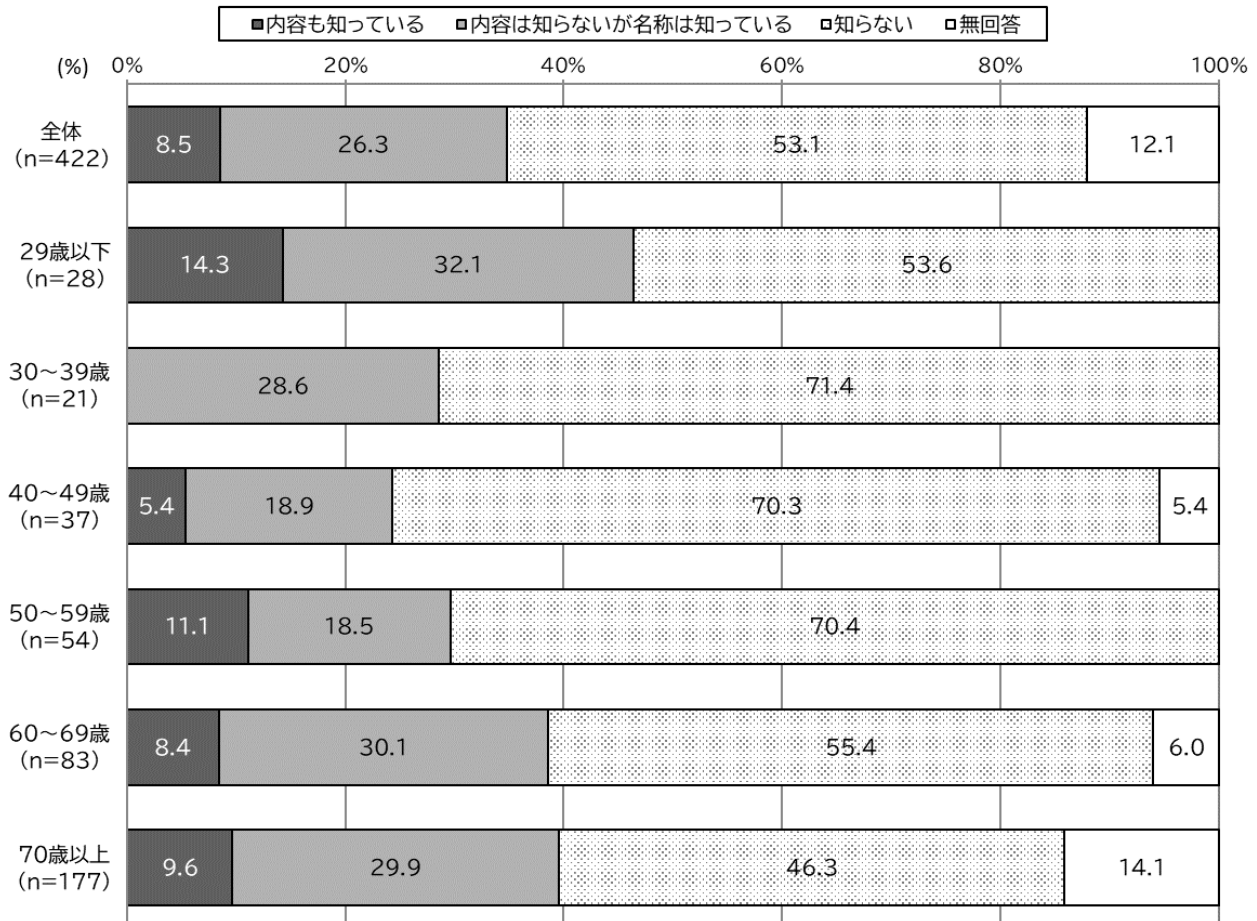
●年代別



問 21 K. 奈良県部落差別の解消に関する条例（2019 年）

- 年代別では、「29歳以下」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合は高くなっています。
- 「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

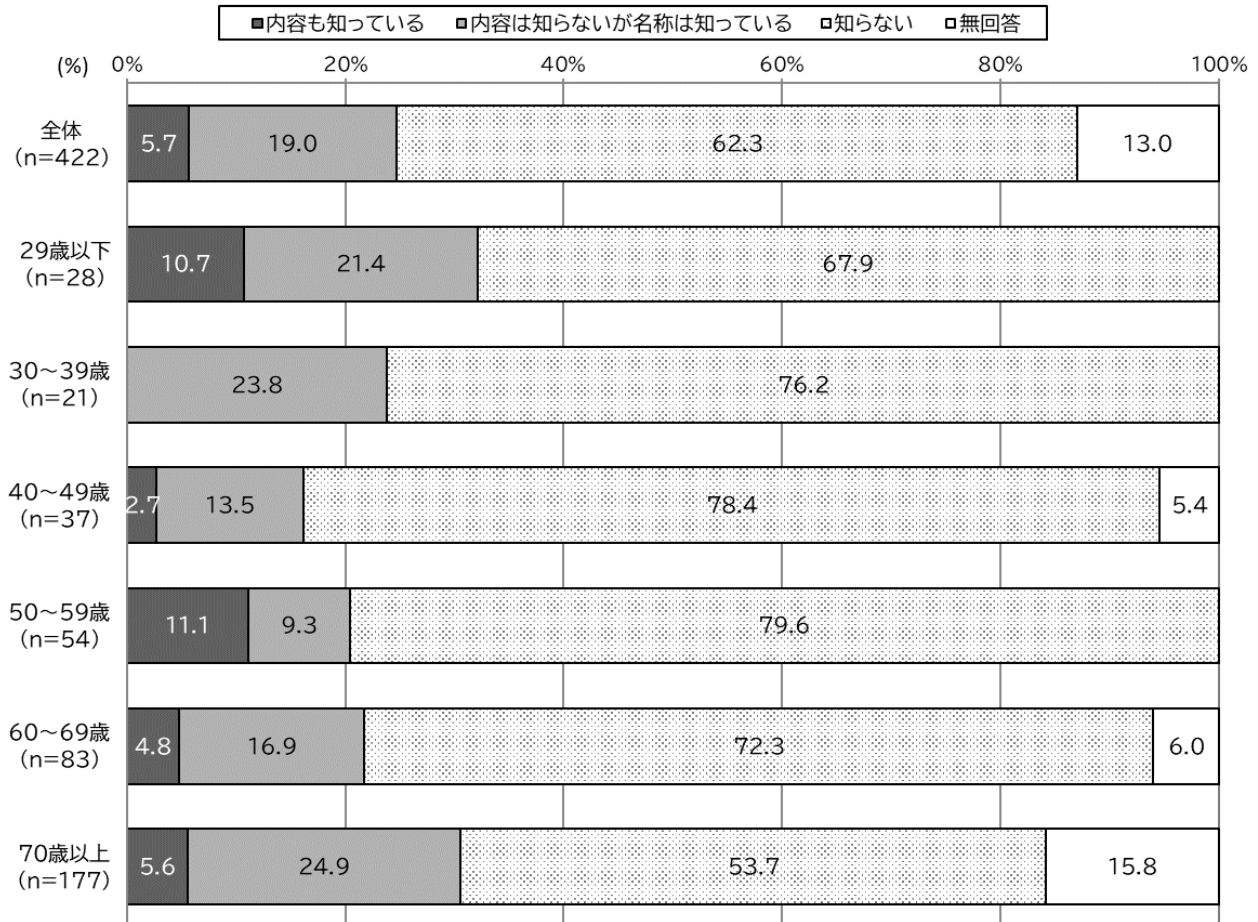
●年代別



問 21 L. 奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する条例（1997 年）

○年代別では、「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

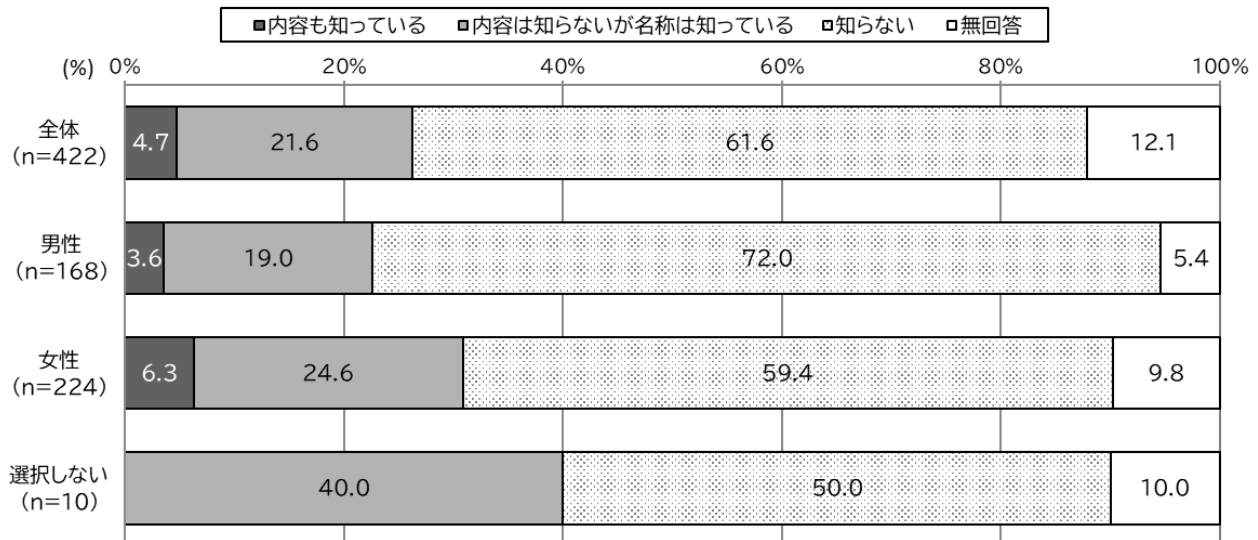


問 21 M. 奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例（2015 年）

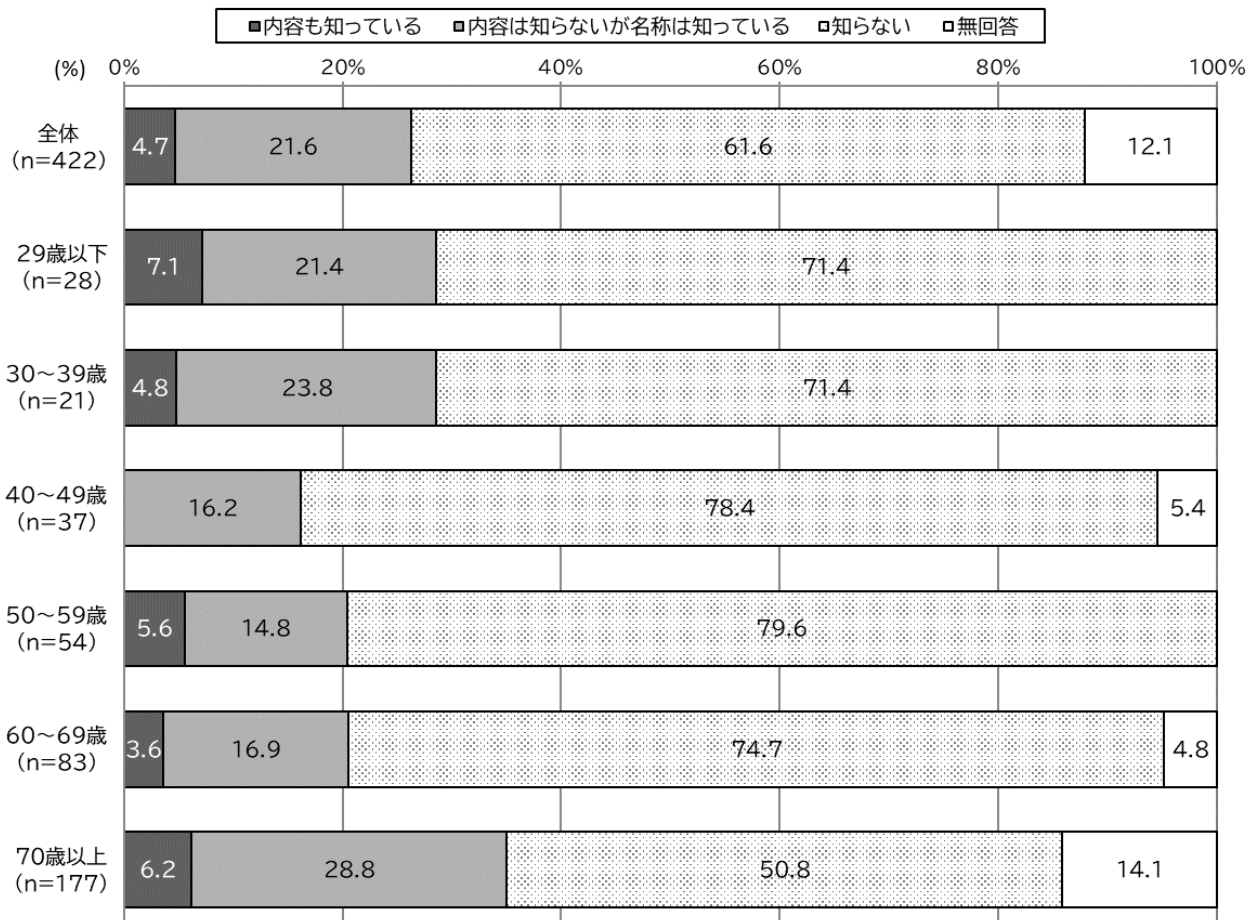
○性別では、「男性」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●性別



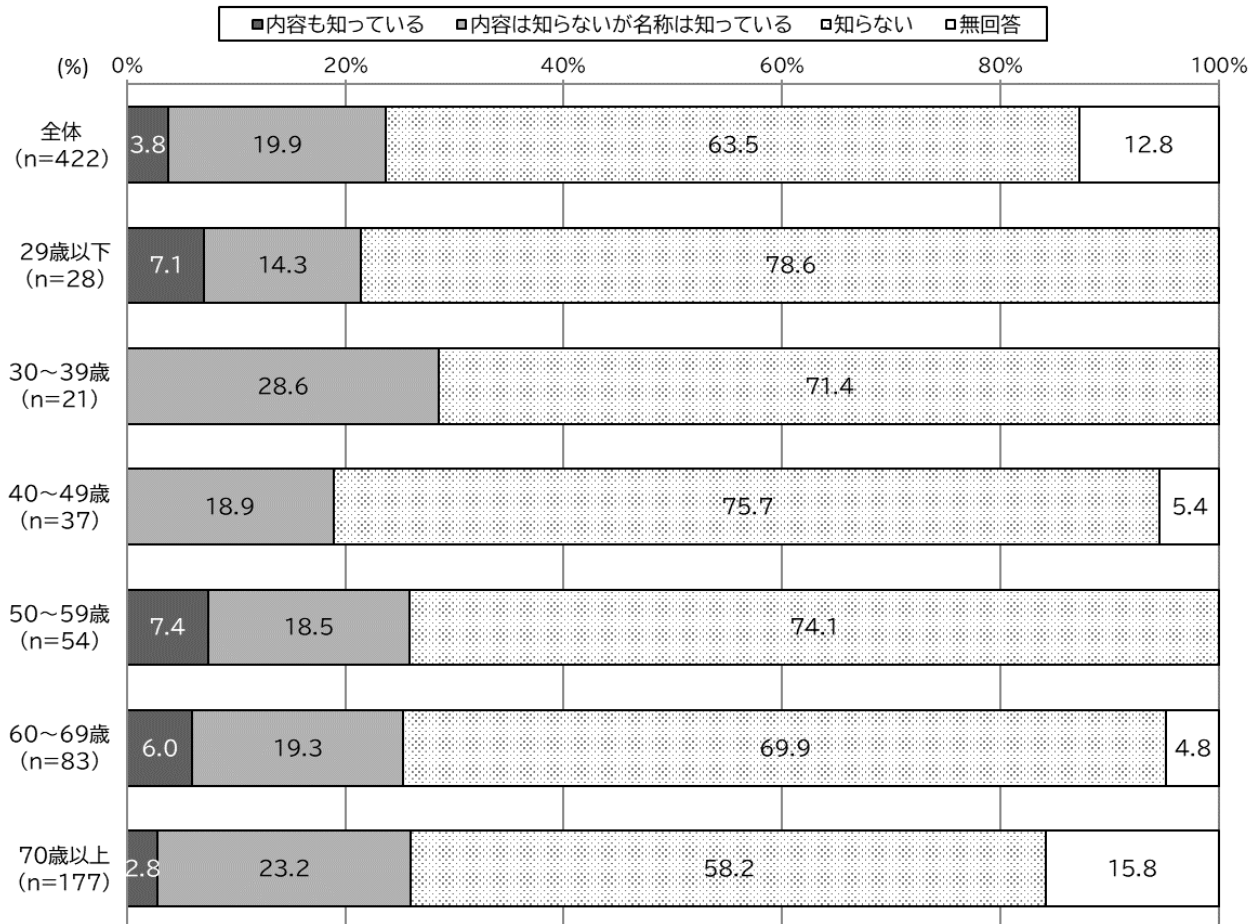
●年代別



問 21 N. 奈良県犯罪被害者等支援条例（2016 年）

○年代別では、「29歳以下」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

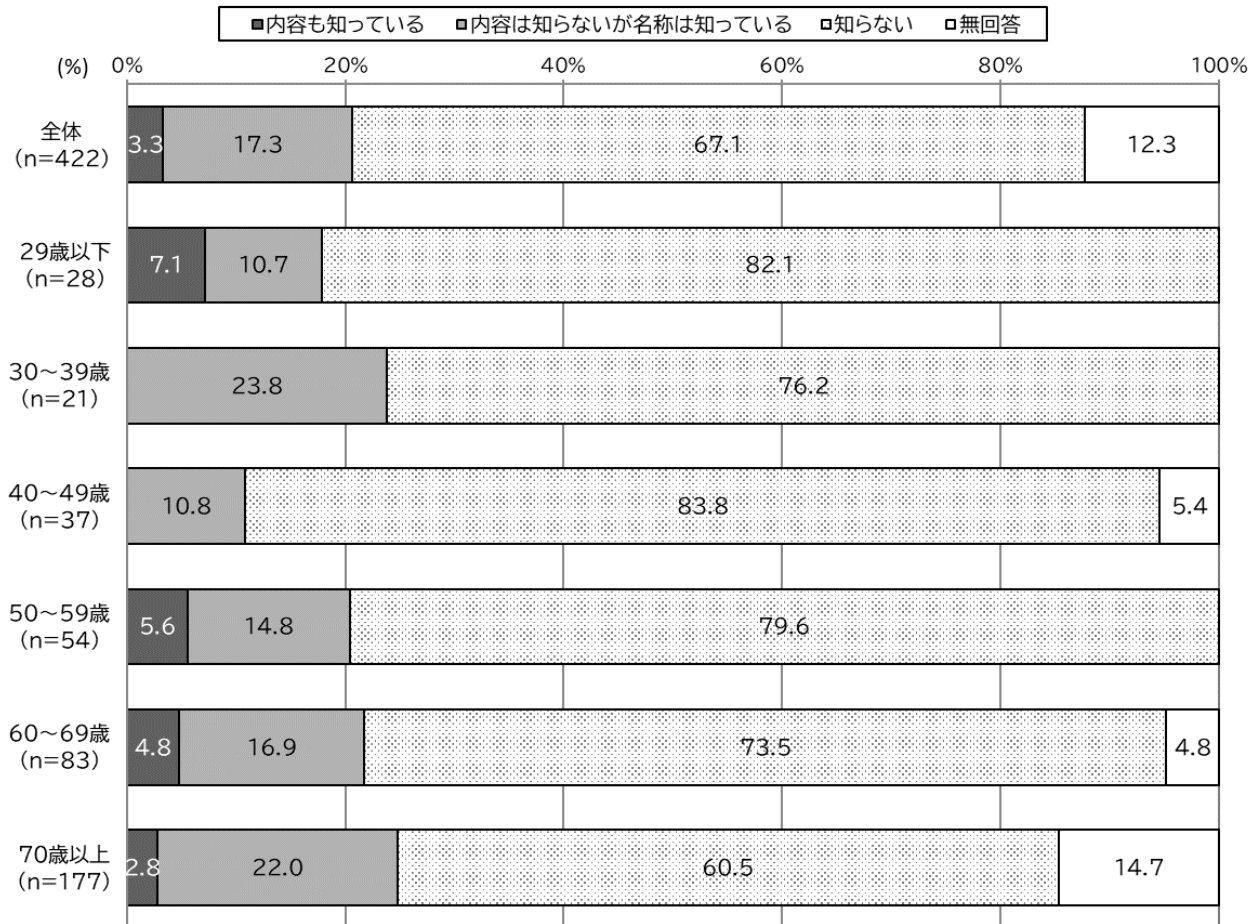
●年代別



問 21 ○. 御所市犯罪被害者等支援条例（2021 年）

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

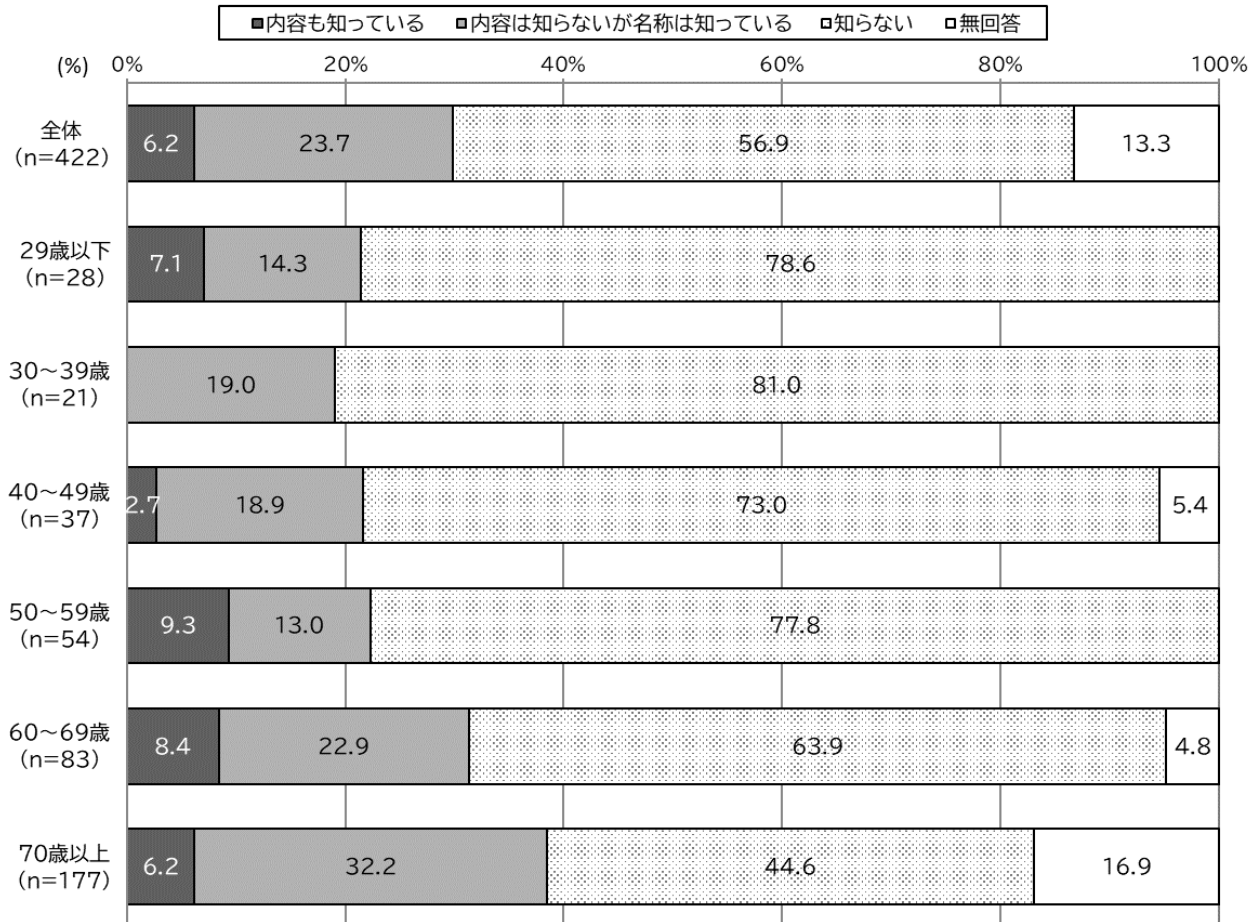
●年代別



問 21 P. 御所市人権擁護に関する条例（1998 年）

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

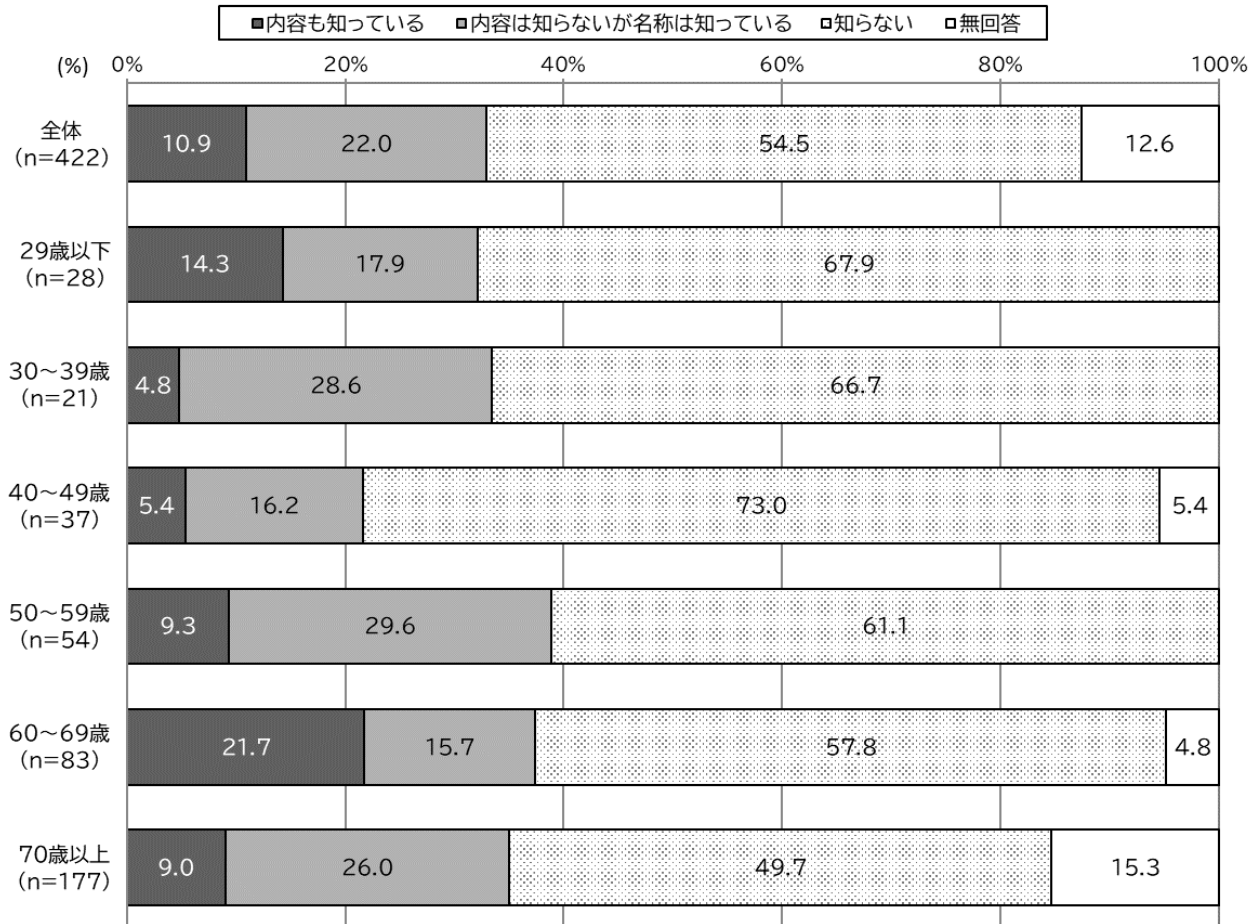
●年代別



問 21 Q. 戸籍・住民票などの「本人通知制度」(2011 年)

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●年代別

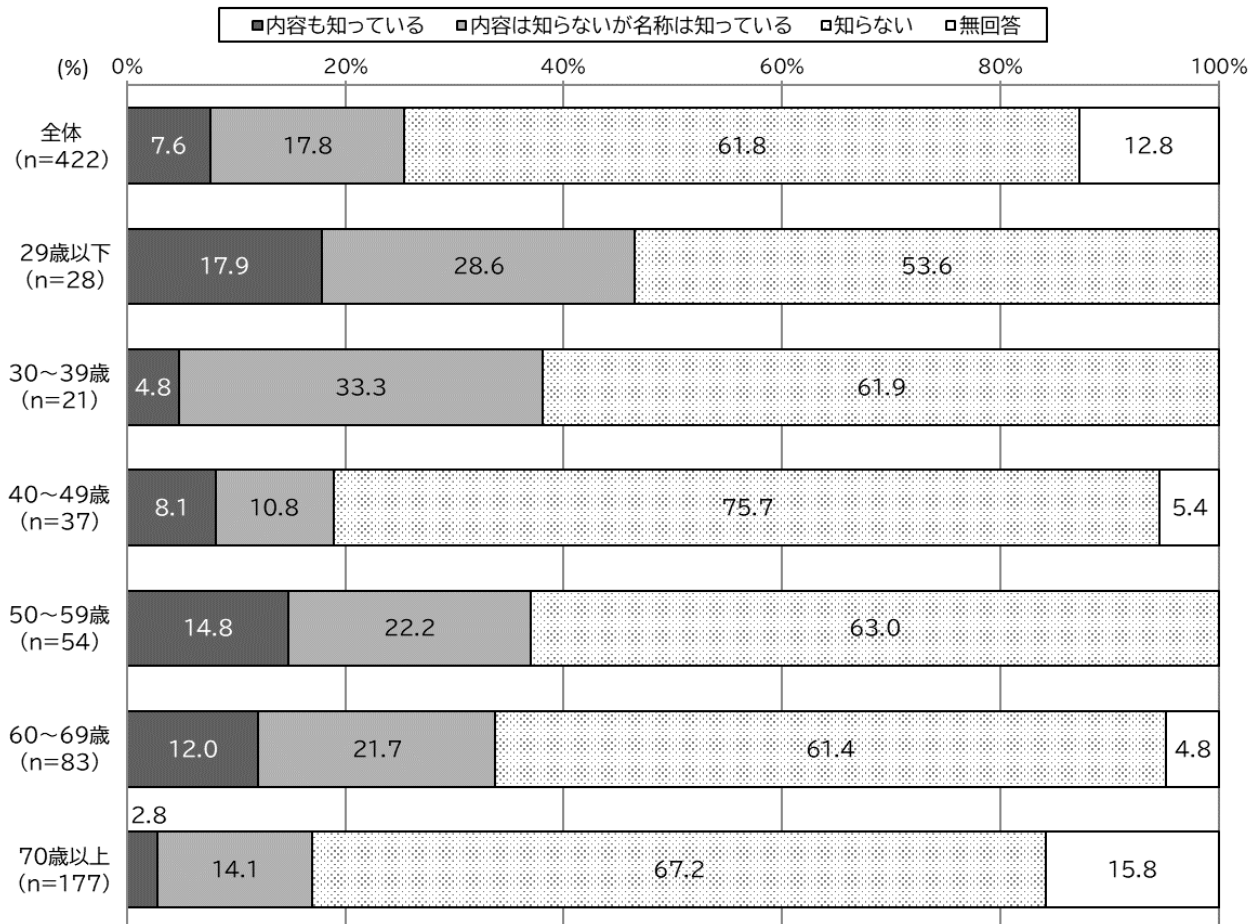


問 21 R. 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律（LGBT 理解増進法）（2023 年）

○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「50～59歳」で全体と比較して「内容も知っている」と「内容は知らないが名称は知っている」を合わせた割合が高くなっています。

○「40～49歳」では、全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

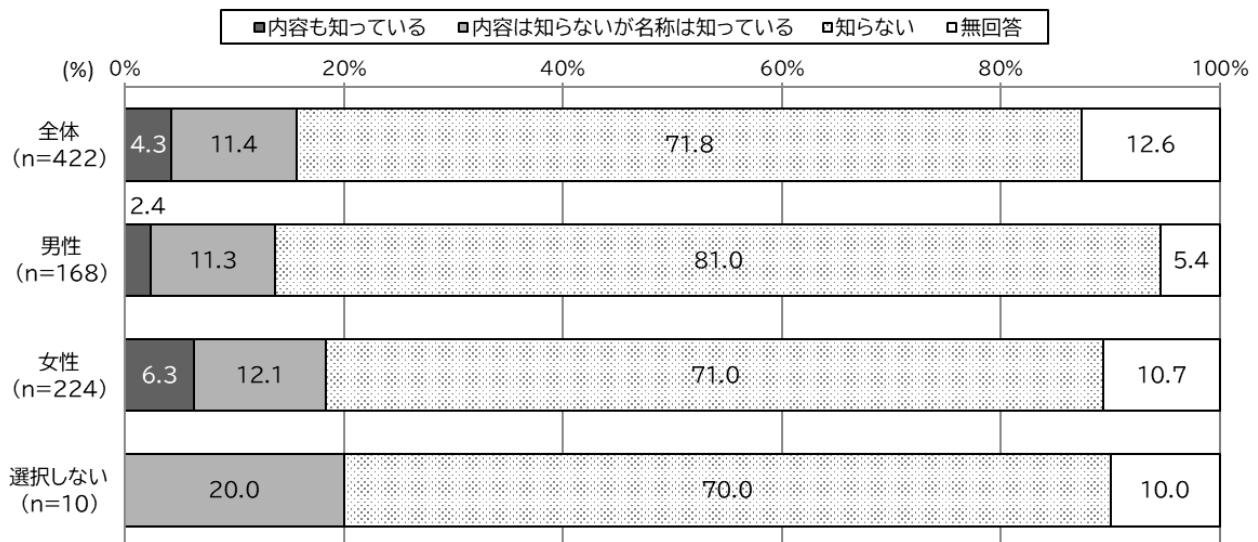
●年代別



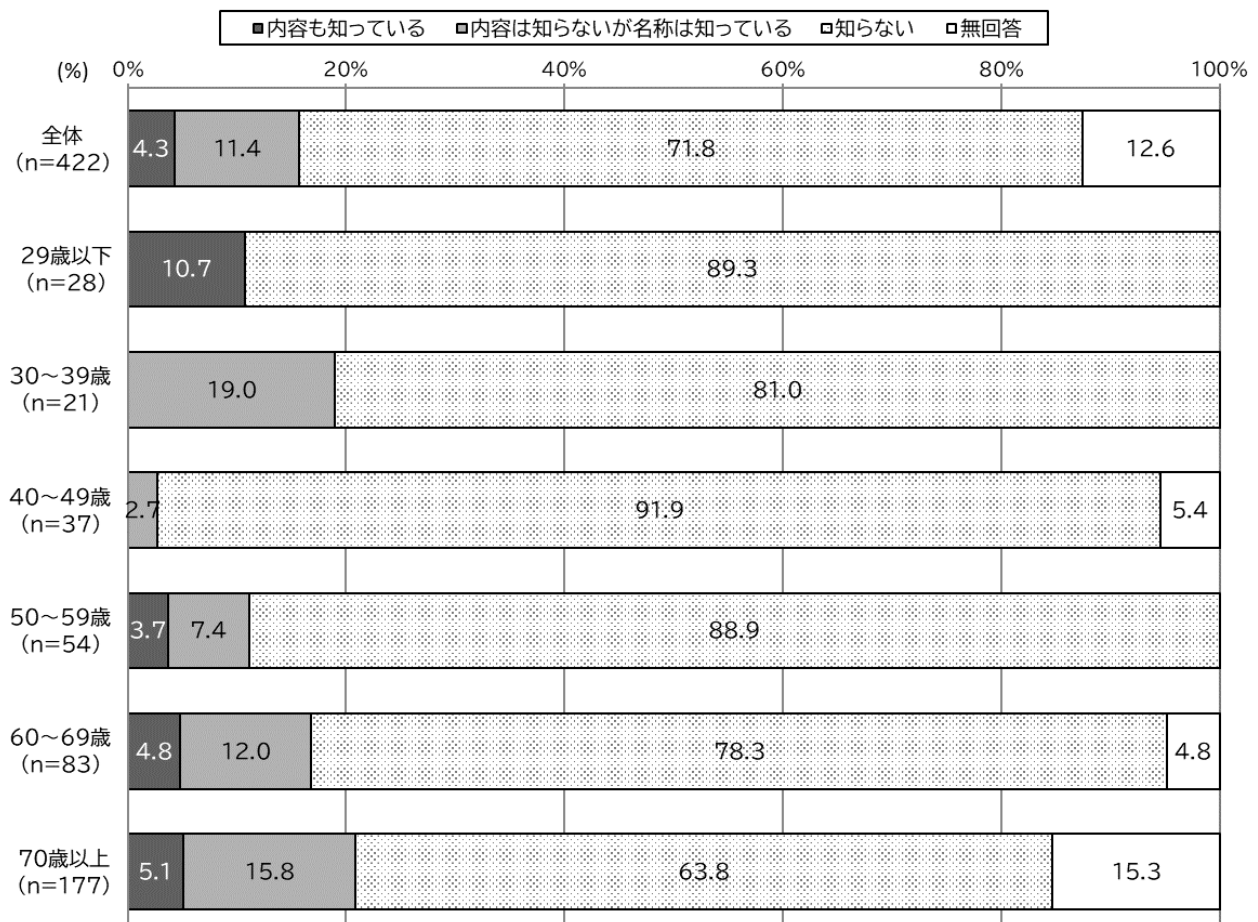
問 21 S. 御所市手話に関する条例（2020 年）

○性別では、「男性」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。
○年代別では、「29歳以下」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」で全体と比較して「知らない」と回答した割合が高くなっています。

●性別



●年代別



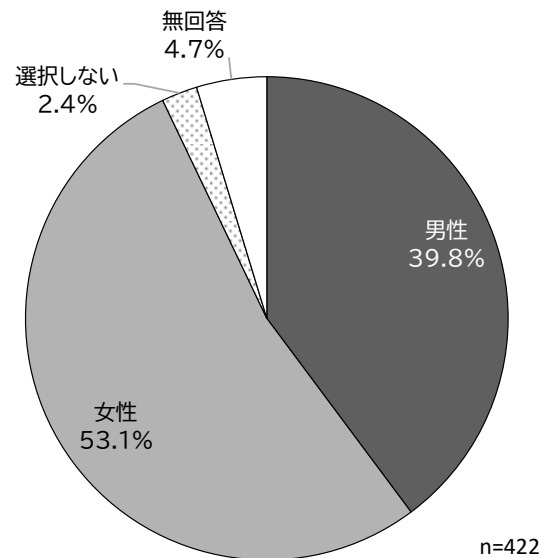
10 回答者の属性

問 22 最後に、ご回答について統計的にまとめるための参考にしたいので、あなたご自身のことについて、お聞かせください。（問 22-1～問 22-4 において、あてはまるものをそれぞれ1つ選び○印をつけてください）

問 22-1 あなたの性別は

○「女性」の割合が 53.1%、「男性」の割合が 39.8%となっています。

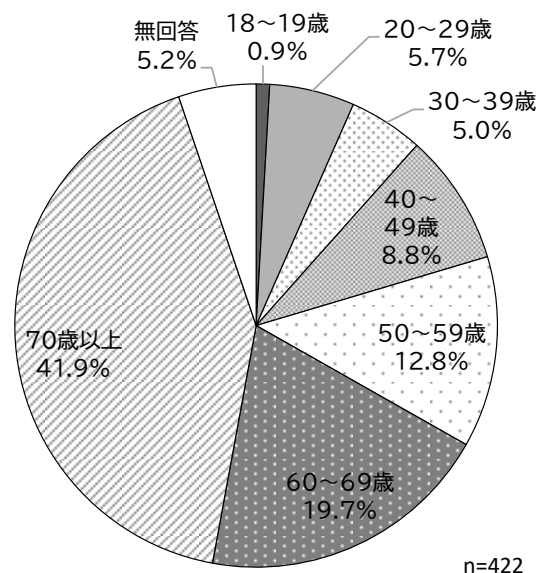
調査数(n=422)	回答数	割合
男性	168	39.8%
女性	224	53.1%
選択しない	10	2.4%
無回答	20	4.7%



問 22-2 あなたの年齢は（2024 年 1 月現在の年齢）

○「70 歳以上」の割合が 41.9%、「60～69 歳」の割合が 19.7%となっています。

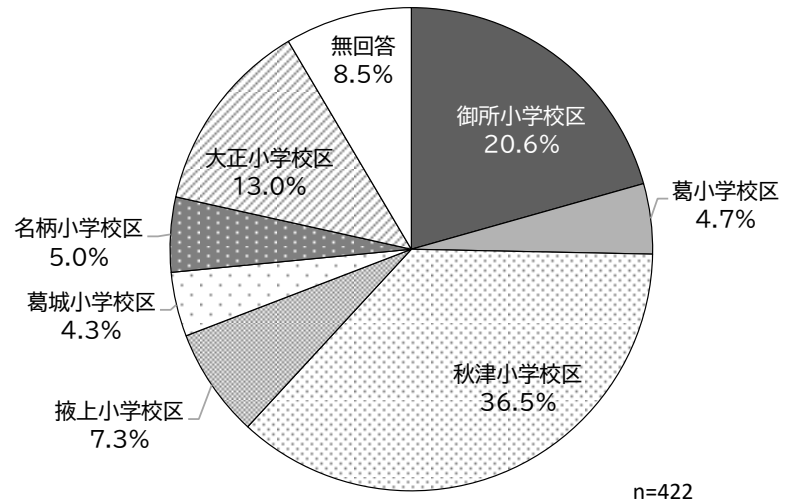
調査数(n=422)	回答数	割合
18～19歳	4	0.9%
20～29歳	24	5.7%
30～39歳	21	5.0%
40～49歳	37	8.8%
50～59歳	54	12.8%
60～69歳	83	19.7%
70歳以上	177	41.9%
無回答	22	5.2%



問 22-3 あなたのお住まいの小学校区は

○「秋津小学校区」の割合が 36.5%で最も高く、次いで「御所小学校区」の割合が 20.6%となっています。

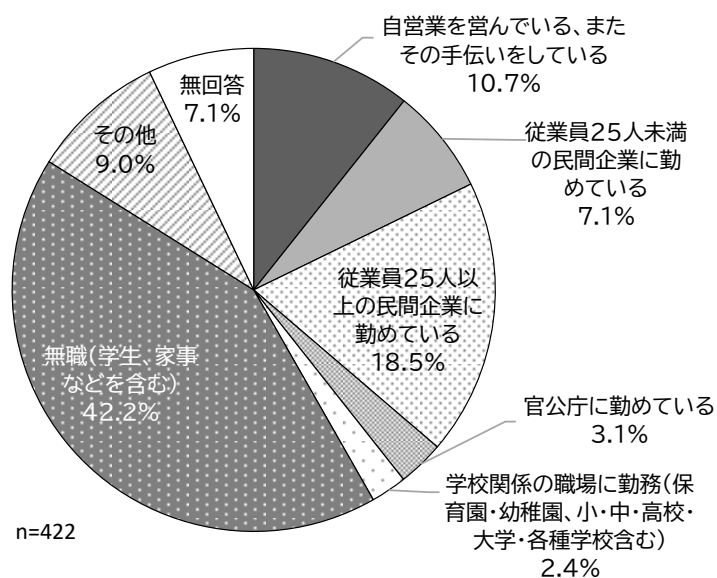
調査数(n=422)	回答数	割合
御所小学校区	87	20.6%
葛小学校区	20	4.7%
秋津小学校区	154	36.5%
掖上小学校区	31	7.3%
葛城小学校区	18	4.3%
名柄小学校区	21	5.0%
大正小学校区	55	13.0%
無回答	36	8.5%



問 22-4 あなたのご職業は

○「無職(学生、家事などを含む)」の割合が 42.2%で最も高く、次いで「従業員25人以上の民間企業に勤めている」の割合が 18.5%となっています。

調査数(n=422)	回答数	割合
自営業を営んでいる、またその手伝いをしている	45	10.7%
従業員25人未満の民間企業に勤めている	30	7.1%
従業員25人以上の民間企業に勤めている	78	18.5%
官公庁に勤めている	13	3.1%
学校関係の職場に勤務(保育園・幼稚園、小・中・高校・大学・各種学校含む)	10	2.4%
無職(学生、家事などを含む)	178	42.2%
その他	38	9.0%
無回答	30	7.1%



その他の回答内容

パート(6件)、農業(5件)、年金生活(3件)、会社員(3件)、フリーター(2件)、公的機関(1件)、葬祭業(1件)、建築関係作業員(1件)、事務職(1件)、アルバイト(1件)、主婦(1件)、内職(1件)、作業所に所属(1件)、障害者A型事業所(1件)、宗教関係の家に住み込んでいる(1件)、会社定年退職(1件)、元郵政職員(1件)

11 自由回答について

問 23 その他、人権が尊重される社会の実現のために、人権問題について考えておられることをお書きください。

回答内容

人に対する思いやりの心が必要(9件)、アンケートに対する言及(7件)、特になし(7件)、行政や政治の施策、考え方の改善が必要(7件)、人を尊重することが大事(6件)、わからない(4件)、差別があることを知らない方が良い(4件)、人は平等である(4件)、以前よりは差別がなくなった(2件)、差別があることを知らなかった(2件)、差別する側とされる側の両方を考える必要がある(2件)、助け合いが大事(2件)、優遇するのは逆差別だと感じる(2件)、相手の立場になって考えることが大事(2件)、厳しく処罰する(2件) 人や事柄によってその線引きは変わるもの(1件)、人権は人との繋がりの中で生じることで、「おせっかい」を推奨してみてはどうか(1件)、外国人でも関係なく交流する(1件)、外国籍に選挙権がないことに対する疑問(1件)、厳しい罰則を与える法律も必要(1件)、個人の知識を習得できる場を増やす(1件)、御所市の人権問題を知らなかった(1件)、根本を改善すべき(1件)、根本的な人間教育と、良質な教育を地域格差なく受けられるようにすべき(1件)、差別がなくなってほしい(1件)、差別される側にいることを教育する(1件)、知らなければ差別もないのに、教えるので差別が発生する(1件)、子供に対する大人の接し方を見直し反省すべき(1件)、市民全体のコミュニケーションが大事(1件)、私自身差別等はしないのでみんな仲良くしていけたら良い(1件)、自分のできることを一生懸命する(1件)、就労していない人が働きやすい環境作り(1件)、障がい者の移動手段の支援充実(1件)、真実の歴史の公開、多民族国家日本を周知する、差別の根源を知る為に、聖書から彼等と日本人の違いを学ぶ(1件)、人も動物である。進んだ知識知能が世界を破滅させる(1件)、人権教育が大事(1件)、人権問題の映画や講演会の開催が参加しやすい(1件)、昔の社会の方が良かった(1件)、全ての人が人権問題についてもっと知り、興味をもつべき(1件)、地域全体で子どもの面倒を見ることが大事(1件)、認識差を解消するためのアナウンスや啓発の機会が必要(1件)、犯罪の加害者の家族と被害者の人権を守る必要がある(1件)、部落差別撤廃条例に関して意見を聞いてもよかったのではないかと(1件)、老齢でも参加企画を出来る様にしてほしい(1件)、話し合いが大事(1件)

IV アンケート調査票

御所市 人権問題に関する市民意識調査

御所市人権問題に関する市民意識調査 ～ご協力のお願い～

日頃から市民のみなさまには、御所市に格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では一人ひとりの人権が尊重される社会の実現をめざしてさまざまな施策を実施していますが、なお多くの取り組みなければならない課題があります。

このたび、本意識調査の実施により、みなさまのお考えやご意見をおうかがいし、より実効性のある施策を進めるため、現在の「御所市人権施策に関する基本計画」の見直しを行う基礎的な資料にさせていただきますと考えています。

つきましては、令和5（2023）年11月1日現在、市内にお住まいの18歳以上の方のなかから、1,000人の方を無作為に選び、実施するものです。

この調査は無記名でありますので、あなたのお名前や回答の内容が公表されることは決してありません。また、調査目的以外には使用いたしませんので、日頃のお考えをそのままご記入ください。

お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

【ご記入にあたってのお願い】

- 回答は、宛て名のご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる箇所（ ）に○、または、その他にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内にその内容をなるべく具体的にご記入ください。
- 質問によっては、回答いただく必要がない場合があります。注意書きに従ってお進みください。
- 締切は、1月24日(水)となっています。郵送かインターネットのどちらかで回答してください。
- パソコンやスマートフォンが利用できる方は、インターネットでの回答にご協力お願いします。
- 本調査は、株式会社地域計画建築研究所大阪事務所に委託して実施します。

【インターネットでご回答の場合】

- パソコンやスマートフォンから、右記二次元コードの回答サイトにアクセスし、項目ごとに回答してください。
- 右記の調査IDを入力し、回答をお願いします。
- 入力は、1月24日（水）24時までをお願いします。

二次元コード



ID

【紙の調査票でご回答の場合】

- 調査票に濃いえんぴつか、黒又は青のボールペン・万年筆等を用い、直接ご記入ください。
- ご記入が終わりましたら、無記名のまま、この調査票を三つ折りにして、そのまま同封の茶色の返信用封筒に入れ、1月24日（水）までに切手を貼らずに投函してください。

■調査実施主体

御所市 市民協働部 人権施策課（松村・大塚）0745-65-2210

■アンケートに関するお問い合わせ先

株式会社地域計画建築研究所大阪事務所（水野・田口）06-6205-3600

問1 あなたが御所市に住んでいて「暮らしにくい」と感じることはどのようなことですか。
あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

1. 結婚や葬式などに関して古いしきたりや考え	2. いざというときに助け合える人間関係がない がある
3. 家計にまったく余裕がない	4. 自由に意見が言える雰囲気がない
5. いろんな楽しみや趣味を生かせる機会がない	6. 絵や音楽などの文化（活動）やスポーツなどに ふれあう機会が少ない
7. 自然にふれあうことが少ない	
8. その他（具体的に：	）
9. 特になし	

問2 今の社会について次のような意見があります。それについて、あなたはどのように思いますか。
あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Fで1つずつ）

	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
回答例 A. 格差は、世の中に進歩をもたらすものだ	①	2	3	4
A. 格差は、世の中に進歩をもたらすものだ	1	2	3	4
B. 努力しない人を社会が面倒をみるのはおかしい	1	2	3	4
C. 貧困はその人の責任だから救う必要はない	1	2	3	4
D. 職場の仲間どうし助け合うことは大切だ	1	2	3	4
E. みんなで協力すれば、今の世の中の仕組みを変える ことができる	1	2	3	4
F. 個人が多少の犠牲をはらっても、みんなが支え合 う社会を作ることが大切だ	1	2	3	4

問3 あなたは自分自身をどのような人間だと思いますか。
あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Eで1つずつ）

	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
A. 少なくとも人並みには、価値ある人間である	1	2	3	4
B. いろいろな良い素質を持っている	1	2	3	4
C. 物事を人並みには、うまくやれる	1	2	3	4
D. 自分には自慢できるところがあまりない	1	2	3	4
E. 何かにつけて、自分は役に立たない人間だと思う	1	2	3	4

問4 御所市の人権問題に関する学習会や研修会について、参加状況をお聞かせください。

(1) あなたは、最近3年間で市が主催する「差別をなくす市民集会」に参加されたことがありますか。
あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

1. 毎回参加している	2. 1～2回ぐらいは参加している
3. まったく参加したことがない	4. 開かれていることを知らない

(2) あなたは、最近3年間で人権教育推進協議会が主催する「校区・地区別学習会(人権問題講演会等)」に参加されたことがありますか。あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

1. 毎回参加している	2. 1～2回ぐらいは参加している
3. まったく参加したことがない	4. 開かれていることを知らない

問5 あなたは、同和問題や他の人権問題について、学校の授業等で学習したことがありますか。
あてはまるものに○印をつけてください(○はいくつでもいいです)

1. 小学校で学んだ	2. 中学校で学んだ	3. 高校・高等専修学校で学んだ
4. 短大・大学・専門学校で学んだ	5. 学校で学んだ経験はない	6. はっきりと覚えていない

問6 あなたが人権問題について学習したり、知識を得たりするためによく利用するものはどれですか。
あてはまるものに○印をつけてください(○はいくつでもいいです)

1. 本	2. 新聞	3. テレビ・ラジオ	4. 映画やビデオ
5. 週刊誌・月刊誌	6. インターネット	7. 県や市町村が発行する広報誌等	
8. 地域や職場等の学習会、講演会、イベント			
9. その他(具体的に:			)

問7 人権や差別をめぐっていろいろな考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。
あてはまるものに○印をつけてください(○は、A～Mで1つずつ)

	そう 思う	どちら かとい えば そう思 う	どちら かとい えば そう思 わない	そう 思わな い
A. 差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4
B. 行政は、平等の名の下に過剰な要求をする一部の人の意見を聞きすぎだ	1	2	3	4
C. 差別されている人の声をきちんと聞く必要がある	1	2	3	4
D. 思いやりややさしさをみんながもてば人権問題は解決する	1	2	3	4
E. 個人の権利より、みんなの利益が優先される必要がある	1	2	3	4
F. 子どもには権利よりさきに、義務を果たすことを教える必要がある	1	2	3	4
G. 義務を果たさない人は権利を制約されても仕方がない	1	2	3	4
H. 人権問題を解決する責任は、まず行政にある	1	2	3	4
I. 介護や介助を受ける立場にある者は、あまりあれこれ自己主張しない方がよい	1	2	3	4
J. 社会福祉に頼るより、個人がもっと努力する必要がある	1	2	3	4
K. 差別する人だけでなく、差別される人にも問題がある	1	2	3	4
L. 人権問題とは、差別を受けている人の問題であって、自分とは関係がない	1	2	3	4
M. 部落出身者に対する差別は、もはや大した問題ではない	1	2	3	4

問8 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Oで1つずつ）

	そう 思う	どちら かとい えば そう思 う	どちら かとい えば そう思 わない	そう 思わな い
A. 結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ	1	2	3	4
B. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい	1	2	3	4
C. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむをえない	1	2	3	4
D. 家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない	1	2	3	4
E. 認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない	1	2	3	4
F. 障がいがあることを理由に、乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ	1	2	3	4
G. 精神に障がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる	1	2	3	4
H. 外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある	1	2	3	4
I. 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある	1	2	3	4
J. 自分の子どもが性的マイノリティ（性的少数者）であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある	1	2	3	4
K. 性的マイノリティ（性的少数者）であることを身近な人にも言えない社会は問題だ	1	2	3	4
L. 犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ	1	2	3	4
M. 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で支える必要がある	1	2	3	4
N. 女性専用車両は女性を保護しすぎている	1	2	3	4
O. 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある	1	2	3	4

問9 あなたはこの1年間で、障がい者や高齢者の自立支援や、子どもの見守り、防災活動や救援活動などのボランティア活動に参加した経験はありますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. ある 2. ない

問10 最近5年間で自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. ある ➡ (問 10-1 〜 4 ページ) 2. ない ➡ (問 11 〜 5 ページ)

問 10-1 から 10-3 までは、問 10 で「1. ある」を選択した方がご回答ください。

問 10-1 その人権侵害(最も印象に残っている経験 1 つ)は、どのようなことを理由にしたものでしたか。
あてはまるものに○印をつけてください(○は 1 つ)

1. 学歴・出身校	2. 職業	3. 収入・財産	4. 身体の障がい
5. 知的障がい	6. 精神の障がい	7. 同和地区出身	8. 国籍・人種・民族
9. 病歴	10. 宗教	11. 思想・信条	12. 逮捕・犯罪歴
13. 性別	14. 母子・父子家庭、両親なし	15. 理由はわからない	
16. その他(具体的に:)			

問 10-2 問 10-1 で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。

何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度の場合を「1」として、あてはまると思われる数字 1 つに○印をつけてください。

← 重大な人権侵害	軽度の人権侵害 →
10 — 9 — 8 — 7 — 6 — 5 — 4 — 3 — 2 — 1	

問 10-3 問 10-1 で回答した人権侵害を受けた時、あなたはどのように対応しましたか。

あてはまるものに○印をつけてください(○は 1 つ)

1. 相手に直接抗議した	→ (問 11 へ)
2. 相手に対抗措置をした(やりかえした、孤立させるよう働きかけた)	
3. 訴えた(新聞などマスコミ、行政機関、裁判、警察)	
4. 相談した	→ (問 10-4 へ)
5. 無視した	→ (問 10-5 へ)
6. 黙って我慢した	
7. 逃げた	
8. その他(具体的に:)	→ (問 11 へ)

問 10-4 <問 10-3 で「4. 相談した」を選択した方にお聞きします>

そのとき、誰に相談されましたか。

あてはまるものに○印をつけてください(○はいくつでもいいです)

1. 家族	2. 友人や身近な人	3. 地域の有力者	4. 学校の先生
5. 弁護士	6. 議員や政党	7. 市の窓口	8. 県の窓口
9. 職場の窓口	10. 新聞などマスコミ	11. 法務局や人権擁護委員	
12. 警察	13. 民間の人権団体		
14. その他(具体的に:)			

問 10-5 <問 10-3 で「5. 無視した」「6. 黙って我慢した」「7. 逃げた」を選択した方にお聞きします>
 そのようにされた理由は何でしょうか。あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

1. 我慢できる程度のことだったので
2. 今までの人間関係をこわしたくなかったので
3. 抗議したり、対抗措置ができるような相手ではなかった
4. 人に言えるようなことではなかった
5. 相談したかったが、誰に(どこに)相談してよいか分からなかった
6. 相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った
7. 過去に相談したり訴えたりしたことがあるが、あまり役に立たなかった
8. その他(具体的に:)

問 11 最近5年間で、あなたのご家族や周りの方(御所市在住)の人権が侵害されたと思っ
 たりありますか。あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

1. ある ➡ (問 11-1 へ) 2. ない ➡ (問 12 へ 7 ページ)

問 11-1 から 11-2 までは、問 11 で「1. ある」を選択した方がご回答ください。

問 11-1 その人権侵害(最も印象に残っている経験1つ)は、どのようなことを理由にしたものでしたか。
 あてはまるものに○印をつけてください(○は1つ)

- | | | | |
|-----------------|------------------|--------------|-------------|
| 1. 学歴・出身校 | 2. 職業 | 3. 収入・財産 | 4. 身体の障がい |
| 5. 知的障がい | 6. 精神の障がい | 7. 同和地区出身 | 8. 国籍・人種・民族 |
| 9. 病歴 | 10. 宗教 | 11. 思想・信条 | 12. 逮捕・犯罪歴 |
| 13. 性別 | 14. 母子・父子家庭、両親なし | 15. 理由はわからない | |
| 16. その他(具体的に:) | | | |

問 11-2 問 11-1 で回答した人権侵害は、あなたにとってどの程度のものだったでしょうか。
 何らかの形で公的に処罰する必要があると感じるほどである場合を「10」、不快に感じた程度
 の場合を「1」として、あてはまると思われる数字1つに○印をつけてください。

← 重大な人権侵害	軽度の人権侵害 →
10 — 9 — 8 — 7 — 6 — 5 — 4 — 3 — 2 — 1	

問 12 人権を守るための制度などについて、あなたは知っていますか。
 あてはまるものに○印をつけてください(○は、A～Gで1つずつ)

	知っている	知らない
回答例 A. 法務局 ^{※1} による相談や救済	1	2
A. 法務局 ^{※1} による相談や救済措置	1	2
B. 人権擁護委員 ^{※2} による相談	1	2
C. 市役所が実施する法律相談(女性法律相談など)	1	2
D. 専門機関(児童福祉センターなど)による相談	1	2
E. 警察による総合相談	1	2
F. 弁護士会による法律相談	1	2
G. NPOなど民間団体による相談 ^{※3}	1	2

- ※1 法務局(地方法務局): 国民の基本的な人権を擁護するため、人権侵害事件の調査・処理、人権相談、人権尊重思想の啓発活動などに関する事務を行っています。
- ※2 人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしているボランティアのことです。
- ※3 NPOによる相談事業: 女性や子ども、外国人など、様々な分野で困っている人に対し、NPO法人などの民間団体が相談窓口を開設しています。(例: 「いのちの電話」など)

問 13 人権侵害に対する相談や救済に関する次の事項について、あなたは必要だと思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Dで1つずつ）

	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう 思わない	そう 思わない
回答例 A. 相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度・サービスを充実する	1	2	3	4
A. 相談員の資質向上や相談時間の拡大など、現在ある制度・サービスを充実する	1	2	3	4
B. 新たな相談・救済体制を整備し、周知する	1	2	3	4
C. 人権を擁護するための法制度を整備し、実効性のある救済を行う	1	2	3	4
D. 人権啓発活動の中で、人権が侵害されたときの対処の仕方を学ぶ機会を増やす	1	2	3	4

問 14 あなたはLGBTQ（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスティング）あるいは性的マイノリティ（性的少数者）の言葉を聞いたことがありますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. ある	2. ない
-------	-------

問 15 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後（のち）に、そのあたりに同和地区があるとわかったとき、あなたはどう思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. 同じ小学校区であることさえいやだ	2. 同じ小学校区でも、同和地区と離れていればかまわない
3. 同和地区と隣接していてもかまわない	4. 同和地区の中であつてもかまわない

問 16 あなたが住宅をさがしていて、気に入った物件があったとします。後（のち）に、そのあたりに同和地区があると聞いたとき、あなたはどう思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. 差別的な発言であることを指摘して、話しあう	2. 表向きは話をあわせるが、何とかして差別はいけないことを伝える
3. 表向きは話をあわせ、自分も差別的な言葉を口に出してしまう	4. ほかの話題に変えるように努力する
5. なにもせずにだまっている	6. わからない
7. その他（具体的に：	）

問 17 インターネット上では、個人名などを取り上げた、差別的な書き込みや、悪口などを暴露する書き込みがあります。あなたは、このような書き込みについて、どう思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. 書いてある内容が事実であれば、問題ないと思う
2. 書いてある内容が事実である、なしに関わらず、許せない人権侵害だと思う
3. とりたてて騒ぐほどの問題ではない
4. わからない

問 18 インターネット上の差別的な書き込みや個人情報などが世間に広まることなどの問題を改善するために、どうすればよいと思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

1. インターネット利用の際のルール、マナーの啓発・教育を行う
2. 行政機関がモニタリング※1を行い、プロバイダー※2へ情報停止、削除を求める
3. 被害を受けた当事者が、プロバイダーへ情報停止、削除を求める
4. プロバイダーや掲示板・ブログ※3や SNS※4の管理者の責任にゆだねる
5. 表現の自由に関わる問題であり、慎重に対応すべき問題である
6. 差別を扇動したり、助長・誘発するような「有害な書き込み」を特定し、処罰する法整備が必要である
7. 特に何もする必要はない
8. わからない
9. その他（具体的に： _____）

※1 モニタリング：監視すること

※2 プロバイダー：インターネット接続事業者

※3 ブログ：意見や感想を書き綴ったり、撮影した写真などを掲載したりする日記的なウェブサイト

※4 SNS：ソーシャルネットワーキングサービス（インターネットを利用して、個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するサービスのこと）

問 19 あなたにお子さんがいた場合（いない場合も、子どもがいると想定して）、お子さんの結婚相手（未婚のパートナーを含む）に求めることはありますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は1つ）

1. ある（条件を決めている）
 2. 少しある（子どもの意思を尊重するが、希望することはある）
 3. ない（どのような人であっても、子どもの意思を尊重する） ➡（問 20 へ 8 ページ）
- （問 19-1 へ）

問 19-1 から 19-2 までは、問 19 で「1. ある」「2. 少しある」を選択した方がご回答ください。

問 19-1 お子さんの結婚相手（未婚のパートナーを含む）に求める条件をお聞かせください。

あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

1. 出自に関すること（出身の地域）
2. 性別で役割分担をすること（男性は仕事、女性は家事育児を優先）
3. 子どもを授かる可能性があること（男女ともに）
4. 心身の障がいを持っていないこと
5. 外国人でないこと（同じ国籍であること）
6. 性的マイノリティ（性的少数者）でないこと
7. あてはまるものはない
8. その他（具体的に： _____）

問 19-2 結婚相手（未婚のパートナーを含む）が、次のような人であった場合、あなたはどのような態度をとると思いますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Hで1つずつ）

	問題に しない	親としては 反対だが、 子どもの意 思が固けれ ば仕方がな い	考え直す ように言う
A. 同和地区出身者	1	2	3
B. 男性が家事育児のみをして、女性が1人で働きに出る	1	2	3
C. 子どもを授かることができない人（男女ともに）	1	2	3
D. 身体の障がいがある人	1	2	3
E. 精神の障がいがある人	1	2	3
F. 日本に働きに来ている外国人	1	2	3
G. 日本で生まれ育ったが、親や本人が外国籍である	1	2	3
H. 子どもと同性（身体が男性同士、女性同士）の人	1	2	3

問 20 人権が尊重される社会を実現するために、あなたは、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものに○印をつけてください（○はいくつでもいいです）

1. 行政がさまざまな施策を積極的に進める
2. 保育所、幼稚園、学校での人権教育を充実させる
3. 幼児期から人を大切にする心を育てるなど、家庭教育を充実させる
4. 地域での講演会や研修会などで、人権についての学習を活発に行う
5. 職場での人権研修や人権啓発の取り組みを支援する
6. 住民やNPOなどによる人権尊重に向けた取り組みを支援する
7. 人権侵害を受けた人に対する相談活動や支援活動を充実させる
8. 人権侵害を法律で厳しく取り締まる
9. その他（具体的に： _____）

問 21 あなたは、人権問題にかかわる次のような法律や条例などを知っていますか。

あてはまるものに○印をつけてください（○は、A～Sで1つずつ）

	内容も 知っている	内容は知ら ないが 名称は知っ ている	知らない
A. 人種差別撤廃条約（1965年）	1	2	3
B. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（2000 年）	1	2	3
C. 児童虐待防止法（2000年）	1	2	3
D. DV ^{*1} 防止法（2001年）	1	2	3
E. プロバイダー責任制限法（2001年）	1	2	3
F. 障害者差別解消法（2013年）	1	2	3
G. 子どもの貧困対策法（2013年）	1	2	3
H. いじめ防止対策推進法（2013年）	1	2	3
I. ヘイトスピーチ ^{*2} 解消法（2016年）	1	2	3
J. 部落差別解消推進法（2016年）	1	2	3
K. 奈良県部落差別の解消に関する条例（2019年）	1	2	3
L. 奈良県あらゆる差別の撤廃及び人権の尊重に関する 条例（1997 年）	1	2	3
M. 奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい 社会づくり条例（2015 年）	1	2	3
N. 奈良県犯罪被害者等支援条例（2016年）	1	2	3
O. 御所市犯罪被害者等支援条例（2021年）	1	2	3
P. 御所市人権擁護に関する条例（1998年）	1	2	3
Q. 戸籍・住民票などの「本人通知制度」（2011年）	1	2	3
R. 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性 に関する国民の理解の増進に関する法律（LGBT理解 増進法）（2023年）	1	2	3
S. 御所市手話に関する条例（2020年）	1	2	3

※1 DV：ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振る
われる暴力という意味で使用されることが多い。

※2 ヘイトスピーチ…特定の民族や国籍の人々などを地域社会から排除しようとする差別的言動

問 22 最後に、ご回答について統計的にまとめるための参考にしたいので、あなたご自身のことについて、お聞かせください。

(問 22-1～問 22-4 において、あてはまるものをそれぞれ 1 つ選び○印をつけてください)

問 22-1 あなたの性別は

1. 男性	2. 女性	3. 選択しない
-------	-------	----------

問 22-2 あなたの年齢は (2024 年 1 月現在の年齢)

1. 18～19 歳	2. 20～29 歳	3. 30～39 歳
4. 40～49 歳	5. 50～59 歳	6. 60～69 歳
7. 70 歳以上		

問 22-3 あなたのお住まいの小学校区は

1. 御所小学校区	2. 葛小学校区	3. 秋津小学校区	4. 掖上小学校区
5. 葛城小学校区	6. 名柄小学校区	7. 大正小学校区	

問 22-4 あなたのご職業は

1. 自営業を営んでいる、またその手伝いをしている
2. 従業員 25 人未満の民間企業に勤めている
3. 従業員 25 人以上の民間企業に勤めている
4. 官公庁に勤めている
5. 学校関係の職場に勤務 (保育園・幼稚園、小・中・高校・大学・各種学校含む)
6. 無職 (学生、家事などを含む)
7. その他 ()

問 23 その他、人権が尊重される社会の実現のために、人権問題について考えておられることをご自由にお書きください。

--

ご協力ありがとうございました。2024 年 1 月 24 日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、投函してください。

御所市 人権問題に関する
市民意識調査報告書

編集・発行

御所市役所 市民協働部 人権施策課

〒639-2244 奈良県御所市柏原 235